

高齢者等実態把握調査 調査結果報告書

令和5年3月
戸田市

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的.....	3
2 調査設計.....	3
3 調査内容.....	3
4 回収結果.....	4
5 報告書の表記及び注意点について.....	5
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】	7
◎調査票記入者、ご本人の情報について.....	9
(1) 調査票記入者.....	9
(2) 年齢.....	9
(3) 性別.....	10
(4) 居住地区.....	10
(5) 要介護認定状況.....	10
1 あなたのご家族や生活状況について.....	11
(1) 家族構成.....	11
(2) 介護・介助の必要性.....	11
(3) 介護・介助が必要になった主な原因.....	12
(4) 主な介護・介助者.....	13
(5) 現在の暮らしの経済的状況.....	13
(6) 住居の形態.....	14
2 からだを動かすことについて.....	15
(1) 階段昇行.....	15
(2) 起立.....	15
(3) 継続的な歩行.....	16
(4) 転倒した経験.....	16
(5) 転倒に対する不安.....	17
(6) 外出しているか.....	17
(7) 外出頻度の減少.....	18
(8) 外出を控えているか.....	18
(9) 外出を控える理由.....	19
(10) 外出する際の移動手段.....	19
3 食べることについて.....	20
(1) 身長・体重.....	20
(2) 固いものが食べにくくなったか.....	21
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか.....	21
(4) 口の渇き.....	22
(5) 歯磨きの習慣.....	22
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況.....	23
(7) 噛み合わせ.....	23
(8) 入れ歯の手入れ.....	24
(9) 体重の減少.....	24
(10) 誰かと食事をする機会.....	25
4 毎日の生活について.....	26
(1) 物忘れがあるか.....	26
(2) 電話をかけているか.....	26
(3) 日にちがわからないことがあるか.....	27
(4) 一人での外出.....	27
(5) 食品・日用品の買い物.....	28
(6) 食事の用意.....	28

(7) 請求書の支払い	29
(8) 預貯金の出し入れ	29
(9) 年金などの書類が書けるか	30
(10) 新聞を読んでいるか	30
(11) 本や雑誌を読んでいるか	31
(12) 健康についての記事や番組への関心	31
(13) 友人宅への訪問	32
(14) 相談にのっているか	32
(15) 病人の見舞いができるか	33
(16) 若い人への話しかけ	33
(17) 趣味はあるか	34
(18) 生きがいはあるか	34
5 地域での活動について	35
(1) 会・グループへの参加状況	35
(2) 地域活動への参加者としての参加希望	39
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	39
6 たすけあいについて	40
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	40
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	40
(3) 看病や世話をしてくれる人	41
(4) 看病や世話をしてあげる人	41
(5) 相談相手	42
(6) 友人・知人と会う頻度	42
(7) 1か月に会った友人・知人の数	43
(8) よく会う友人・知人との関係	43
7 健康について	44
(1) 主観的健康感	44
(2) 主観的幸福感	44
(3) 最近1か月の気分の状態	45
(4) 最近1か月の物事に対する心の状態	45
(5) 飲酒の状況	46
(6) 喫煙の状況	46
(7) 治療中の病気	47
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	48
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	48
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	48
9 生きがいや楽しみを感じて生きるために増えて欲しいもの	49
(1) 生きがいや楽しみを感じて生きるために増えて欲しいもの	49
10 就労について	50
(1) 収入のある仕事を探す方法	50
(2) 収入のある仕事を探す際に困っていること	50
11 文化・スポーツ活動について	51
(1) 公共施設の利用状況	51
(2) 文化・スポーツ活動の実施状況	51
(3) 希望する文化・スポーツ活動	52
12 学習について	53
(1) PC等の活用講座の受講経験	53
13 リスク分析	55
(1) 運動器機能の低下	55
(2) 転倒リスク	56
(3) 閉じこもり傾向	57
(4) 低栄養傾向	58
(5) 口腔機能の低下	59
(6) 認知機能の低下	60
(7) IADL(手段的自立度)の低下	61

(8) うつ傾向	62
(9) 知的能動性の低下	63
(10) 社会的役割の低下	64
(11) 圏域別リスク該当者割合	65
14 経年比較	66
(1) 家族構成	66
(2) 介護・介助の必要性	66
(3) 現在の暮らしの経済的状況	67
(4) 外出しているか	67
(5) 外出頻度の減少	68
(6) 外出を控えているか	68
(7) 外出を控える理由	69
(8) 外出する際の移動手段	70
(9) 誰かと食事をする機会	71
(10) 会・グループへの参加状況	72
(11) 地域活動への参加者としての参加希望	76
(12) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	76
(13) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	77
(14) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	78
(15) 看病や世話をしてくれる人	79
(16) 看病や世話をしてくれる人	80
(17) 主観的健康感	81
(18) 飲酒の状況	81
(19) 喫煙の状況	82
(20) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	82
(21) 認知症に関する相談窓口の認知度	83
(22) 運動器機能の低下	83
(23) 転倒リスク	84
(24) 閉じこもり傾向	84
(25) 低栄養傾向	85
(26) 口腔機能の低下	85
(27) 認知機能の低下	86
(28) IADL（手段的自立度）の低下	86
(29) うつ傾向	87
(30) 知的能動性の低下	87
(31) 社会的役割の低下	88

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】 89

◎調査票記入者、ご本人の情報について	91
(1) 調査票記入者	91
(2) 年齢	91
(3) 性別	92
(4) 居住地区	92
(5) 要介護認定状況	92
●調査結果	93
(1) 世帯類型	93
(2) 家族・親族からの介護の頻度	93
(3) 主な介護者	94
(4) 主な介護者の性別	94
(5) 主な介護者の年齢	95
(6) 主な介護者が行っている介護	96
(7) 介護を理由とした離職の有無	97
(8) 「介護保険サービス以外」のサービス利用	98
(9) 在宅生活の継続に必要なサービス・支援	99

(10) 施設等への入所・入居検討状況	100
(11) 現在抱えている傷病	101
(12) 訪問診療の利用の有無	102
(13) 介護保険サービスの利用	103
(14) 介護保険サービス未利用の理由	103
(15) 主な介護者の勤務形態	104
(16) 介護のための働き方の調整	105
(17) 介護と仕事の両立のために効果的な支援	106
(18) 主な介護者の就労継続	107
(19) 不安に感じる介護	108
● 経年比較	109
(1) 世帯類型	109
(2) 家族・親族からの介護の頻度	109
(3) 主な介護者	110
(4) 主な介護者が行っている介護	111
(5) 介護を理由とした離職の有無	112
(6) 在宅生活の継続に必要なサービス・支援	113
(7) 施設等への入所・入居検討状況	114
(8) 訪問診療の利用の有無	114
(9) 介護保険サービスの利用	115
(10) 主な介護者の勤務形態	115
(11) 介護のための働き方の調整	116
(12) 介護と仕事の両立のために効果的な支援	117
(13) 主な介護者の就労継続	118
(14) 不安に感じる介護	119
IV 自由記述	121
V 資料編	129



I 調査の概要



1 調査目的

本調査は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「第9期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、本市の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護者の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施した。

2 調査設計

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) 調査対象：一般高齢者（65歳以上の市民で、要介護認定者を除く。）
- (2) 標本数：2,500人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送配付－郵送回収法
- (5) 調査期間：令和4年12月

【在宅介護実態調査】

- (1) 調査対象：要介護認定者（要介護認定を受けており、在宅で生活している市民）
- (2) 標本数：1,500人
- (3) 抽出方法：無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送配付－郵送回収法
- (5) 調査期間：令和4年12月

3 調査内容

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- 問1 あなたのご家族や生活状況について
- 問2 からだを動かすことについて
- 問3 食べることについて
- 問4 毎日の生活について
- 問5 地域での活動について
- 問6 たすけあいについて
- 問7 健康について
- 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について
- 問9 生きがいや楽しみについて
- 問10 就労について
- 問11 文化・スポーツ活動について

I 調査の概要

問 12 学習について

問 13 自由記述

【在宅介護実態調査】

問 1 世帯類型について

問 2 家族や親族の方からの介護の頻度について

問 3 主な介護者について

問 4 主な介護者の性別について

問 5 主な介護者の方の年齢について

問 6 現在、主な介護者が行っている介護等について

問 7 介護を主な理由とした離職の有無について

問 8 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて

問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について

問 11 現在抱えている傷病について

問 12 訪問診療の利用の有無について

問 13 介護保険サービスの利用の有無について

問 14 介護保険サービスを利用していない理由について

問 15 主な介護者の勤務形態について

問 16 介護のための働き方の調整等について

問 17 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援について

問 18 就労継続について

問 19 不安を感じる介護等について

問 20 自由記述

4 回収結果

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(1) 標本数：2, 498人

(2) 有効回収数：1, 446人

(3) 有効回収率：57.9%

【在宅介護実態調査】

(1) 標本数：1, 488人

(2) 有効回収数：653人

(3) 有効回収率：43.9%

5 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。



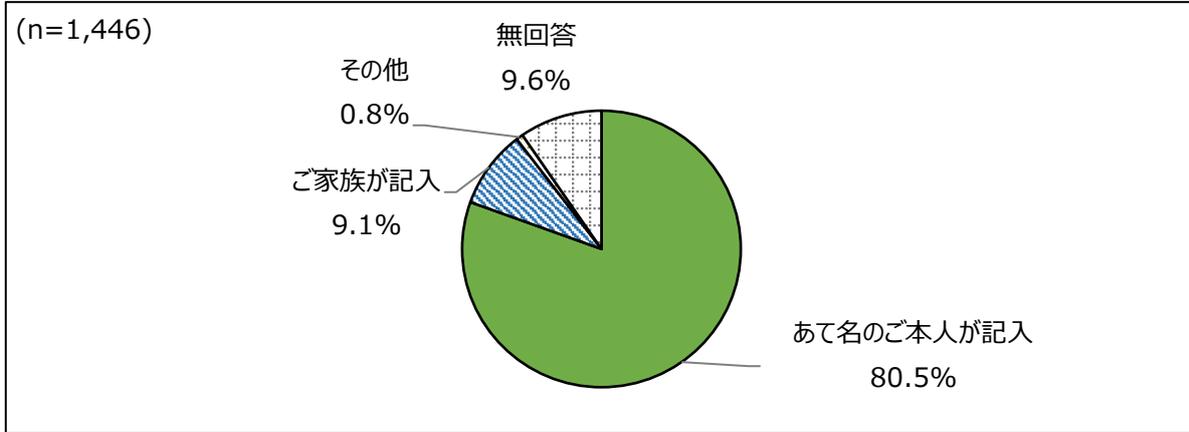
Ⅱ 調査結果

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

◎調査票記入者、ご本人の情報について

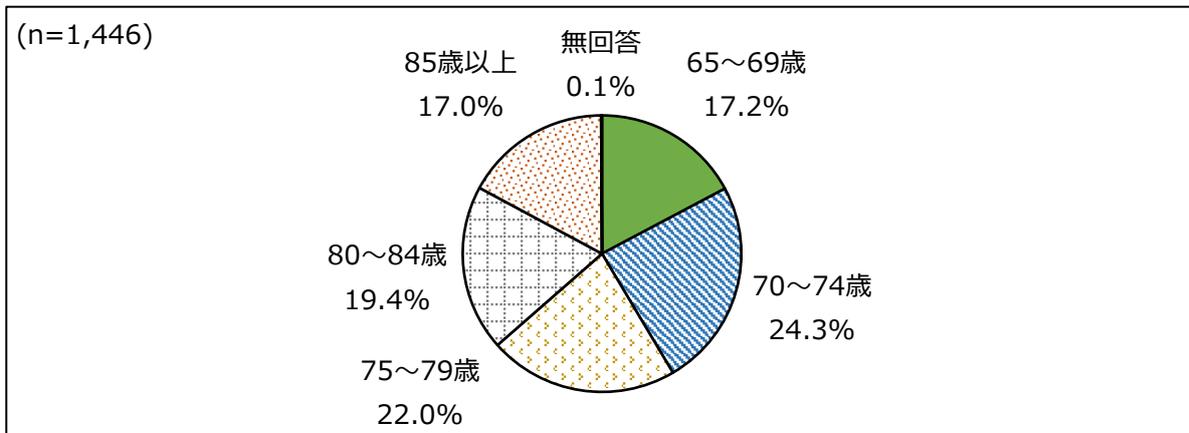
(1) 調査票記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください



調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が80.5%で大半を占めている。

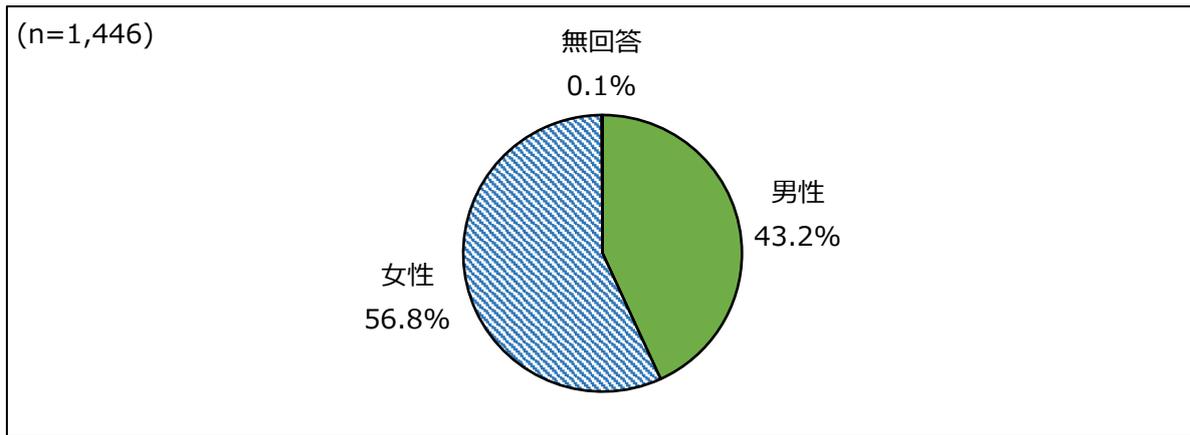
(2) 年齢



年齢は、「65～69歳」が17.2%、「70～74歳」が24.3%、「75～79歳」が22.0%、「80～84歳」が19.4%、「85歳以上」が17.0%となっている。

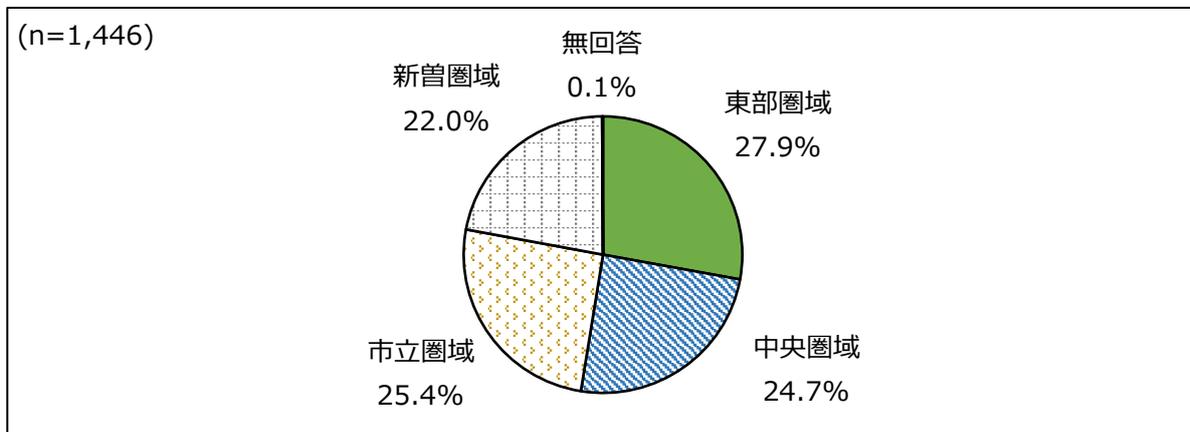
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(3) 性別



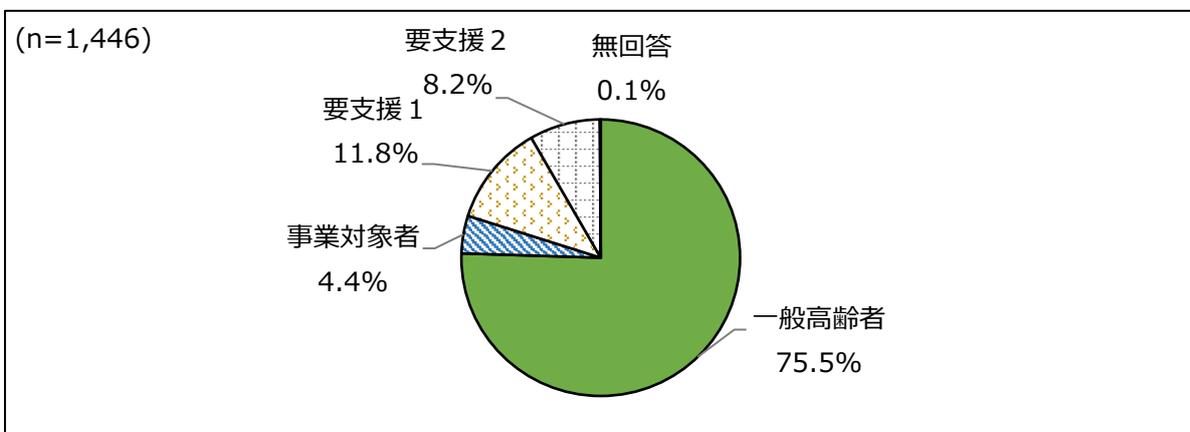
性別は、「男性」が43.2%、「女性」が56.8%となっている。

(4) 居住地区



居住地区は、「東部圏域」が27.9%、「中央圏域」が24.7%、「市立圏域」が25.4%、「新曽圏域」が22.0%となっている。

(5) 要介護認定状況

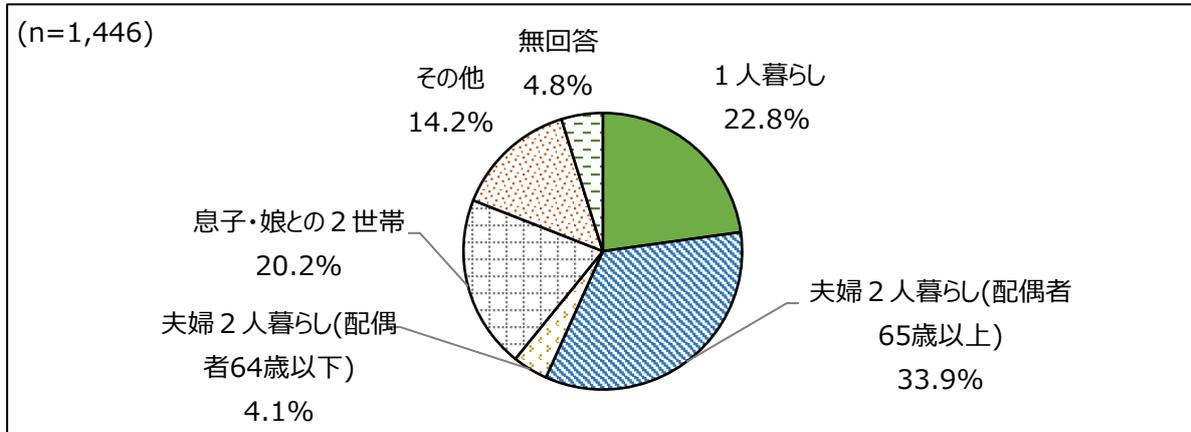


要介護認定状況については、「一般高齢者」が75.5%、「事業対象者」が4.4%、「要支援1」が11.8%、「要支援2」が8.2%となっている。

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

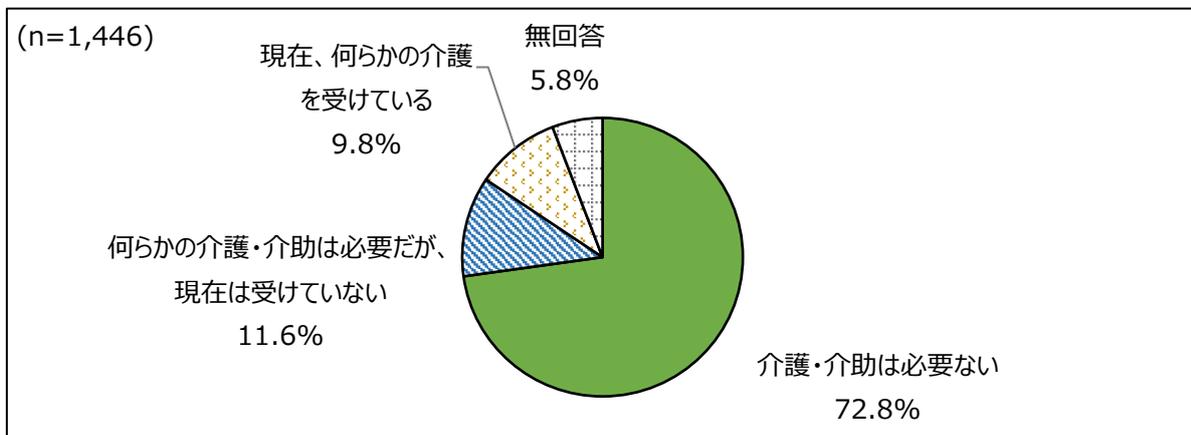
(1) 家族構成をお教えてください



家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.9%で最も多く、次いで「1人暮らし」が22.8%、「息子・娘との2世帯」が20.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.1%、「その他」が14.2%となっている。

(2) 介護・介助の必要性

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



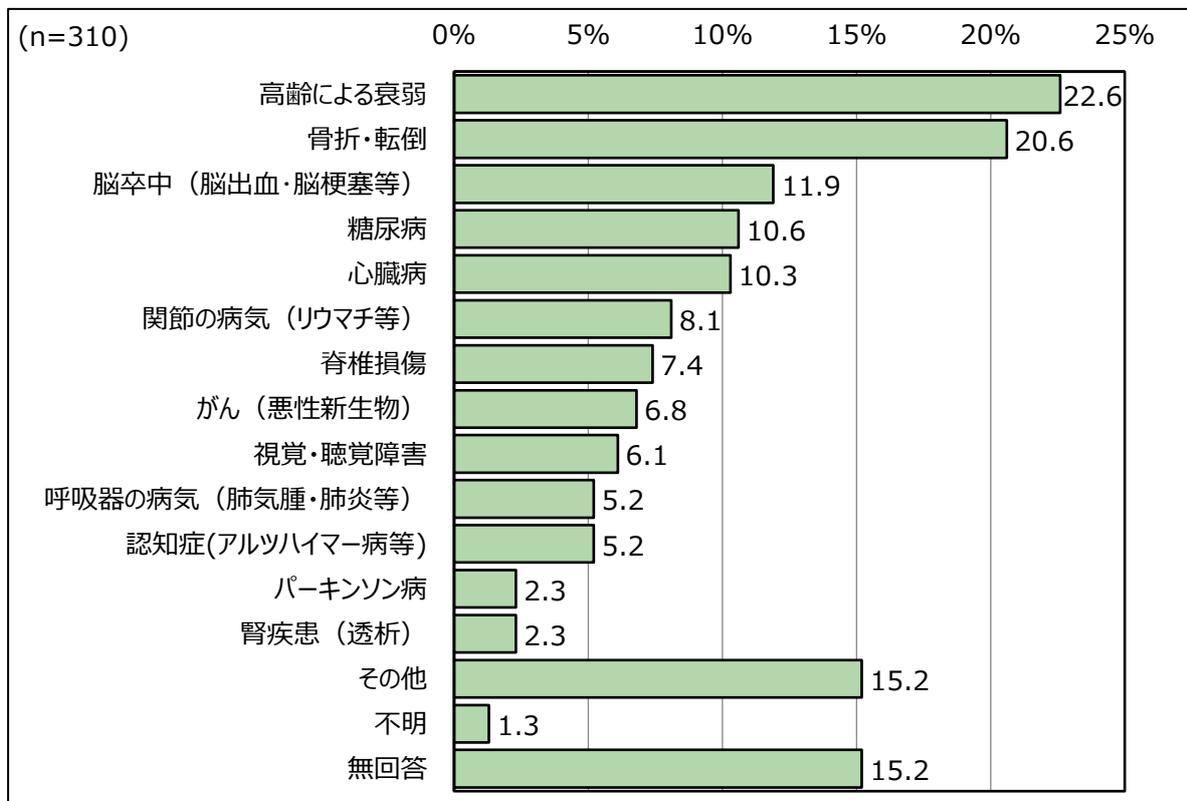
普段の生活で介護・介助が必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が72.8%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が9.8%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

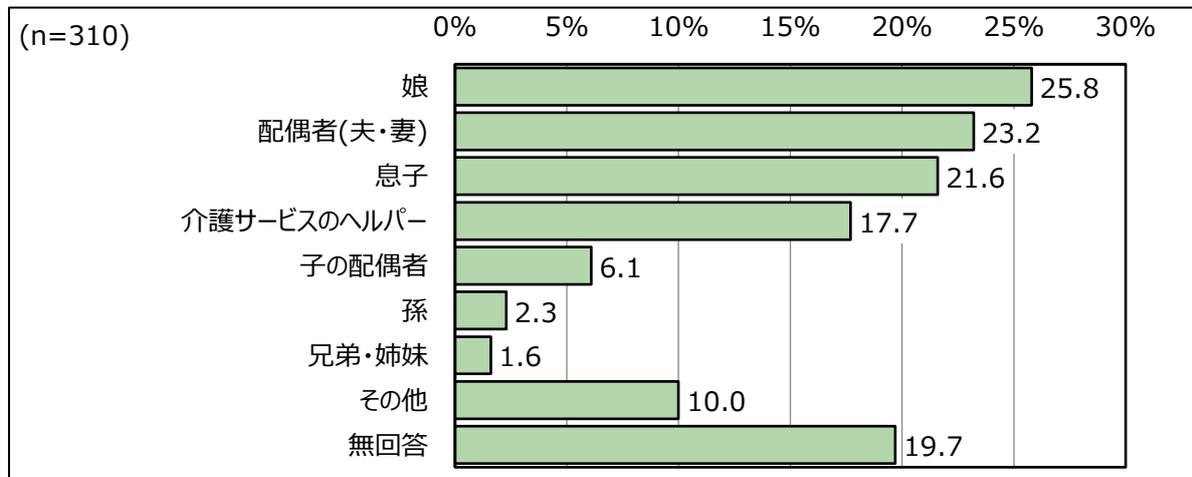


介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が22.6%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.6%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が11.9%、「糖尿病」が10.6%、「心臓病」が10.3%などとなっている。

(4) 主な介護・介助者

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

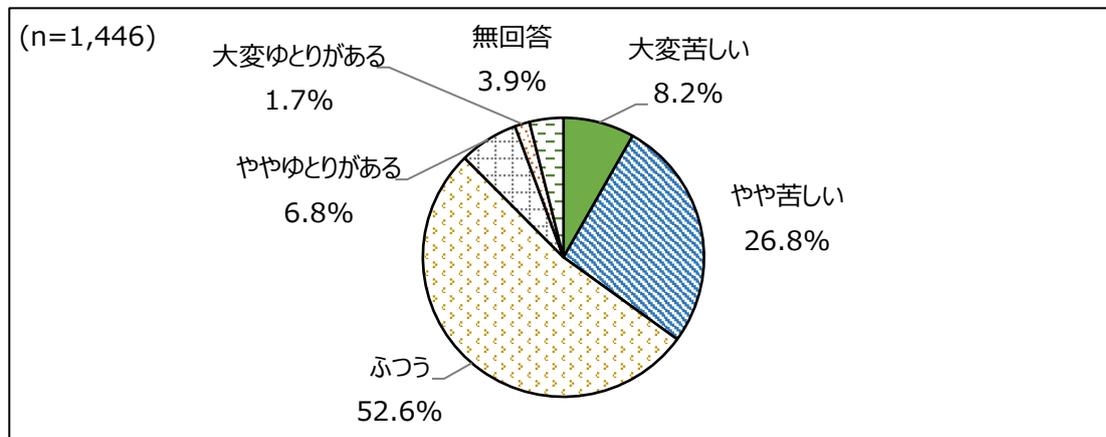
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)



主な介護・介助者は、「娘」が 25.8%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 23.2%、「息子」が 21.6%、「介護サービスのヘルパー」が 17.7%、「子の配偶者」が 6.1%などとなっている。

(5) 現在の暮らしの経済的状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

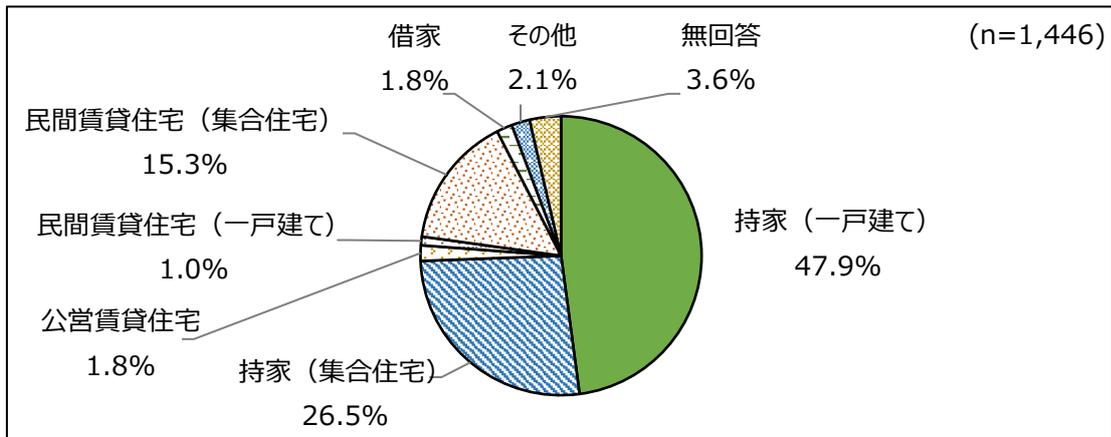


現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が 52.6%で最も多く、以下、「やや苦しい」が 26.8%、「大変苦しい」が 8.2%、「ややゆとりがある」が 6.8%、「大変ゆとりがある」が 1.7%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(6) 住居の形態

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

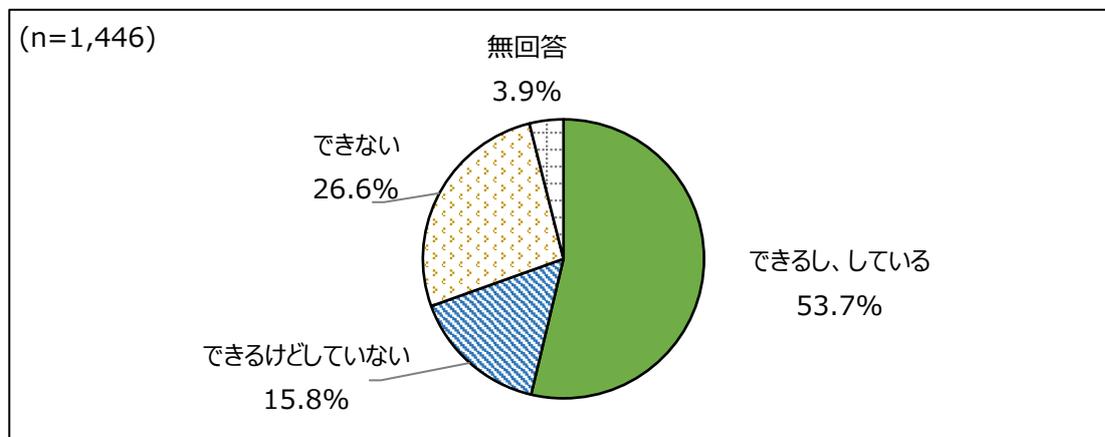


住居の形態は、「持家（一戸建て）」が 47.9%で最も多く、以下、「持家（集合住宅）」が 26.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 15.3%、「借家」と「公営賃貸住宅」が 1.8%などとなっている。

2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

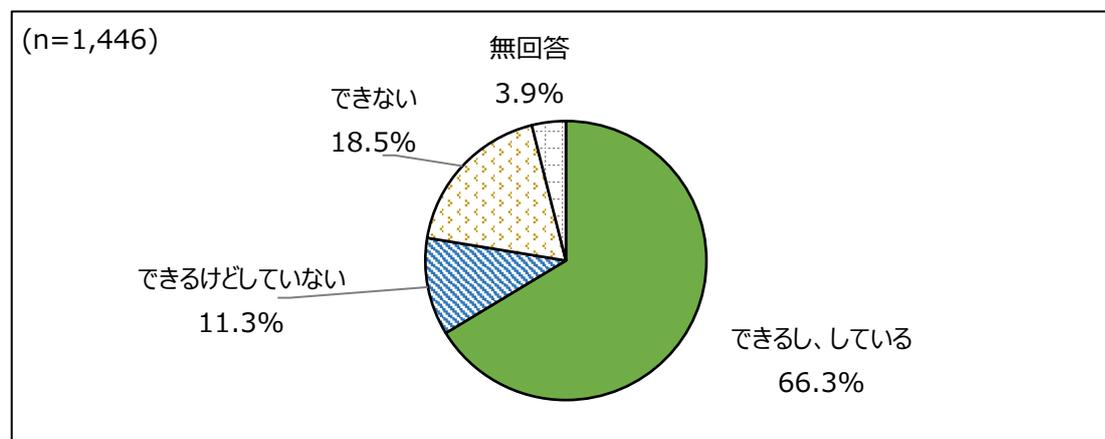
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は26.6%となっている。

(2) 起立

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

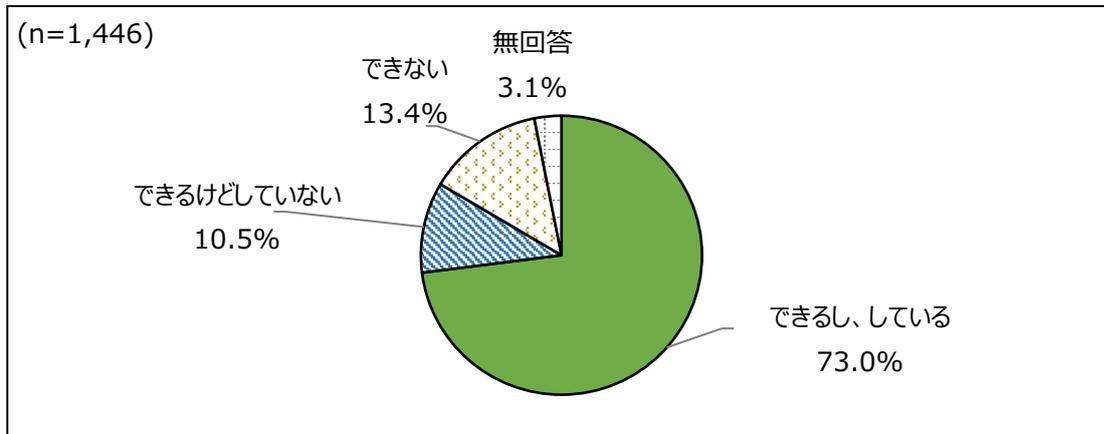


椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は18.5%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(3) 継続的な歩行

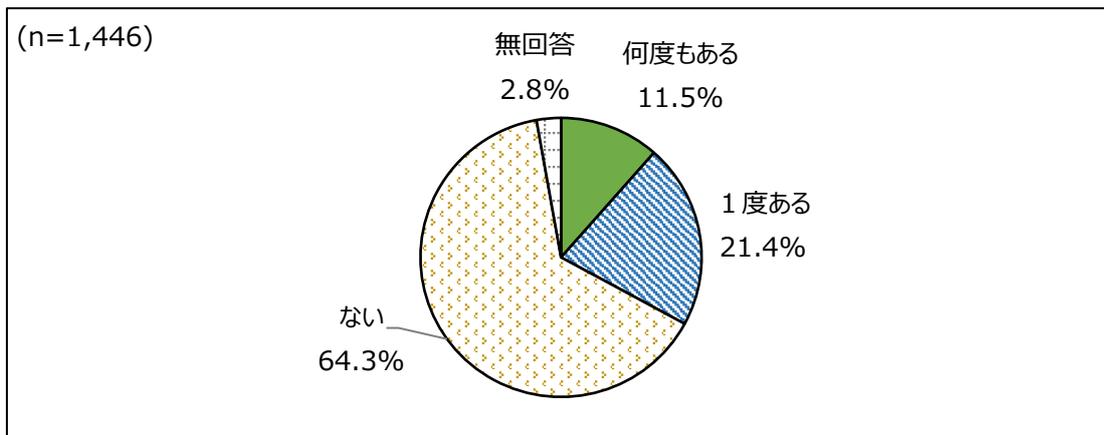
(3) 15分位続けて歩いていますか



15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は13.4%となっている。

(4) 転倒した経験

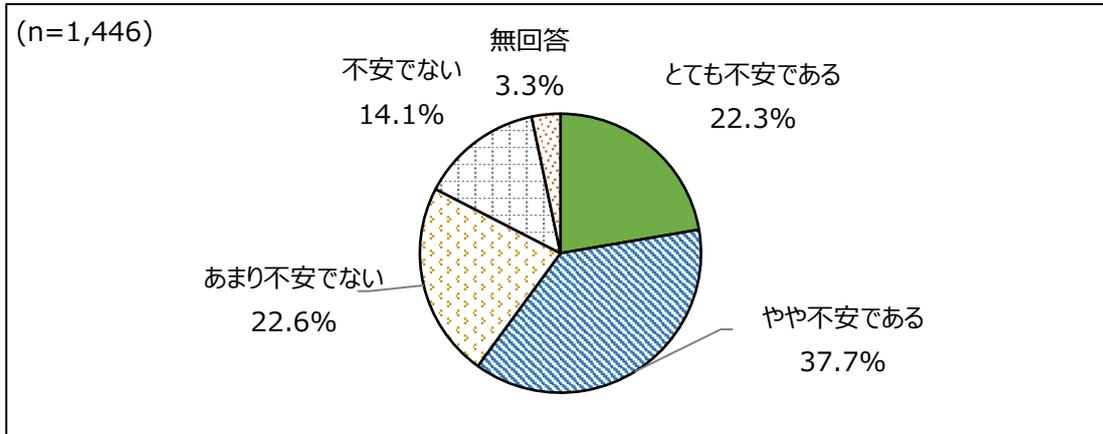
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある割合』（「何度もある」と「1度ある」の合計）は32.9%となっている。

(5) 転倒に対する不安

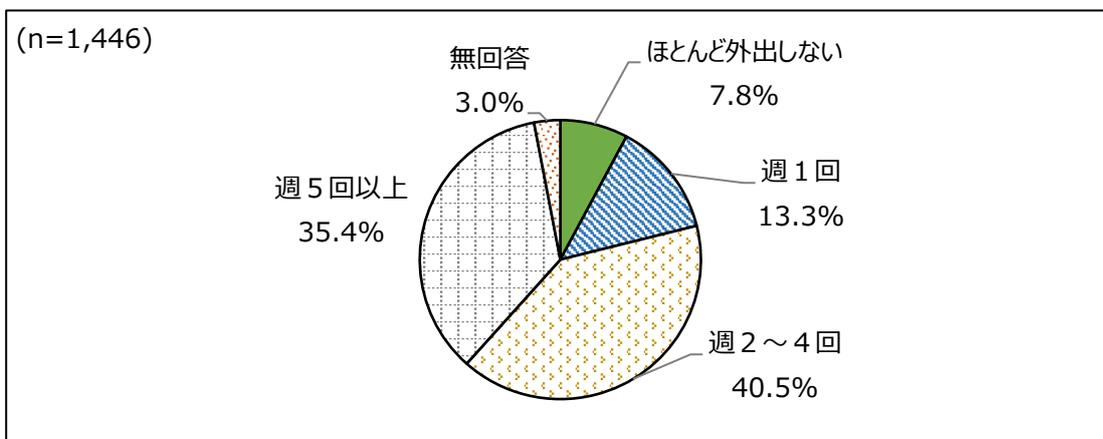
(5) 転倒に対する不安は大きいですか



転倒に対する不安について尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である割合』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）は60.0%となっている。

(6) 外出しているか

(6) 週に1回以上は外出していますか

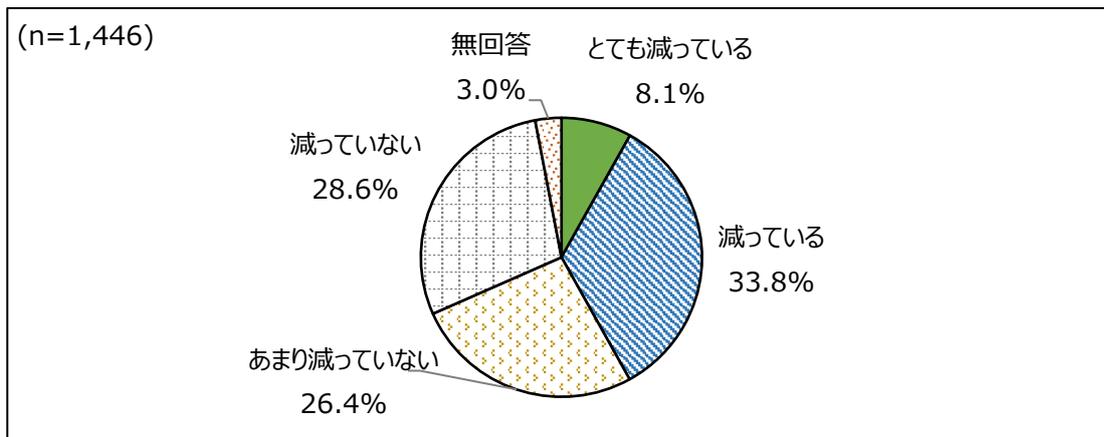


週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない割合』（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は21.1%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(7) 外出頻度の減少

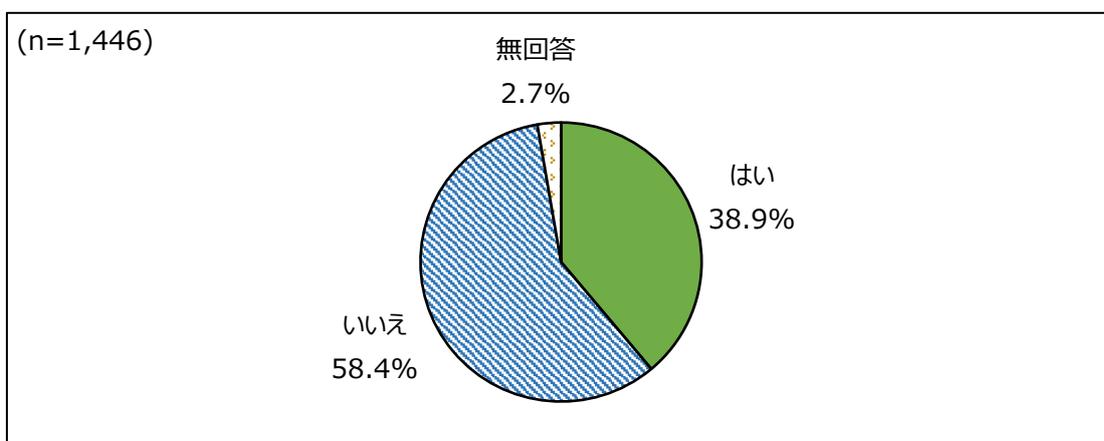
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「減っている」が33.8%で最も多く、以下、「減っていない」が28.6%、「あまり減っていない」が26.4%、「とても減っている」が8.1%となっている。

(8) 外出を控えているか

(8) 外出を控えていますか

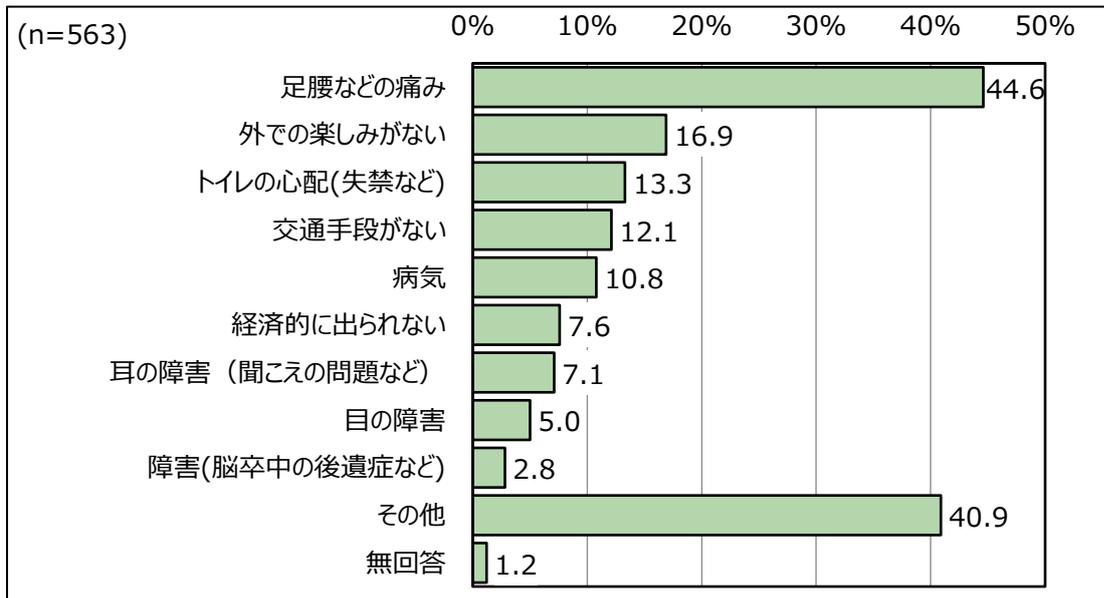


外出を控えているか尋ねたところ、38.9%が「はい」と回答している。

(9) 外出を控える理由

【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

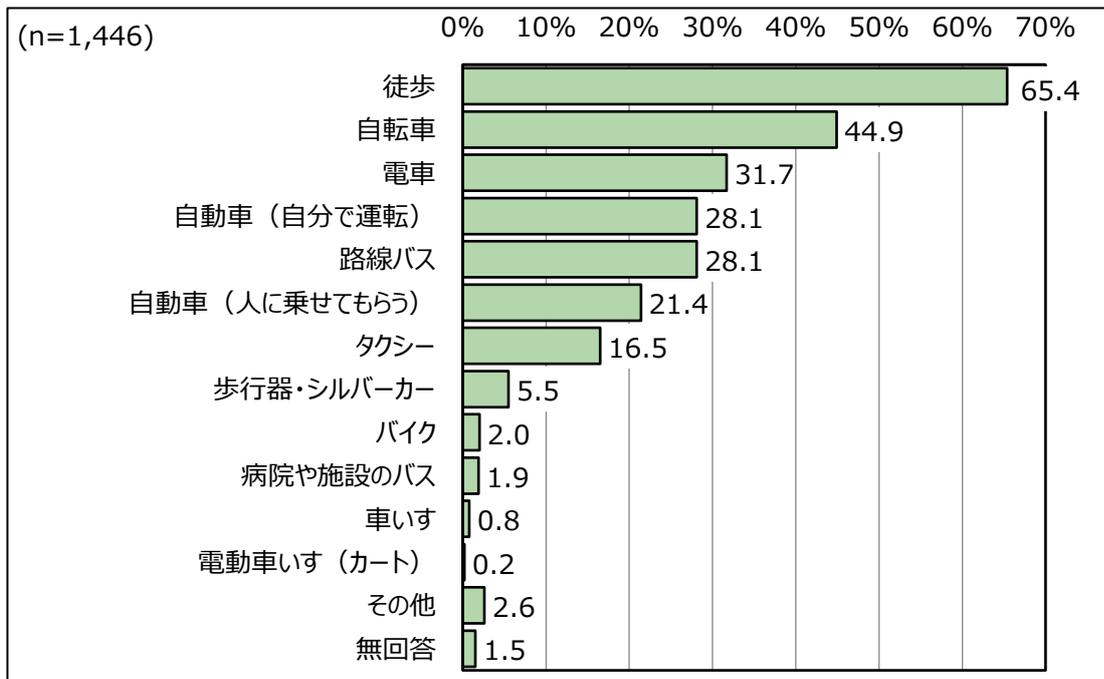
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



外出の理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が44.6%で最も多く、以下、「外での楽しみがない」が16.9%、「トイレの心配(失禁など)」が13.3%、「交通手段がない」が12.1%、「病気」が10.8%などとなっている。

(10) 外出する際の移動手段

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)



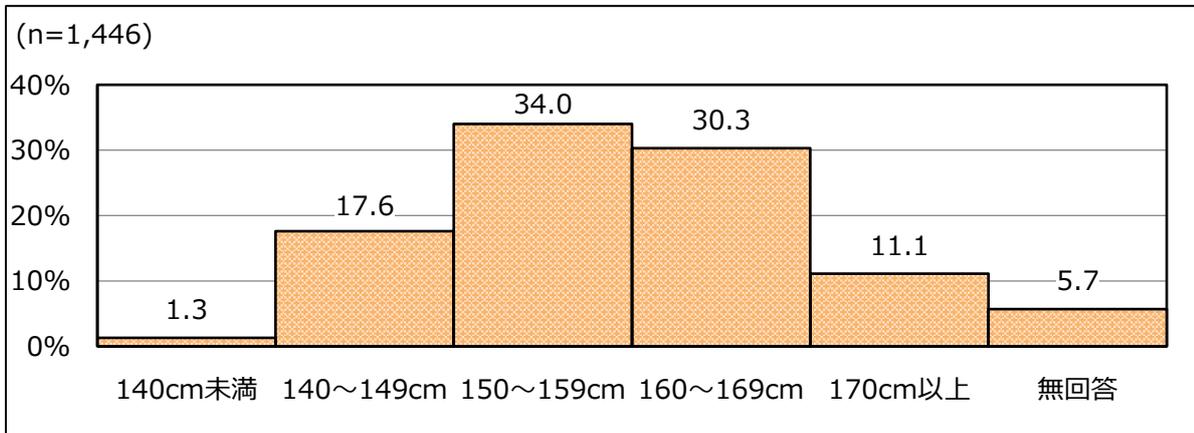
外出する際の移動手段については、「徒歩」が65.4%で最も多く、以下、「自転車」が44.9%、「電車」が31.7%、「自動車(自分で運転)」と「路線バス」が28.1%などとなっている。

3 食べることについて

(1) 身長・体重

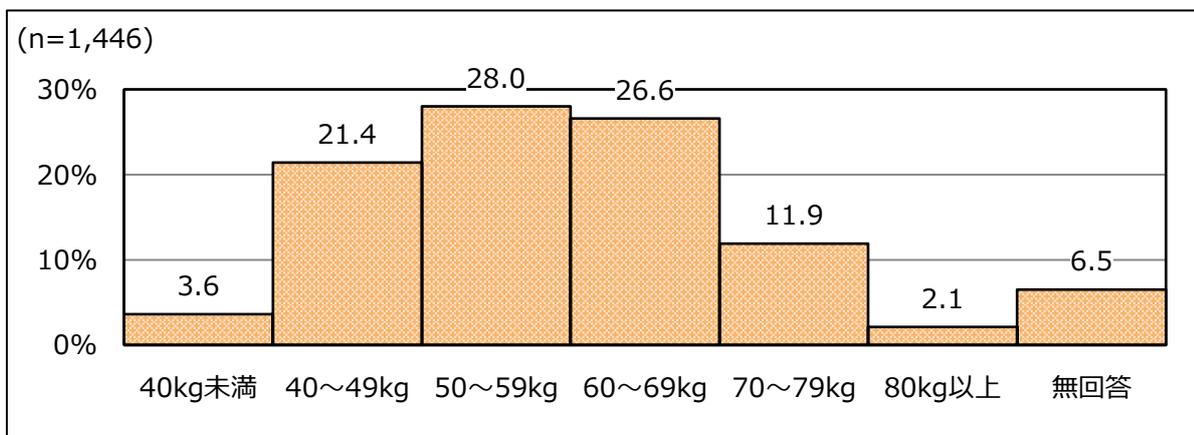
(1) 身長・体重

《身長》



身長は、「150~159cm」が34.0%で最も多く、以下、「160~169cm」が30.3%、「140~149cm」が17.6%、「170cm以上」が11.1%、「140cm未満」が1.3%などとなっている。

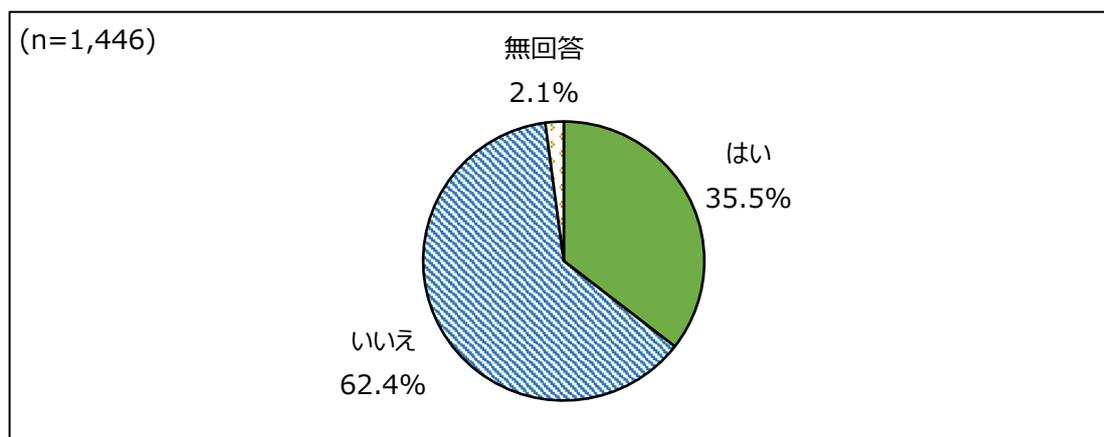
《体重》



体重は、「50~59kg」が28.0%で最も多く、以下、「60~69kg」が26.6%、「40~49kg」が21.4%、「70~79kg」が11.9%、「40kg未満」が3.6%などとなっている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

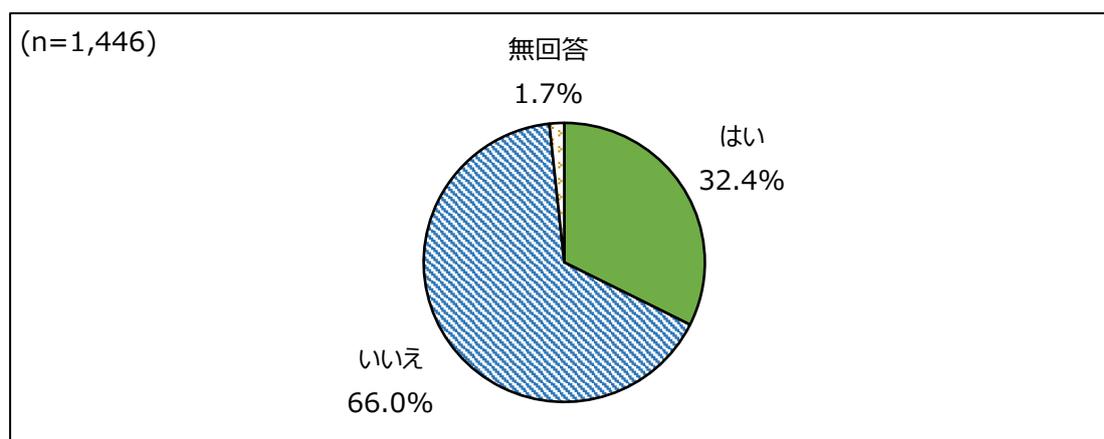
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は 35.5%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

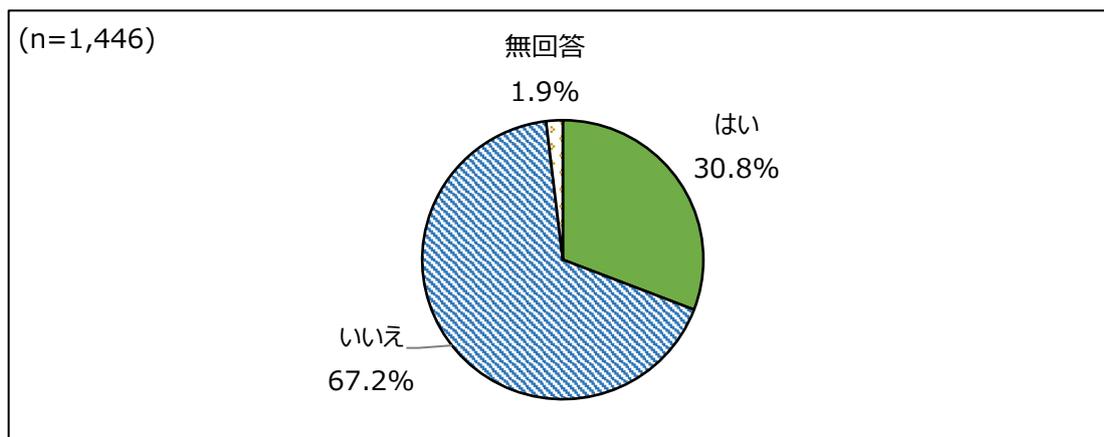


お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は 32.4%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(4) 口の渇き

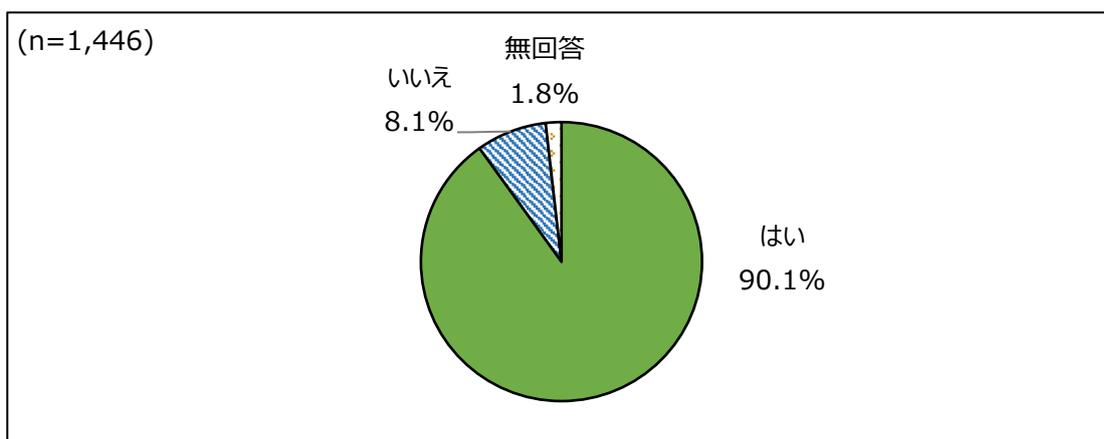
(4) 口の渇きが気になりますか



口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は30.8%となっている。

(5) 歯磨きの習慣

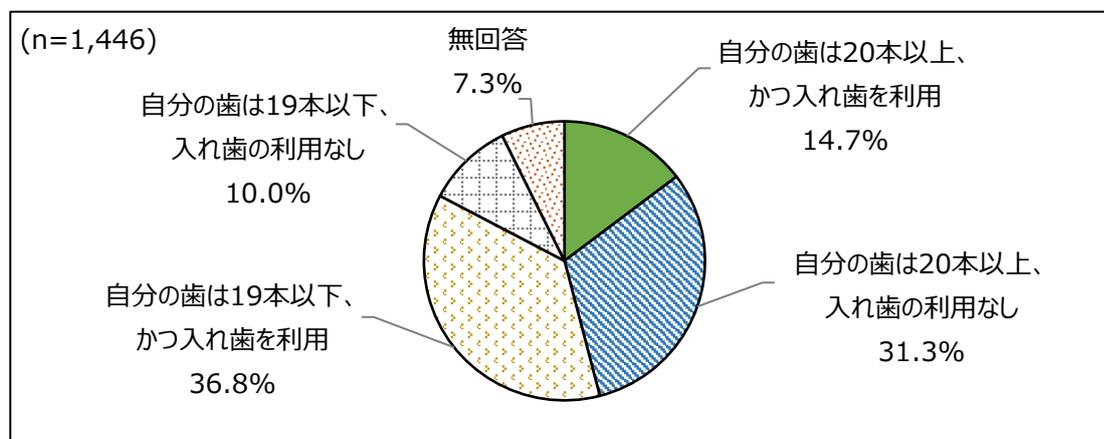
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が90.1%、「いいえ」が8.1%となっている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

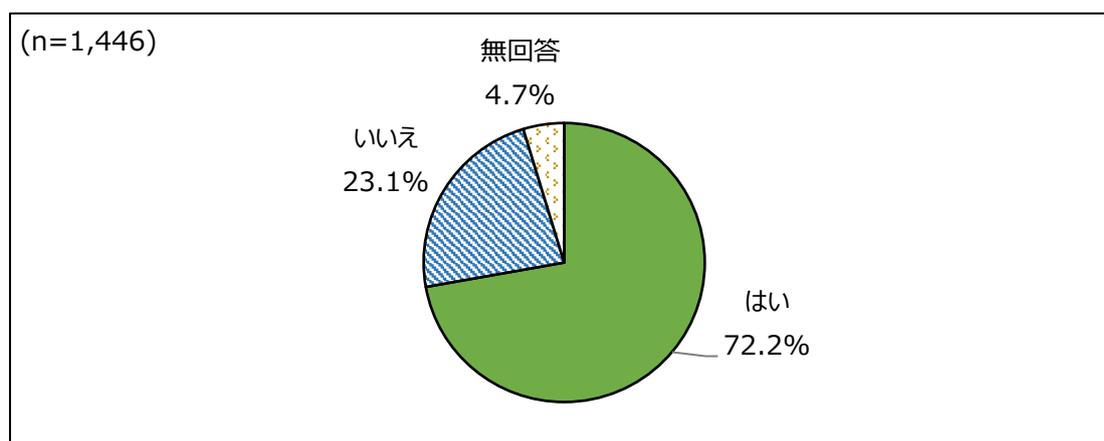


歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.8%で最も多く、以下、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 31.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.7%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.0%となっている。

したがって、『自分の歯は 20 本以上の人』は 46.0%、『入れ歯を利用している人』は 51.5%となっている。

(7) 噛み合わせ

① 噛み合わせは良いですか



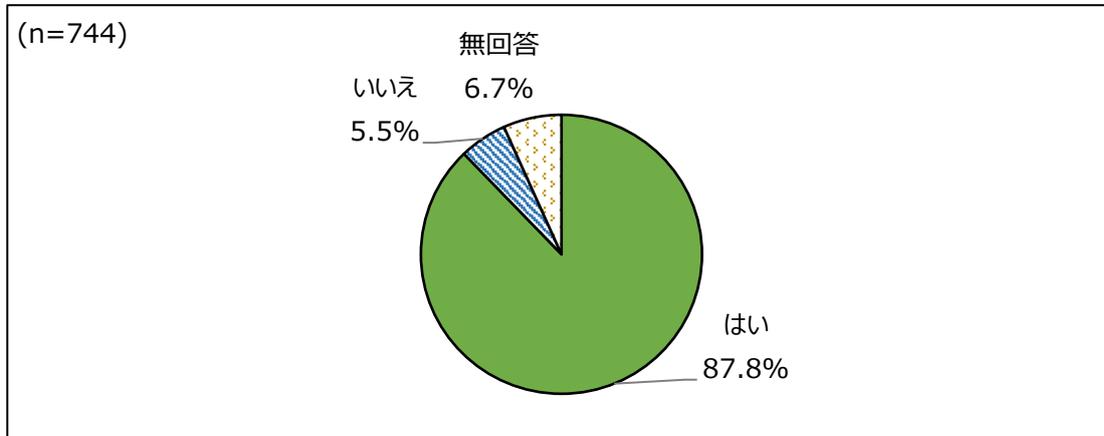
噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が 72.2%、「いいえ」が 23.1%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(8) 入れ歯の手入れ

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

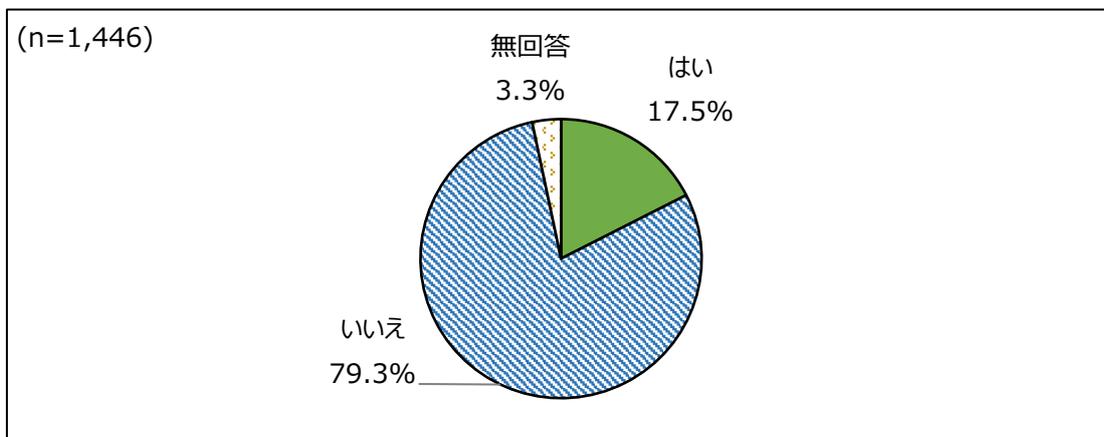
②毎日入れ歯の手入れをしていますか



入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が87.8%、「いいえ」が5.5%となっている。

(9) 体重の減少

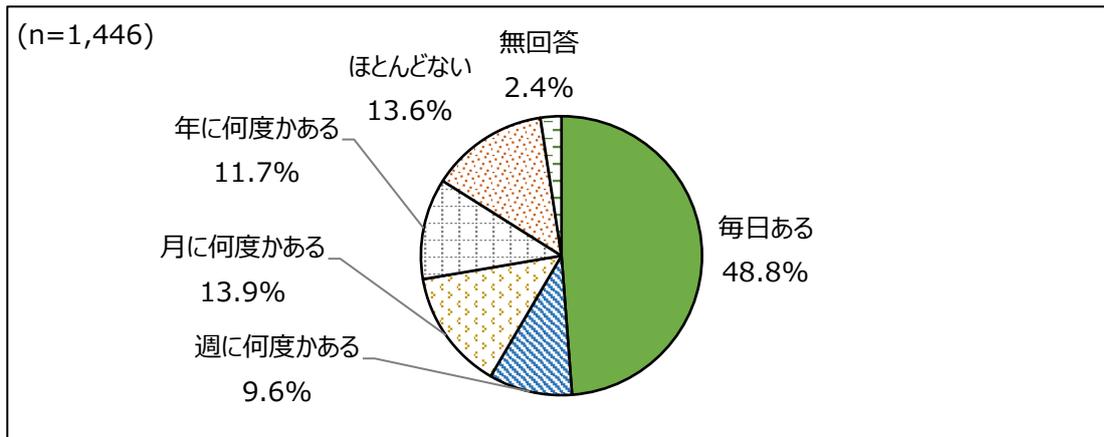
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となるの「はい」の割合は17.5%となっている。

(10) 誰かと食事をする機会

(8) どなたかと食事をともしる機会がありますか

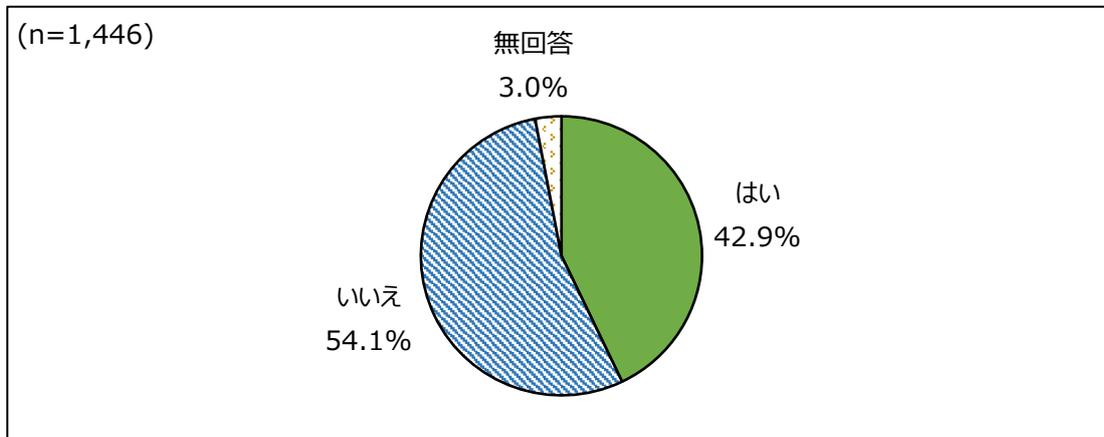


自分一人でなく誰かと食事をともしる機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が48.8%で最も多く、以下、「月に何度かある」が13.9%、「ほとんどない」が13.6%、「年に何度かある」が11.7%、「週に何度かある」が9.6%などとなっている。

4 毎日の生活について

(1) 物忘れがあるか

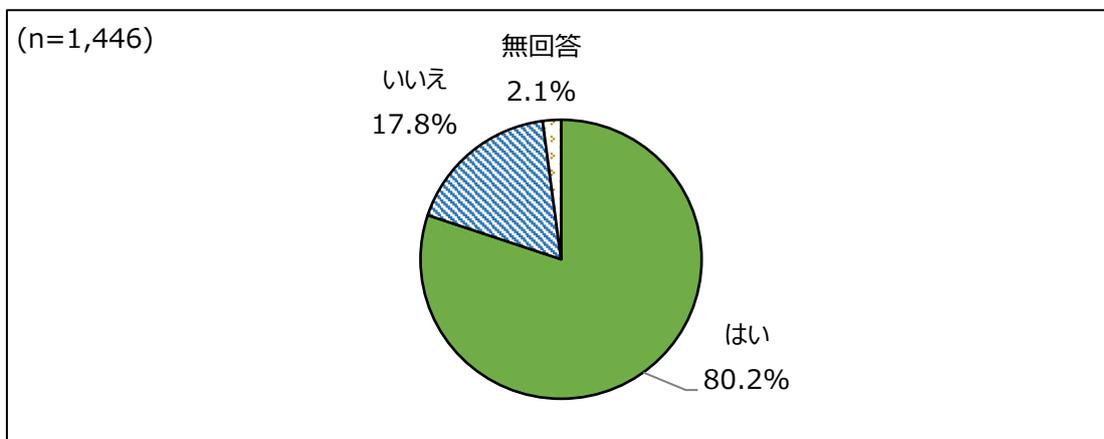
(1) 物忘れが多いと感じますか



物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は42.9%となっている。

(2) 電話をかけているか

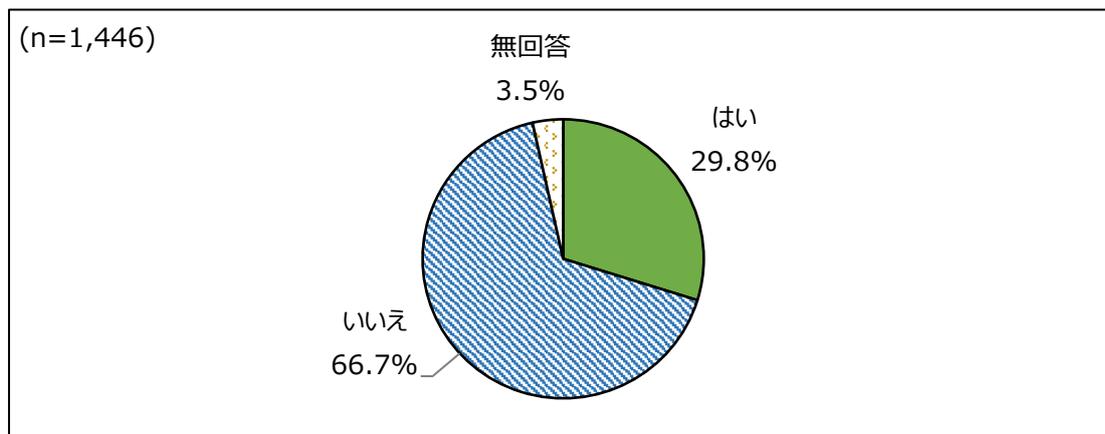
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は17.8%となっている。

(3) 日にちがわからないことがあるか

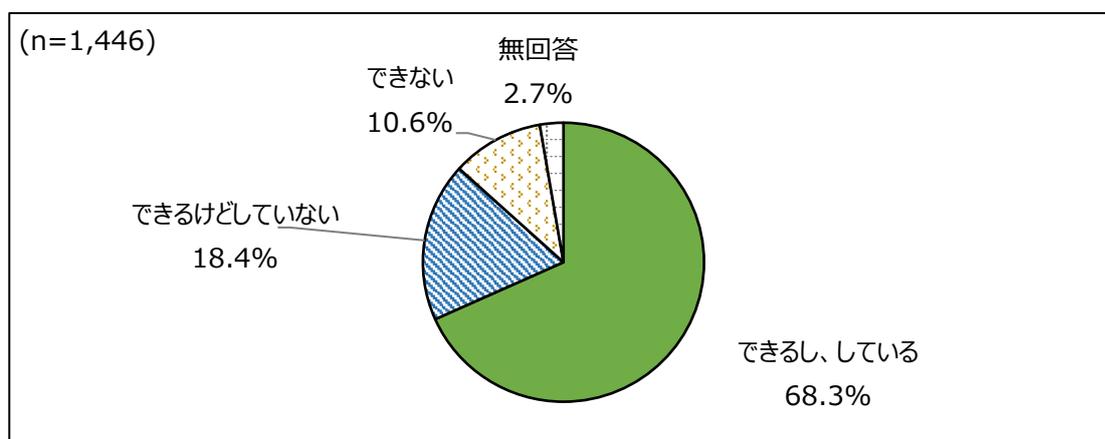
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか



日にちがわからないことがあるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は 29.8%となっている。

(4) 一人での外出

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

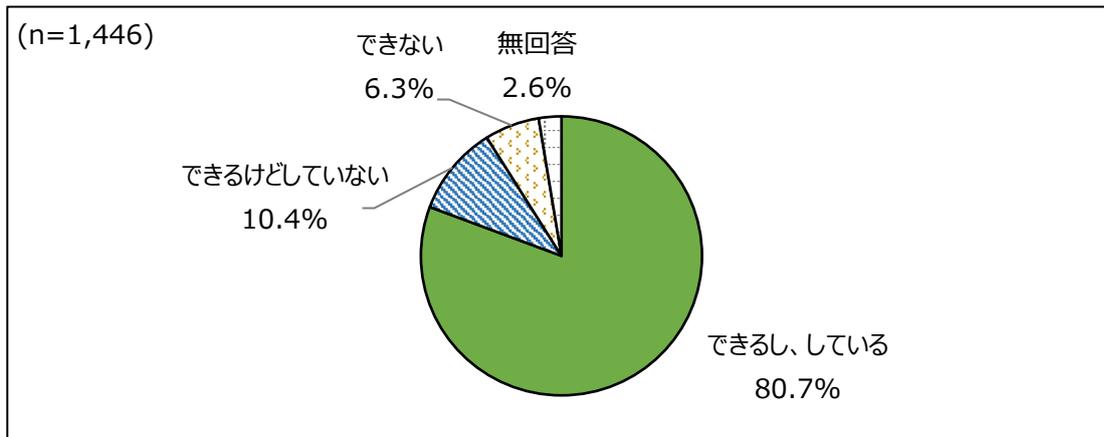


バスや電車を使って一人で外出しているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は 10.6%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(5) 食品・日用品の買い物

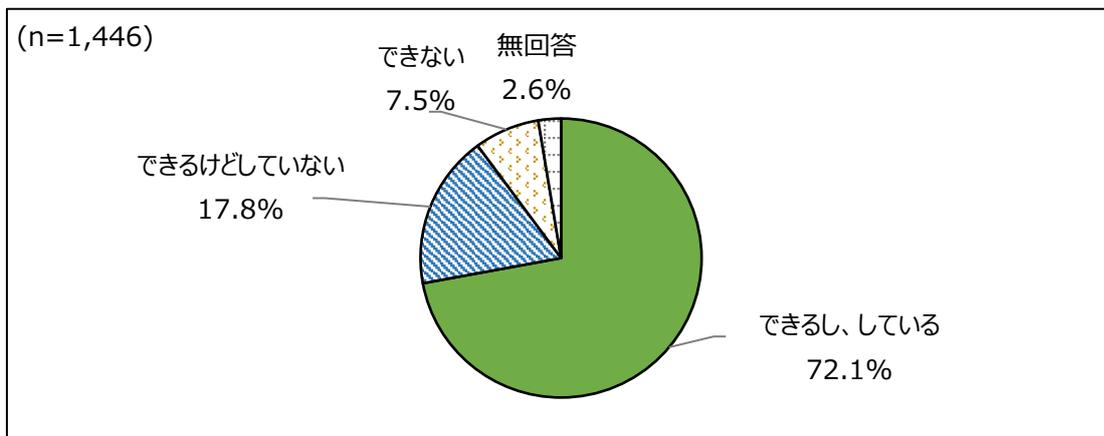
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は6.3%となっている。

(6) 食事の用意

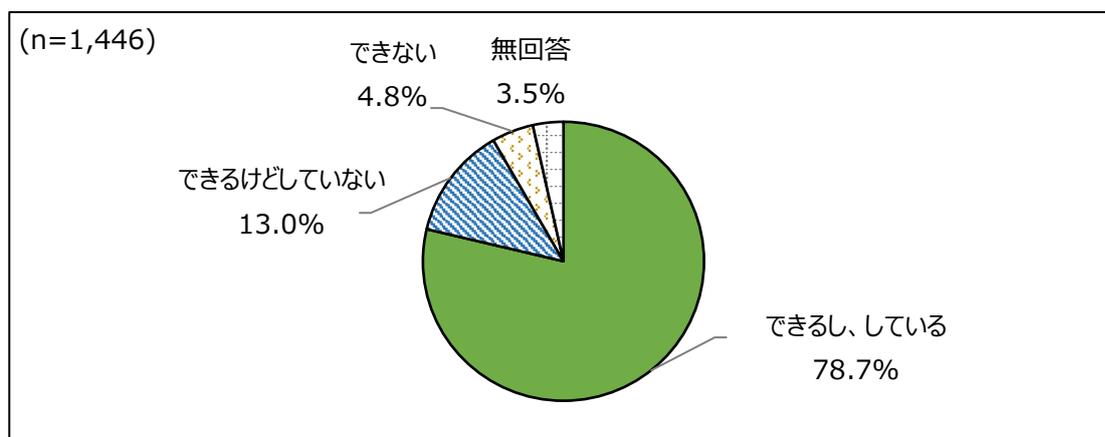
(6) 自分で食事の用意をしていますか



自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は7.5%となっている。

(7) 請求書の支払い

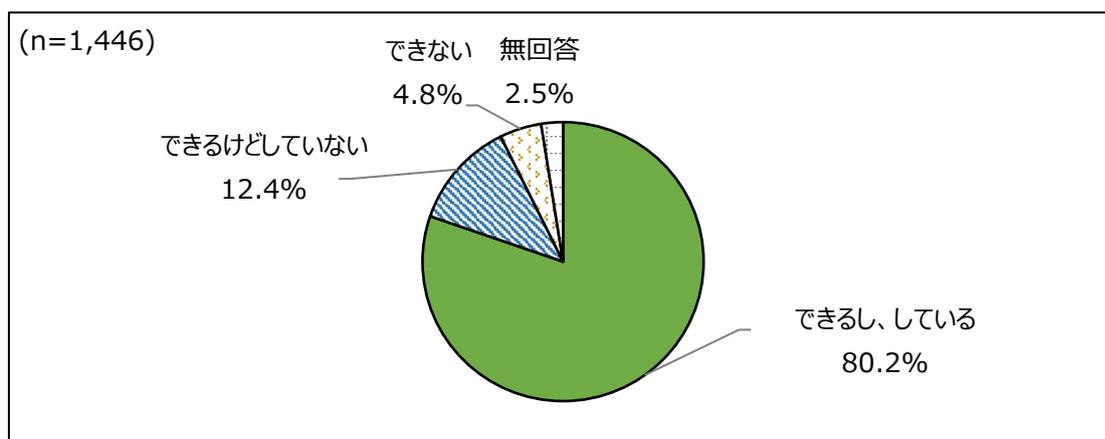
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか



自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.8%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

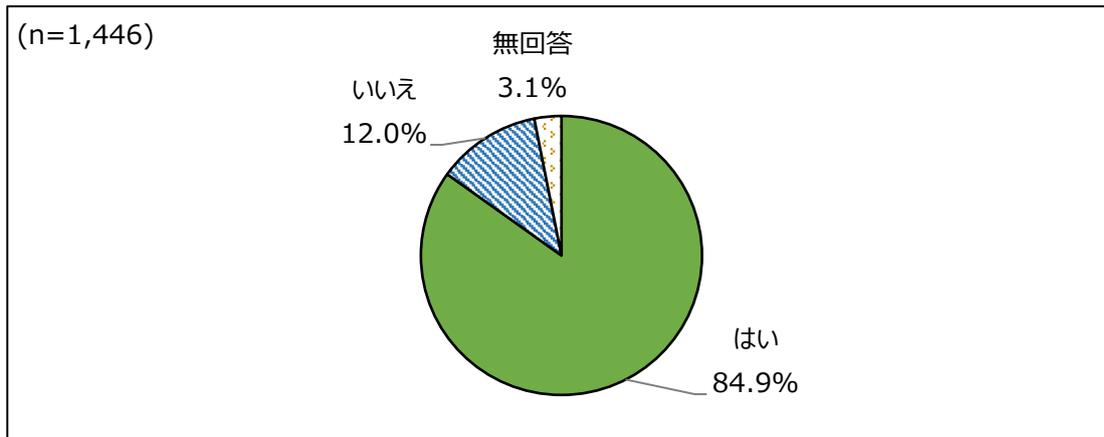


自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.8%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(9) 年金などの書類が書けるか

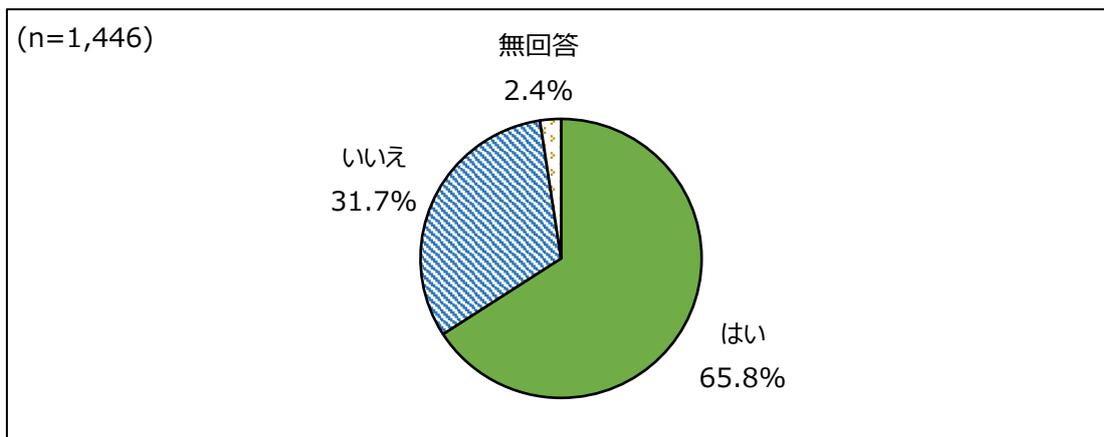
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか



年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は12.0%となっている。

(10) 新聞を読んでいるか

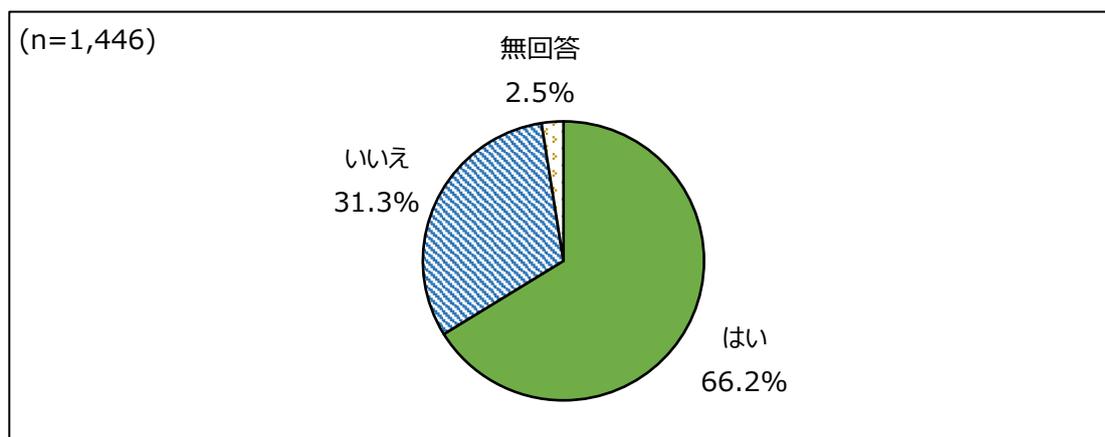
(10) 新聞を読んでいますか



新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は31.7%となっている。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

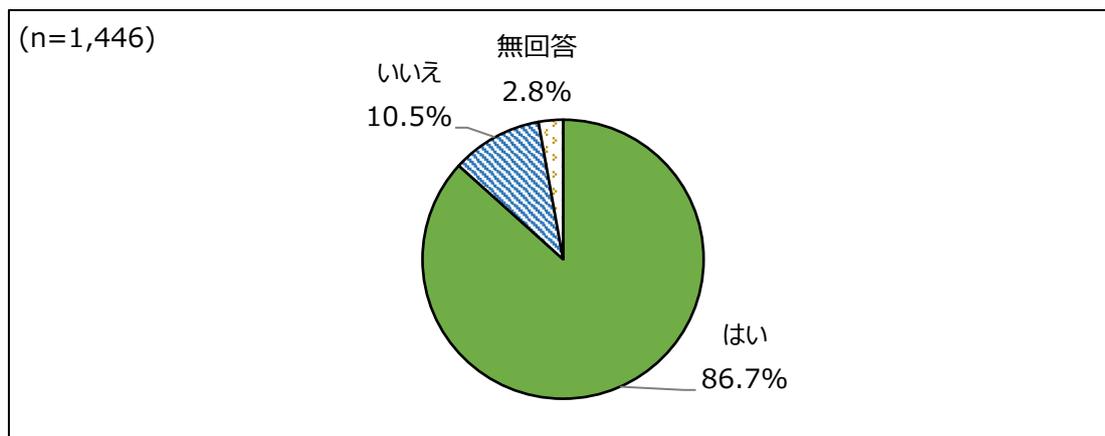
(11) 本や雑誌を読んでいますか



本や雑誌を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は31.3%となっている。

(12) 健康についての記事や番組への関心

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

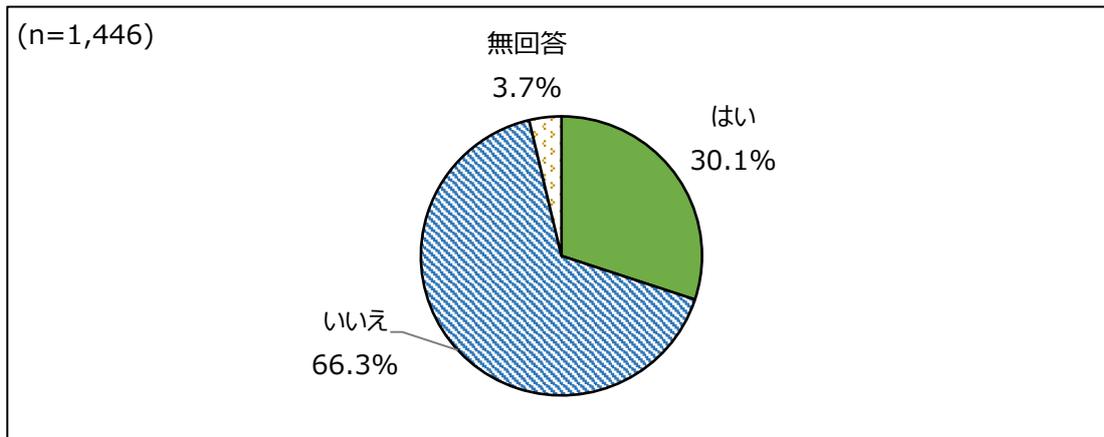


健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は10.5%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(13) 友人宅への訪問

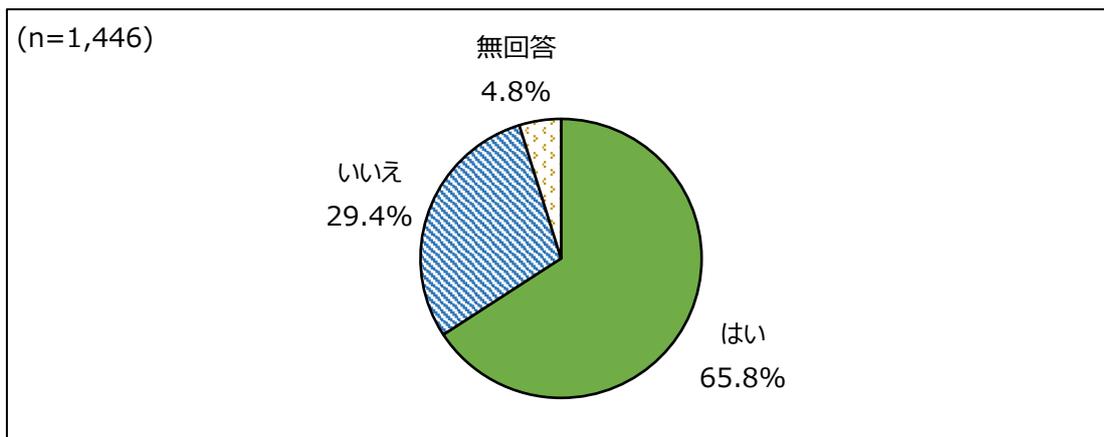
(13) 友人の家を訪ねていますか



友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は66.3%となっている。

(14) 相談にのっているか

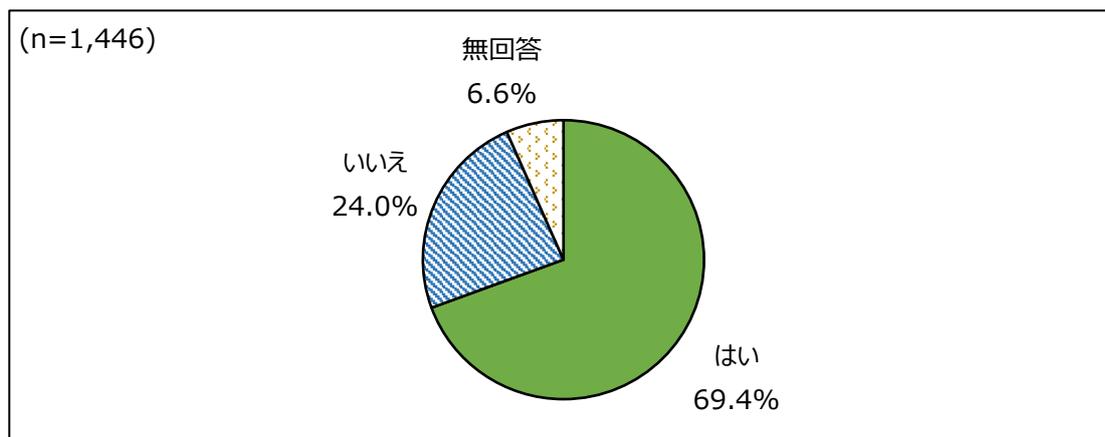
(14) 家族や友人の相談にのっていますか



家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は29.4%となっている。

(15) 病人の見舞いができるか

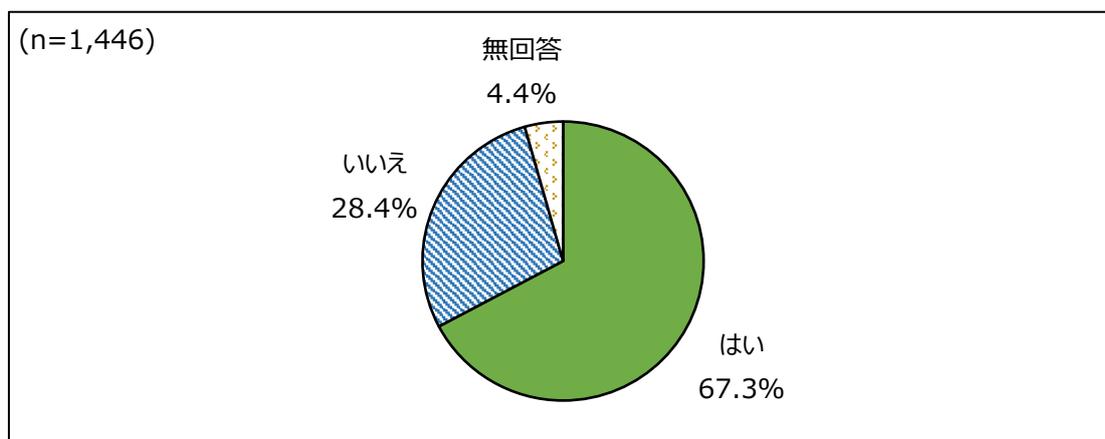
(15) 病人を見舞うことができますか



病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は24.0%となっている。

(16) 若い人への話しかけ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

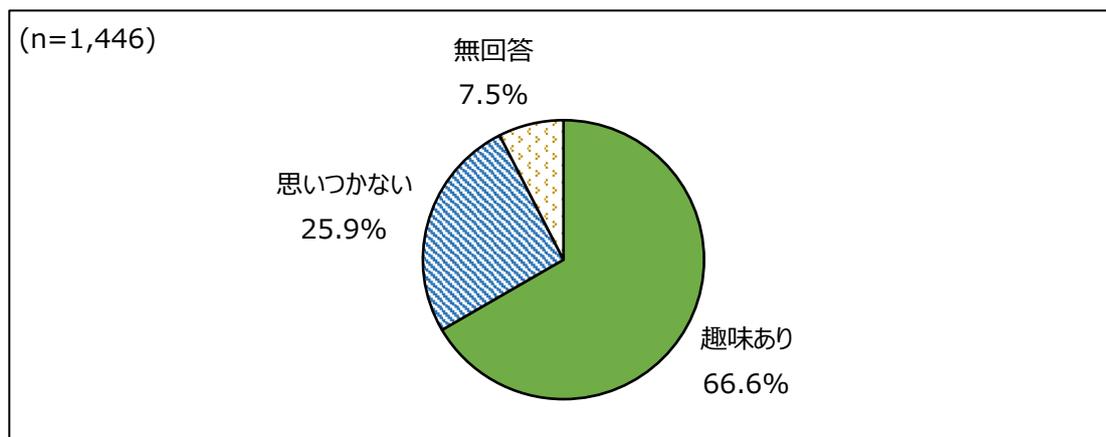


若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は28.4%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(17) 趣味はあるか

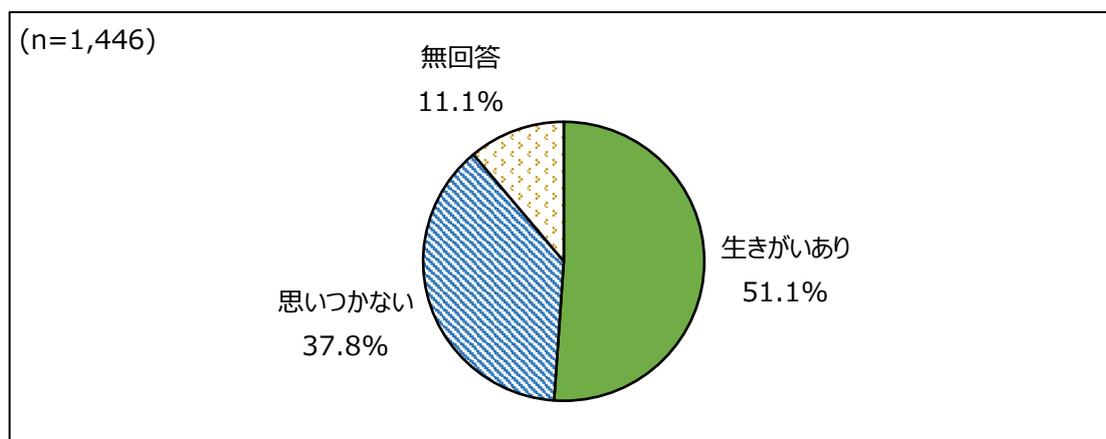
(17) 趣味はありますか



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が 66.6%、「思いつかない」が 25.9%となっている。

(18) 生きがいはあるか

(18) 生きがいがありますか



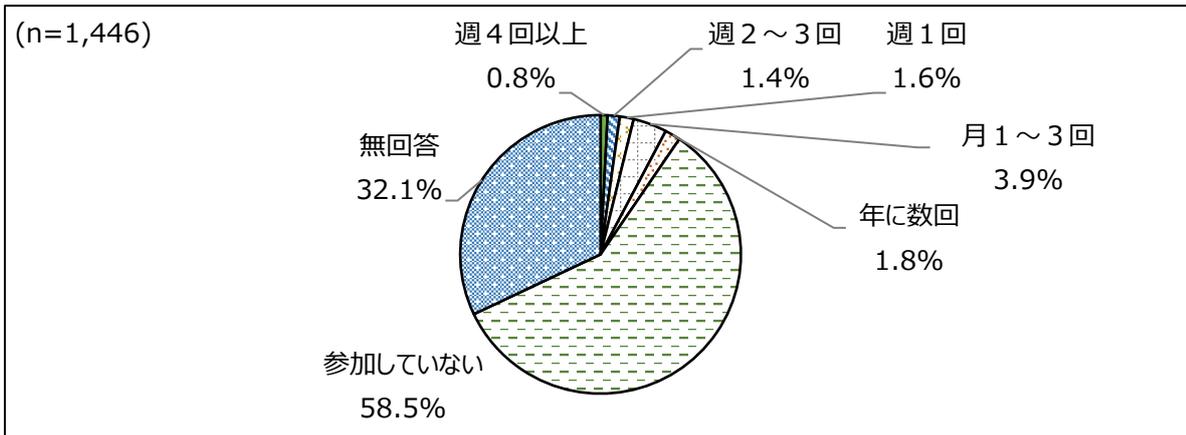
生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が 51.1%、「思いつかない」が 37.8%となっている。

5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれについて回答して下さい

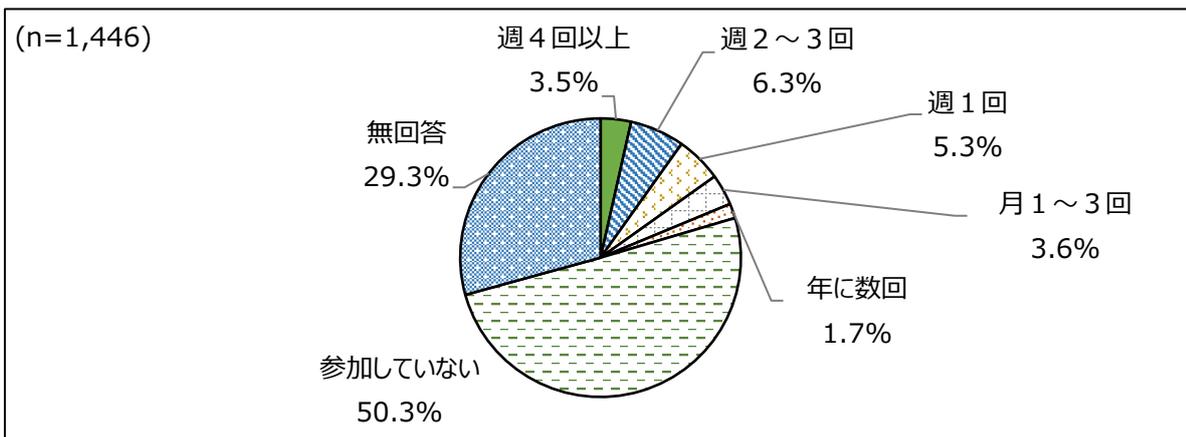
①ボランティアのグループ



ボランティアのグループについては、全体の9.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「月に1～3回」が3.9%で最も多くなっている。

一方、58.5%は「参加していない」と回答している。

②スポーツ関係のグループやクラブ

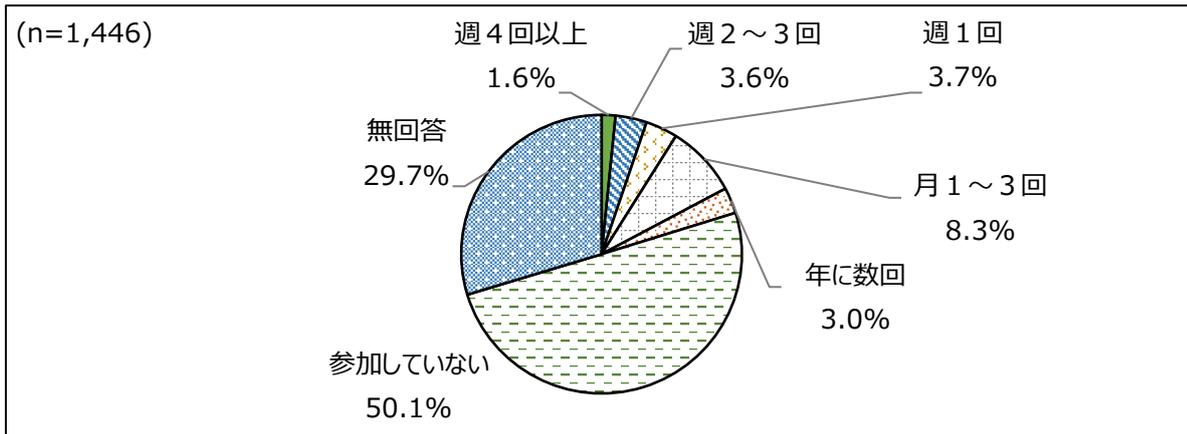


スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の20.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「週に2～3回」が6.3%で最も多くなっている。

一方、50.3%は「参加していない」と回答している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

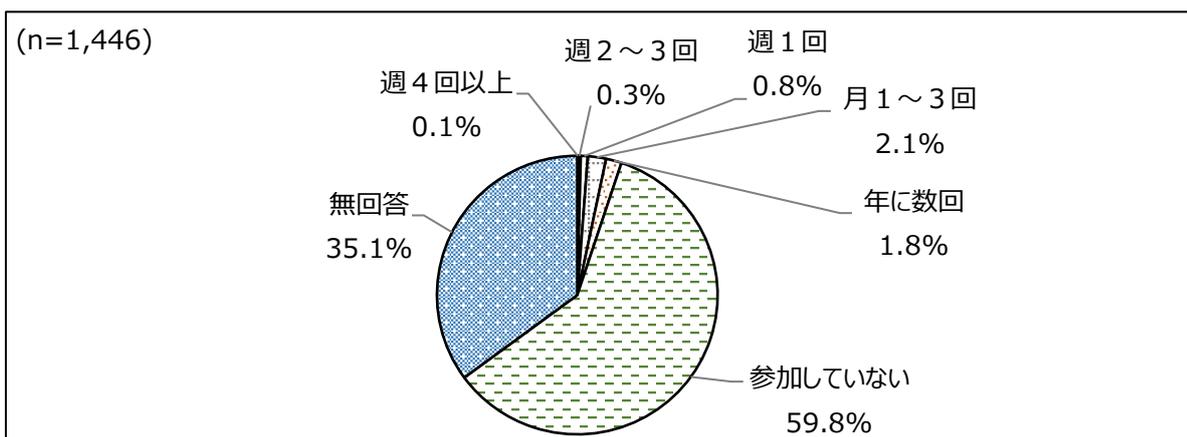
③趣味関係のグループ



趣味関係のグループについては、全体の 20.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が8.3%で最も多くなっている。

一方、50.1%は「参加していない」と回答している。

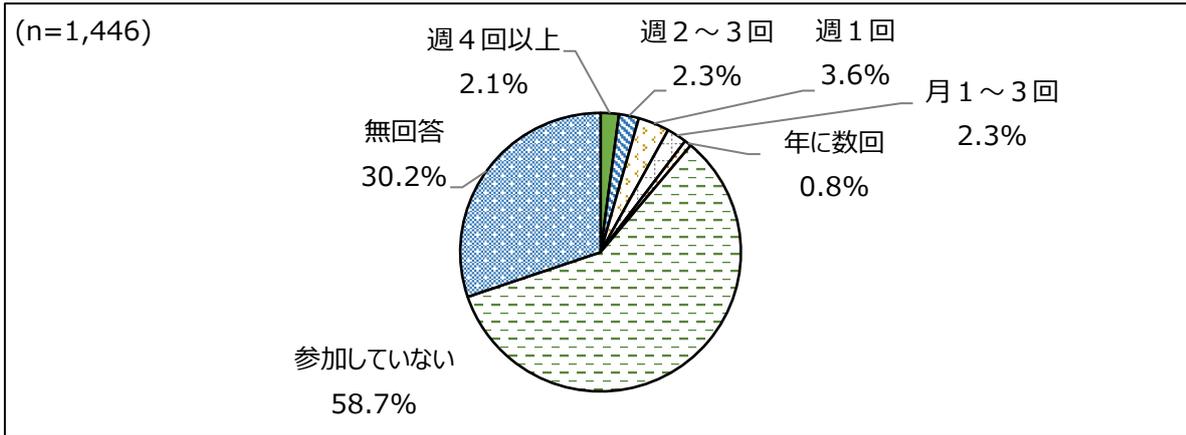
④学習・教養サークル



学習・教養サークルについては、全体の 5.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が2.1%で最も多くなっている。

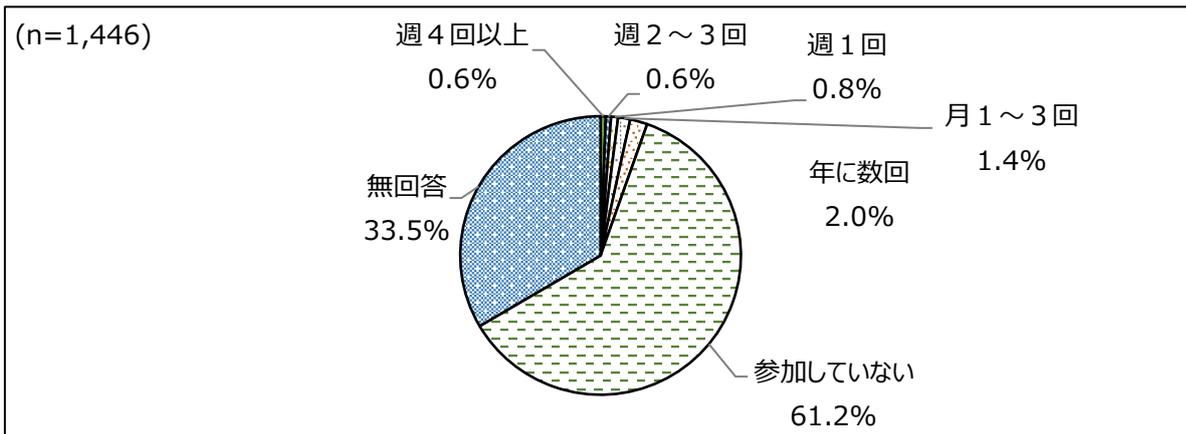
一方、59.8%は「参加していない」と回答している。

⑤ TODA元気体操やラジオ体操、介護予防のための通いの場



介護予防のための通いの場については、全体の 11.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「週1回」が3.6%で最も多くなっている。
一方、58.7%は「参加していない」と回答している。

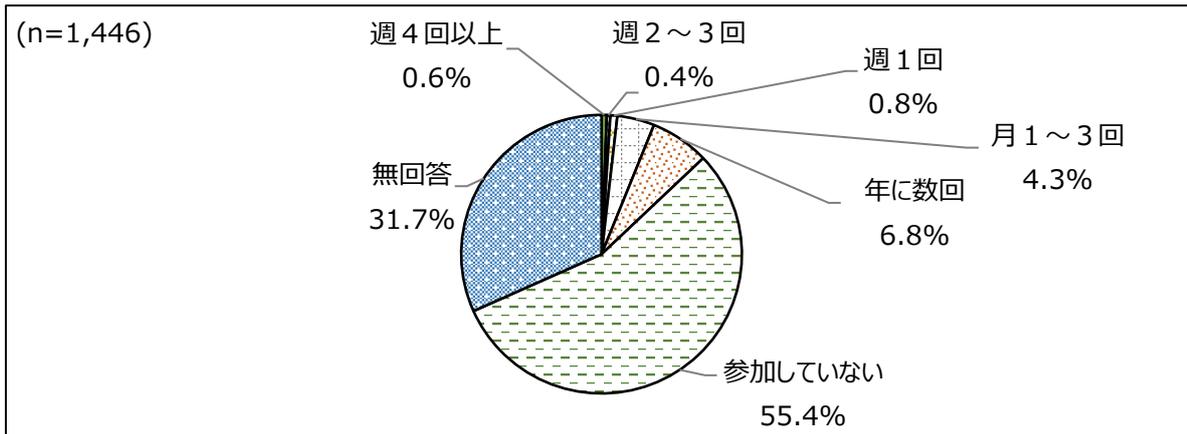
⑥ 老人クラブ



老人クラブについては、全体の 5.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「月に1~3回」が1.4%で最も多くなっている。
一方、61.2%は「参加していない」と回答している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

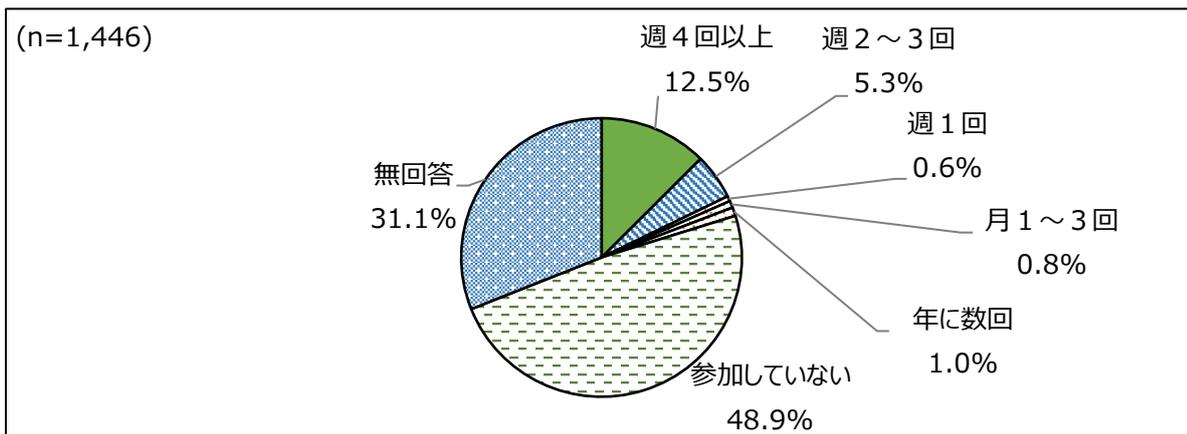
⑦町内会・自治会



町内会・自治会については、全体の12.9%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が6.8%で最も多くなっている。

一方、55.4%は「参加していない」と回答している。

⑧収入のある仕事

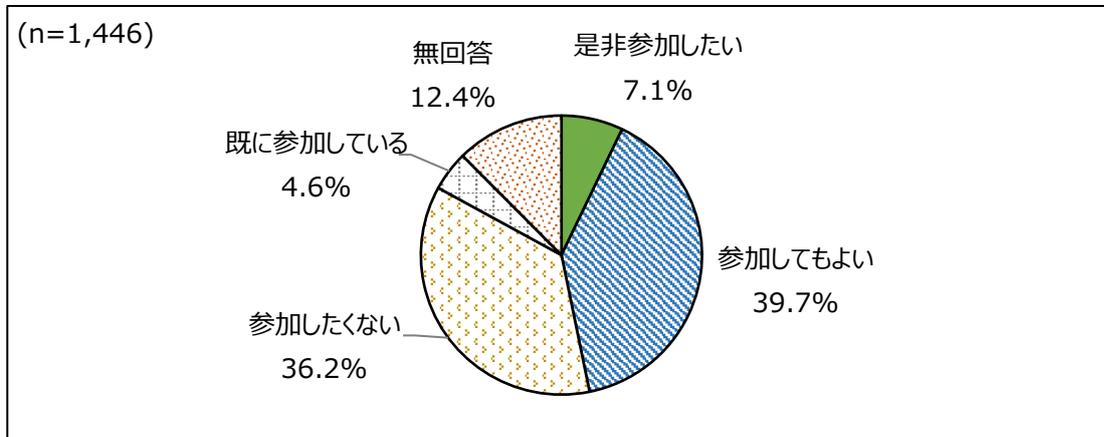


収入のある仕事については、全体の20.2%が活動に参加しており、参加頻度としては「週4回以上」が12.5%で最も多くなっている。

一方、48.9%は「参加していない」と回答している。

(2) 地域活動への参加者としての参加希望

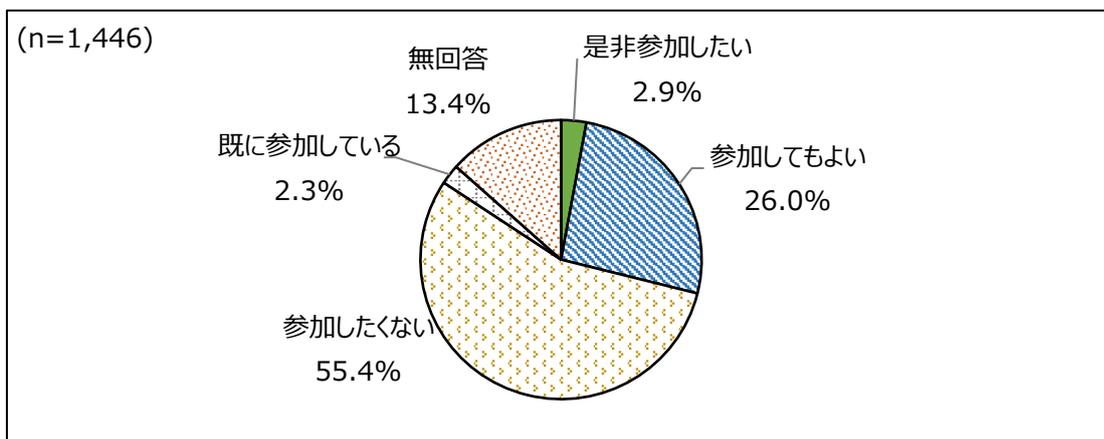
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかを尋ねたところ「参加してもよい」が39.7%で最も多く、以下、「参加したくない」が36.2%、「是非参加したい」が7.1%、「既に参加している」が4.6%となっている。

(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

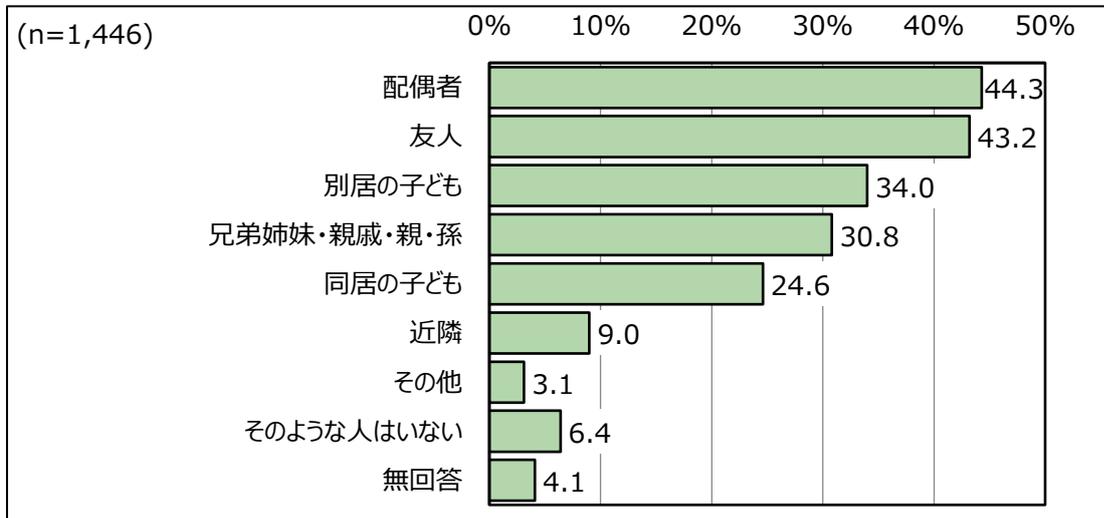


地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかを尋ねたところ、「参加したくない」が55.4%で最も多く、以下、「参加してもよい」が26.0%、「是非参加したい」が2.9%、「既に参加している」が2.3%となっている。

6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

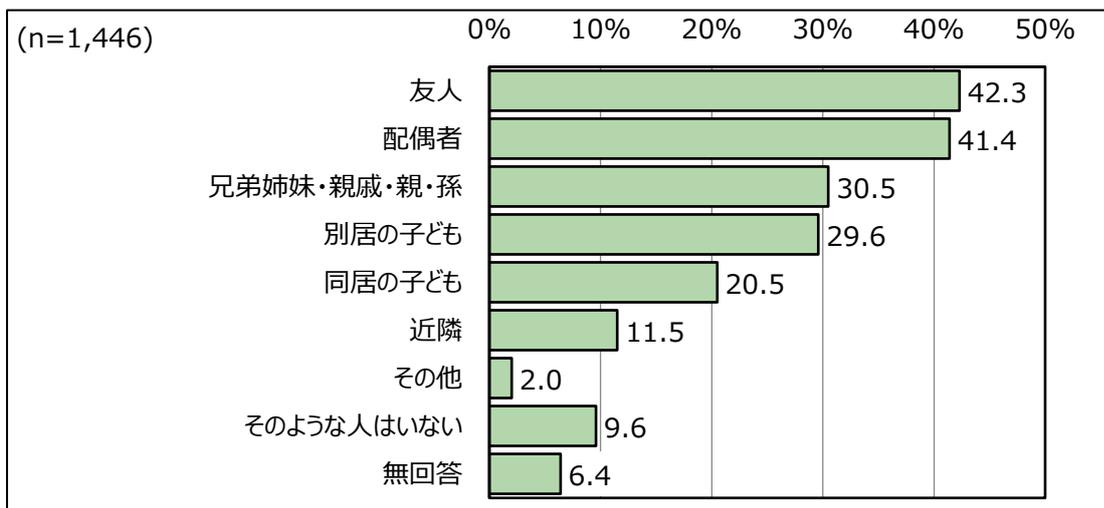
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



心配事や愚痴を聞いてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が 44.3%で最も多く、以下、「友人」が 43.2%、「別居の子ども」が 34.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.8%、「同居の子ども」が 24.6%などとなっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

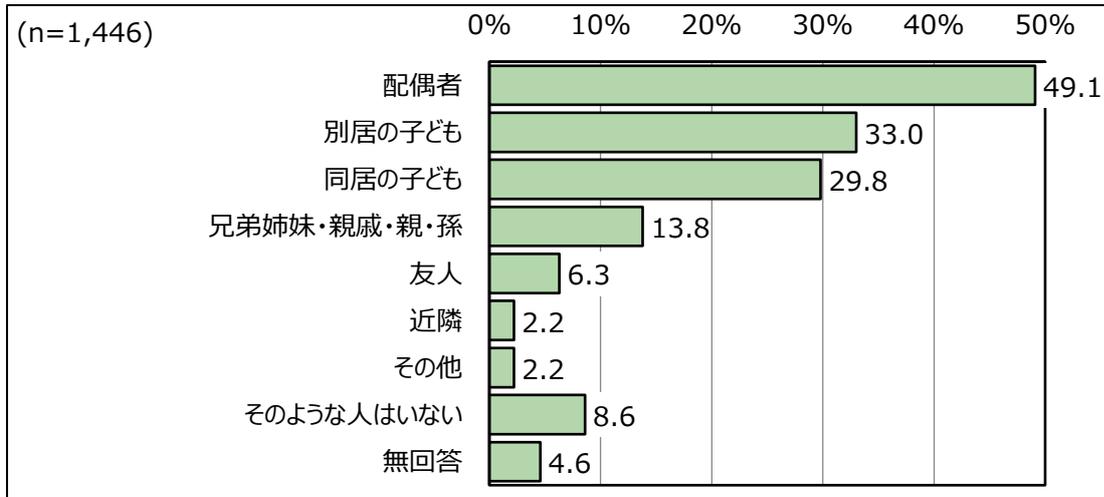
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を尋ねたところ、「友人」が 42.3%で最も多く、以下、「配偶者」が 41.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.5%、「別居の子ども」が 29.6%、「同居の子ども」が 20.5%などとなっている。

(3) 看病や世話をしてくれる人

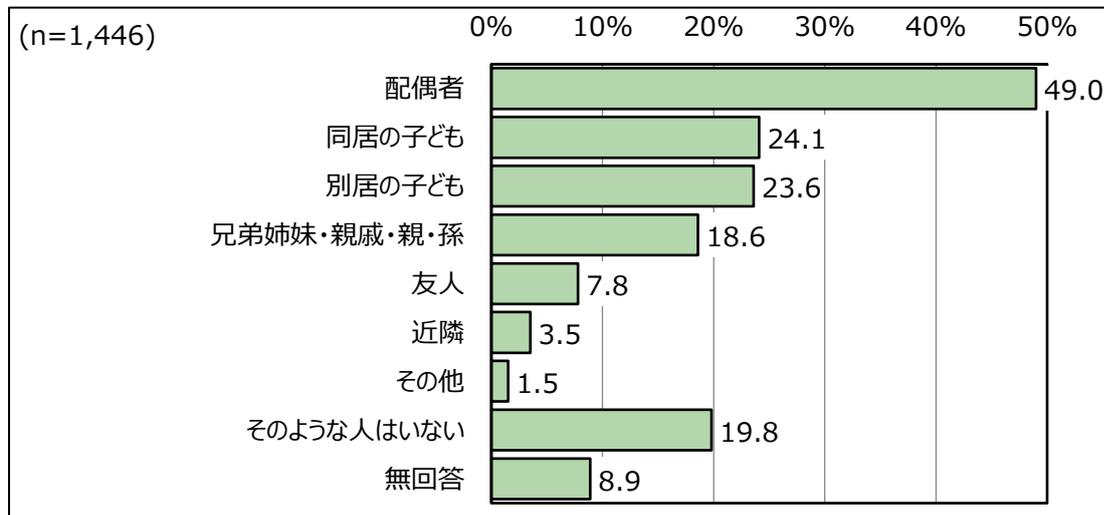
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.1%で最も多く、以下、「別居の子ども」が33.0%、「同居の子ども」が29.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が13.8%、「そのような人はいない」が8.6%などとなっている。

(4) 看病や世話をしてあげる人

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

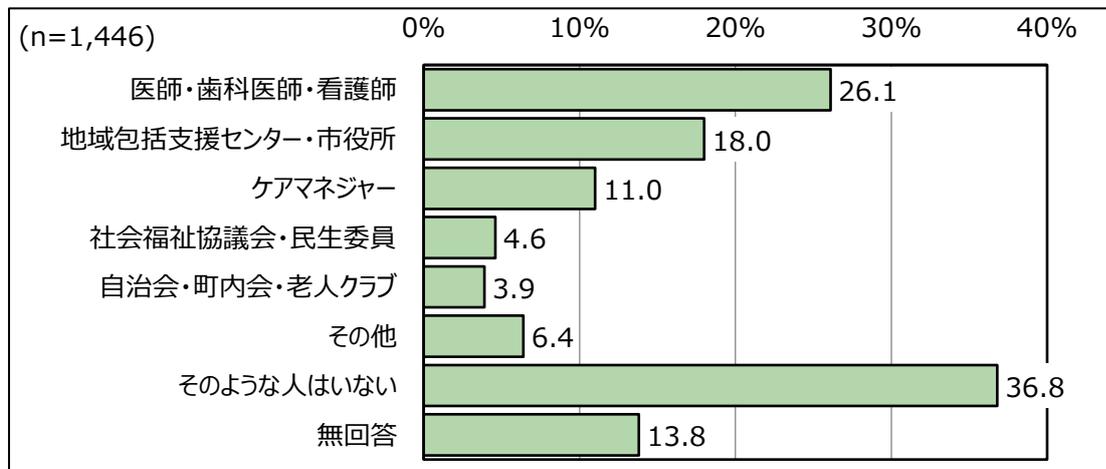


反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が49.0%で最も多く、以下、「同居の子ども」が24.1%、「別居の子ども」が23.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.6%、「そのような人はいない」が19.8%などとなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(5) 相談相手

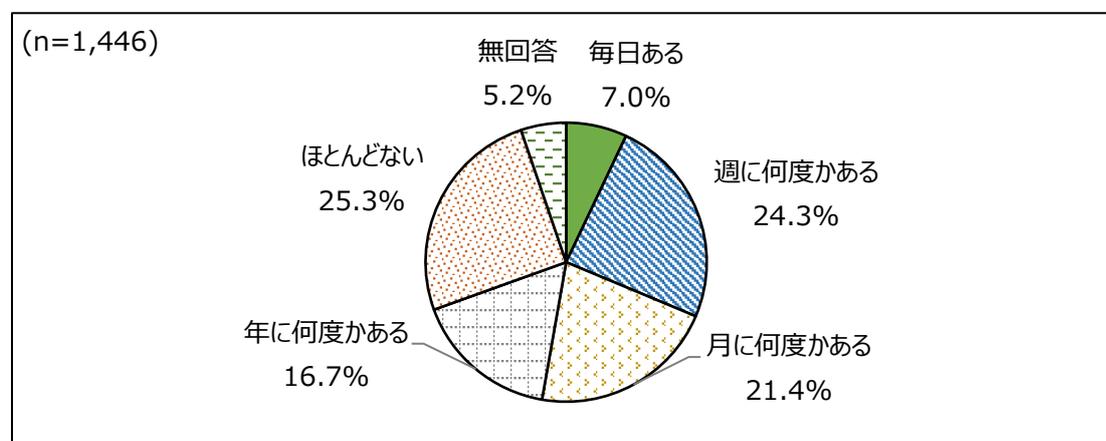
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)



家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「そのような人はいない」が36.8%で最も多く、以下、「医師・歯科医師・看護師」が26.1%、「地域包括支援センター・市役所」が18.0%、「ケアマネジャー」が11.0%などとなっている。

(6) 友人・知人と会う頻度

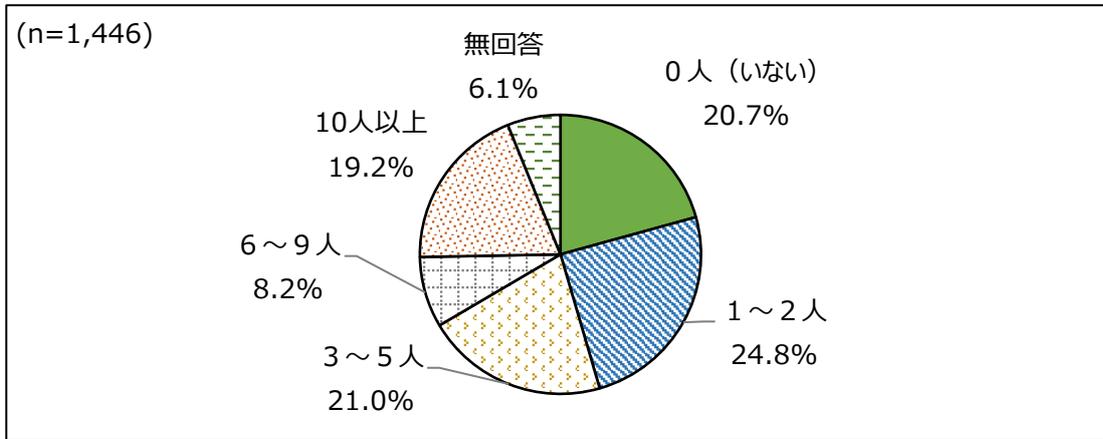
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



友人・知人と会う頻度については、「ほとんどない」が25.3%で最も多く、「週に何度かある」が24.3%、以下、「月に何度かある」が21.4%、「年に何度かある」が16.7%、「毎日ある」が7.0%などとなっている。

(7) 1か月間に会った友人・知人の数

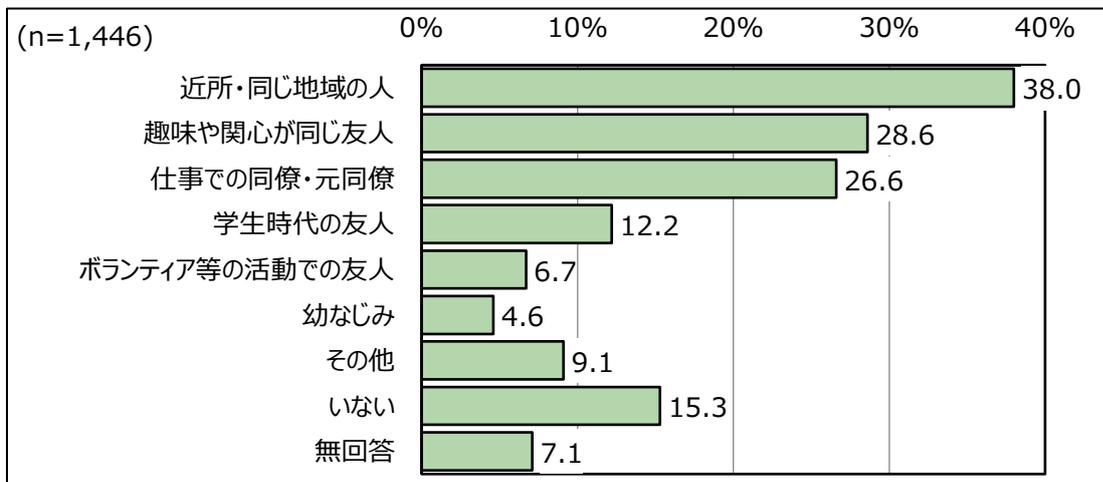
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。



この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「1～2人」が24.8%で最も多く、以下「3～5人」が21.0%、「0人 (いない)」が20.7%、「10人以上」が19.2%、「6～9人」が8.2%などとなっている。

(8) よく会う友人・知人との関係

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

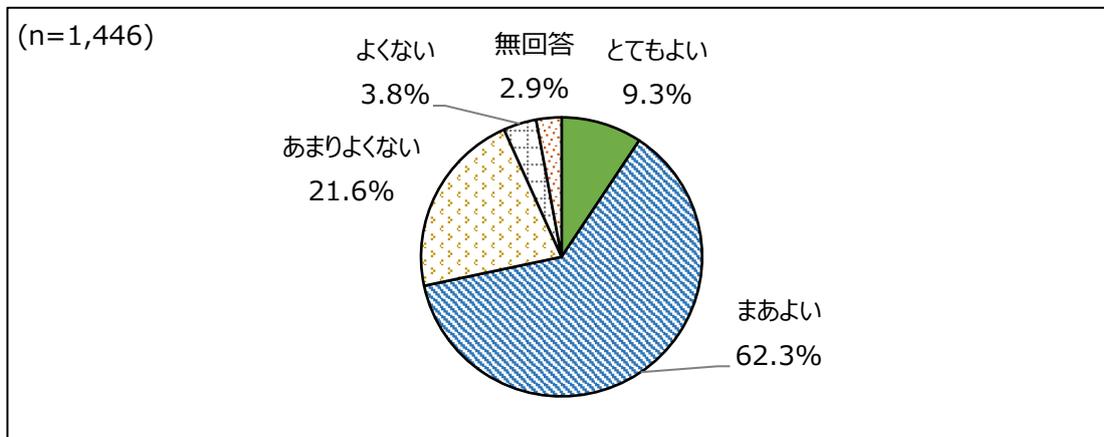


よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が38.0%で最も多く、以下、「趣味や関心が同じ友人」が28.6%、「仕事での同僚・元同僚」が26.6%、「いない」が15.3%、「学生時代の友人」が12.2%などとなっている。

7 健康について

(1) 主観的健康感

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

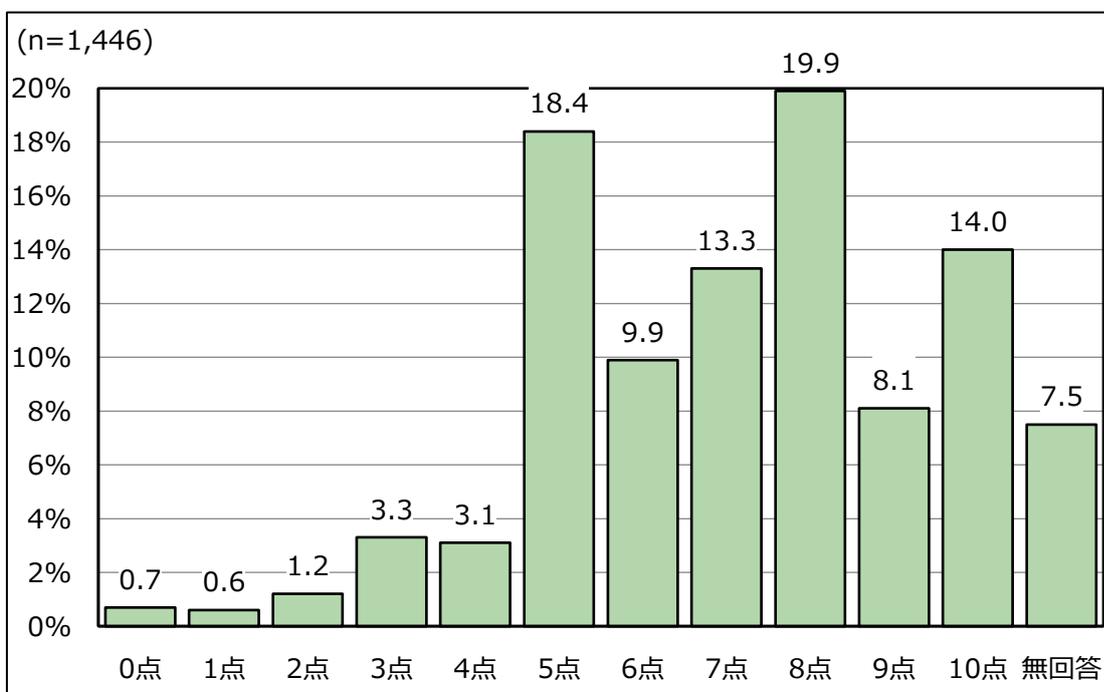


現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が62.3%で最も多く、以下、「あまりよくない」が21.6%、「とてもよい」が9.3%、「よくない」が3.8%となっている。

(2) 主観的幸福感

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

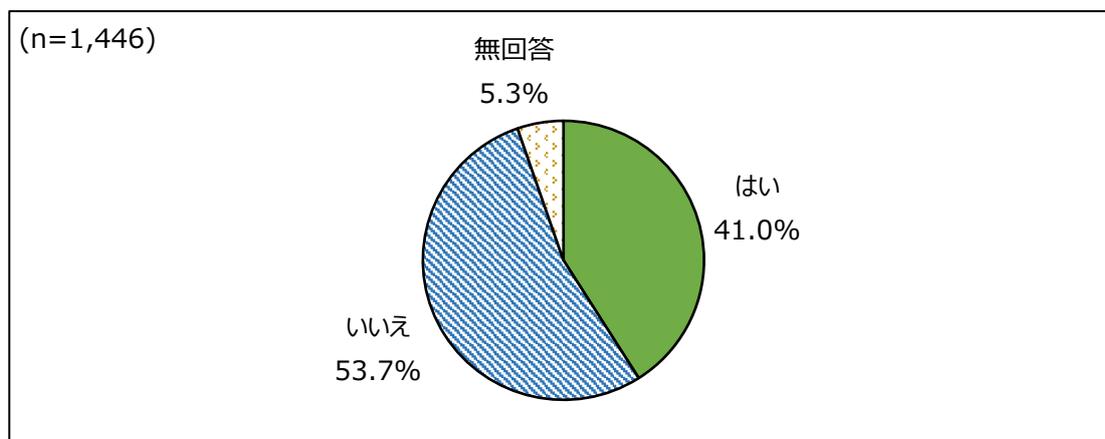
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「8点」が19.9%で最も多く、以下、「5点」が18.4%、「10点」が14.0%、「7点」が13.3%、「6点」が9.9%などとなっている。

(3) 最近1か月間の気分の状態

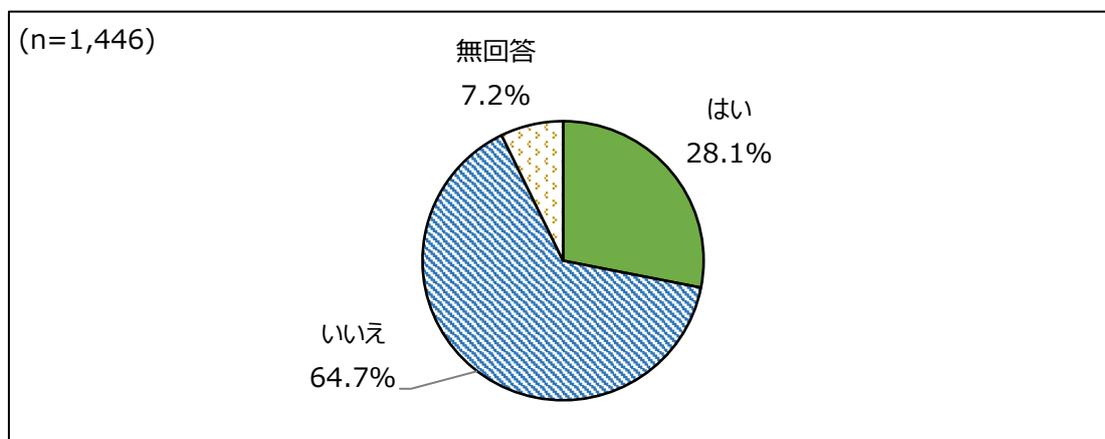
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は41.0%となっている。

(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

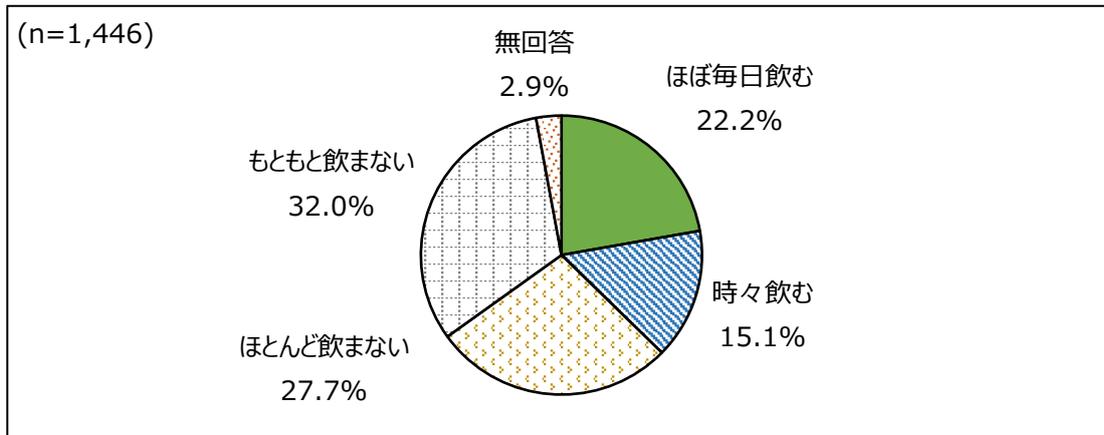


物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は28.1%となっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(5) 飲酒の状況

(5) お酒は飲みますか

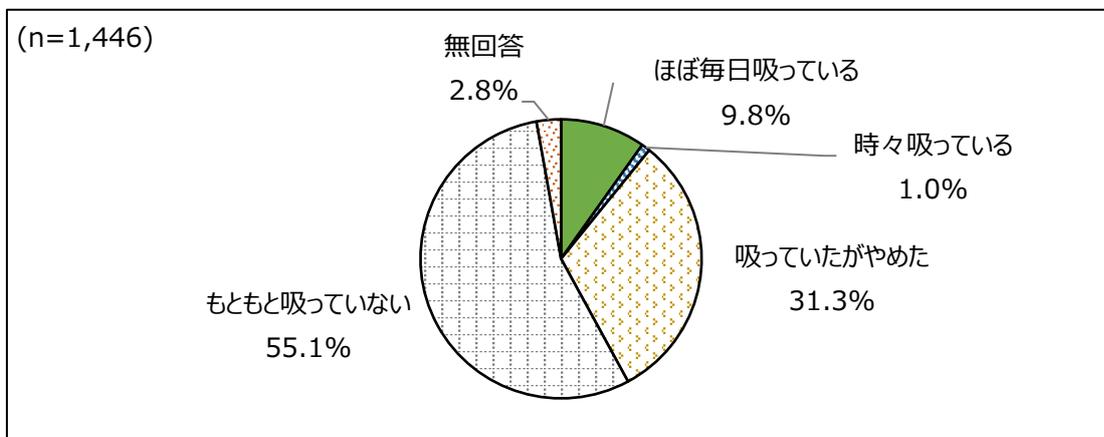


飲酒については、「もともと飲まない」が32.0%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が27.7%、「ほぼ毎日飲む」が22.2%、「時々飲む」が15.1%となっている。

したがって、『飲酒する人の割合』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）は37.3%であることが分かる。

(6) 喫煙の状況

(6) タバコは吸っていますか

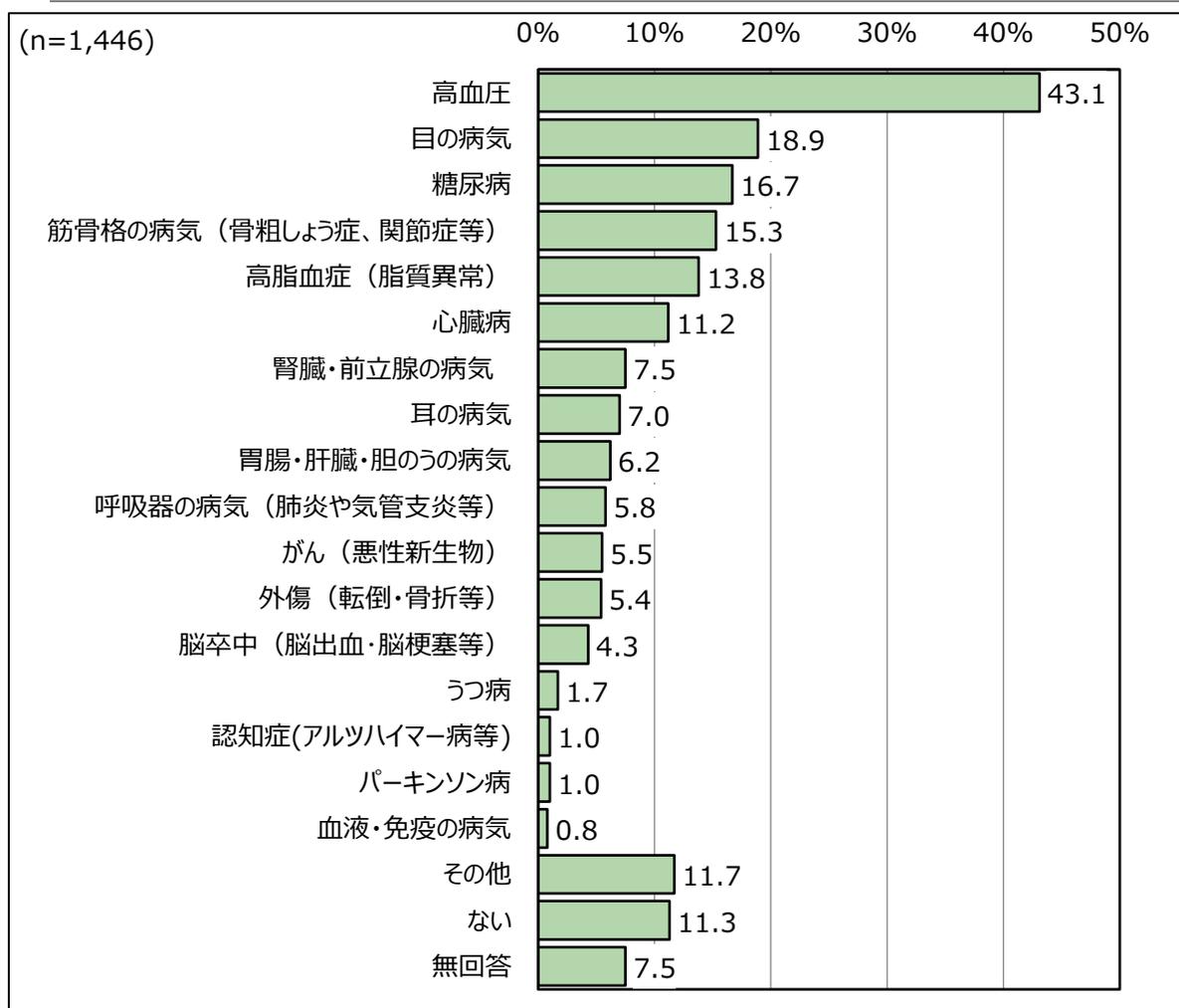


喫煙については、「もともと吸っていない」が55.1%で最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が31.3%、「ほぼ毎日吸っている」が9.8%、「時々吸っている」が1.0%、「無回答」が2.8%などとなっている。

したがって、『喫煙者の割合』（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は10.8%であることが分かる。

(7) 治療中の病気

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

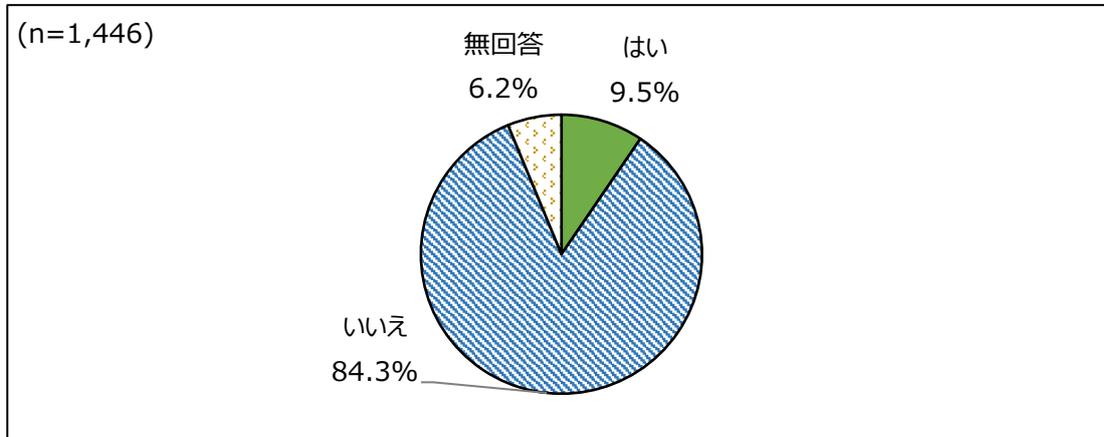


現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が43.1%で最も多く、以下、「目の病気」が18.9%、「糖尿病」が16.7%、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が15.3%、「高脂血症 (脂質異常)」が13.8%、「ない」が11.3%、「心臓病」が11.2%などとなっている。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

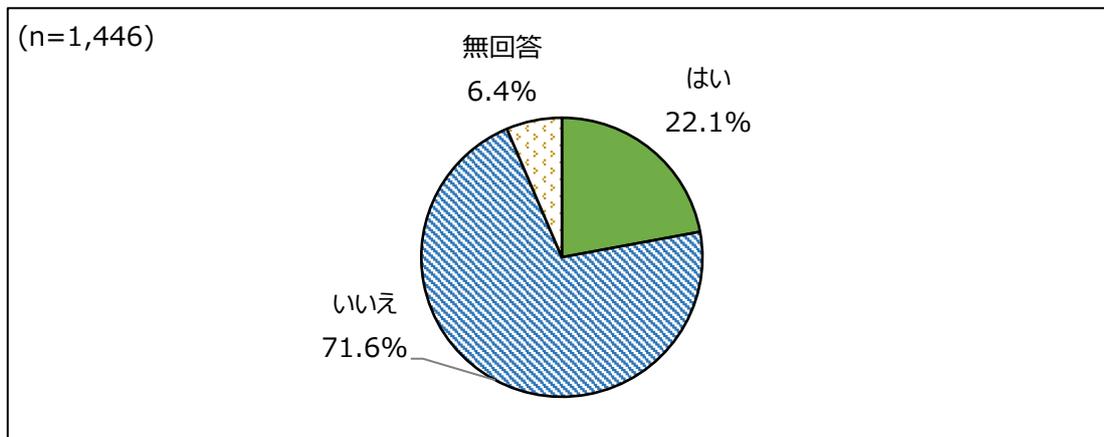
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかを尋ねたところ、「はい」が9.5%となっている。

(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

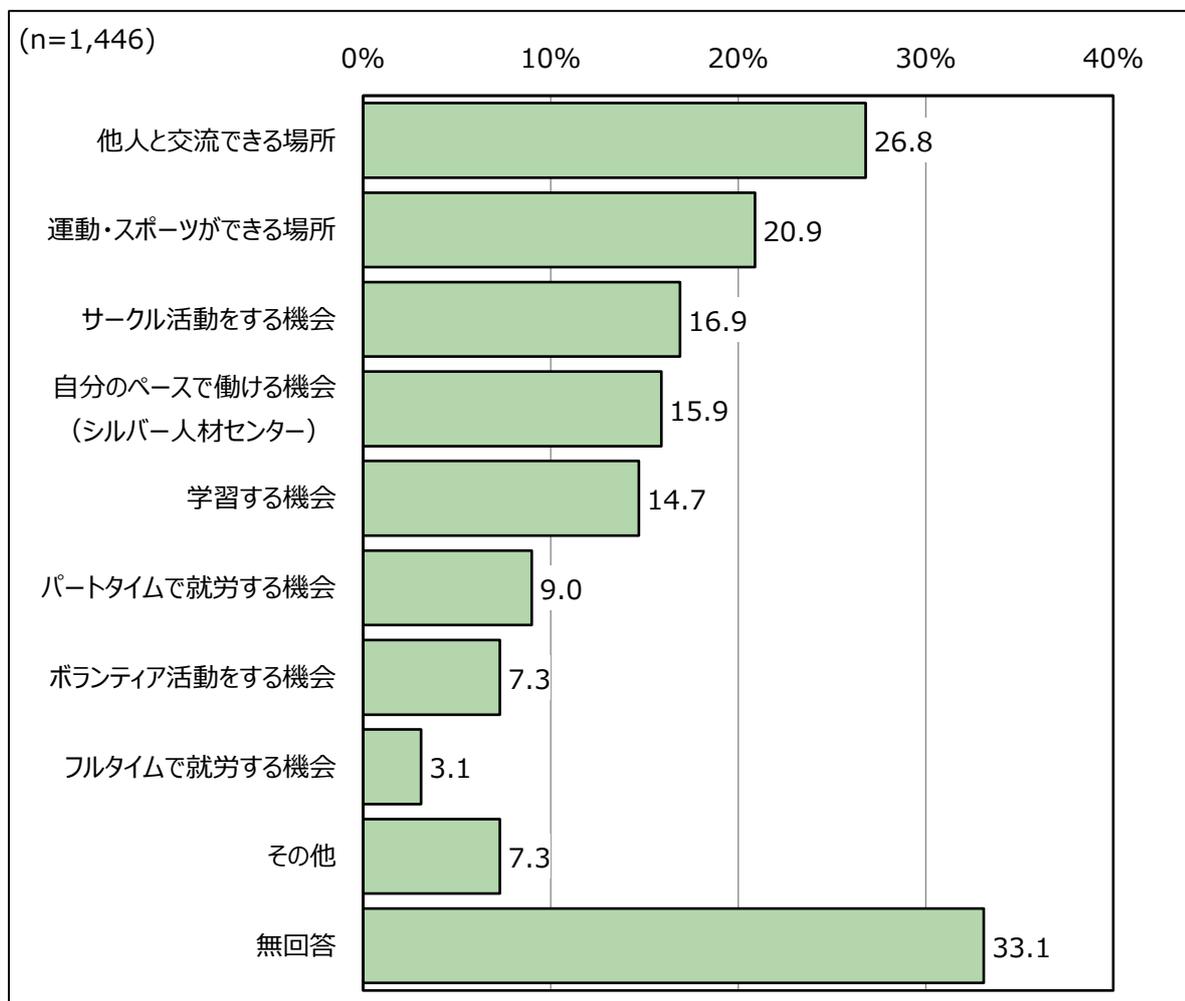


認知症に関する相談窓口の認知度を尋ねたところ、「はい」が22.1%、「いいえ」が71.6%で「いいえ」の方が多くなっている。

9 生きがいや楽しみを感じて生きるために増えて欲しいもの

(1) 生きがいや楽しみを感じて生きるために増えて欲しいもの

(1) 生きがいや楽しみを感じながら生きていくために、増えて欲しいと思うものはありますか (いくつでも)。

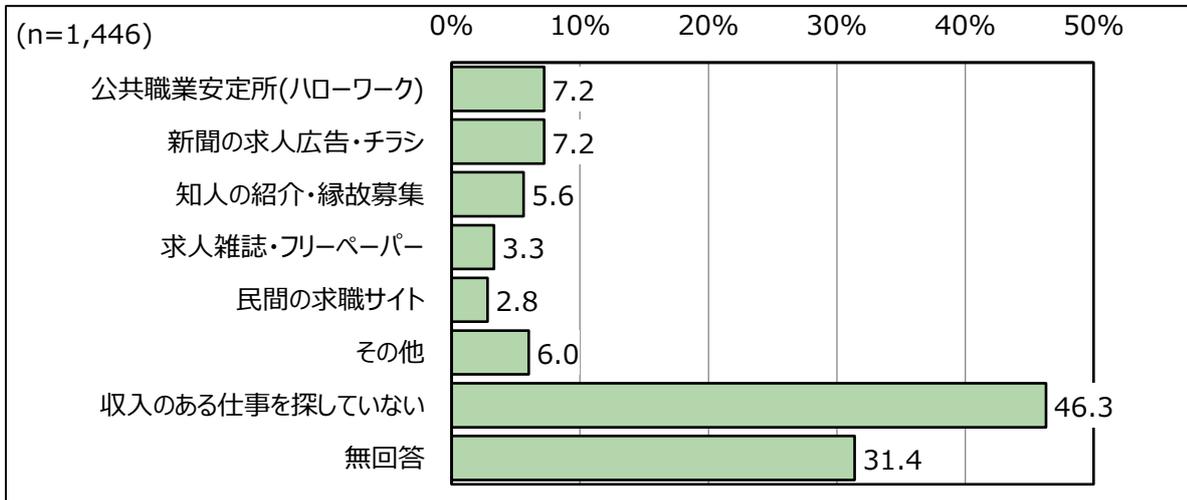


生きがいや楽しみを感じながら生きていくために、増えて欲しいと思うものは、「他人と交流できる場所」が 26.8%で最も多く、以下、「運動・スポーツができる場所」が 20.9%、「サークル活動をする機会」が 16.9%、「自分のペースで働ける機会」が 15.9%、「学習する機会」が 14.7%などとなっている。

10 就労について

(1) 収入のある仕事を探す方法

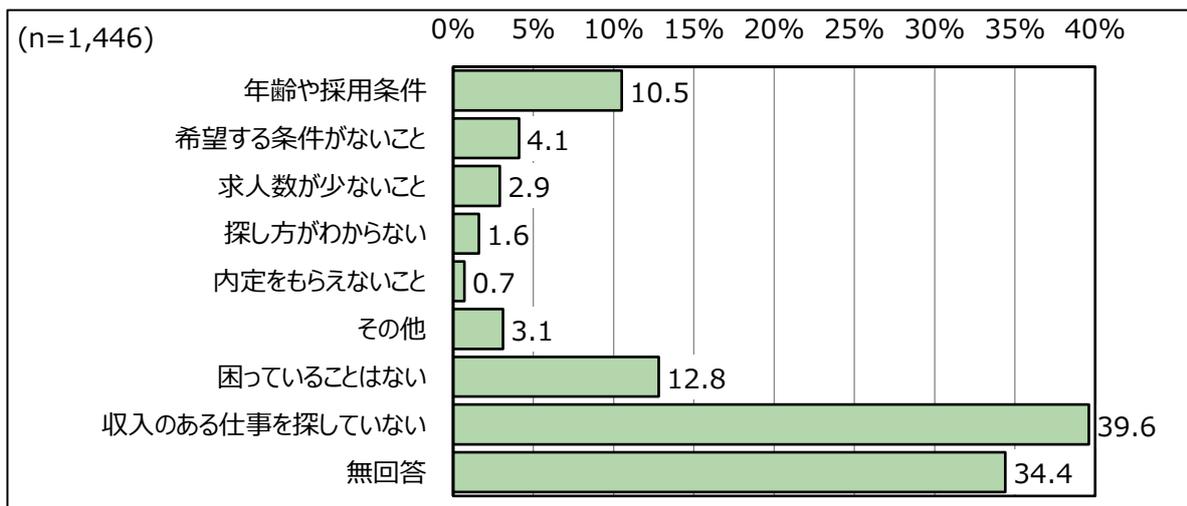
(1) 収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）を探すときは、どのように探していますか（いくつでも）。



収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）をどのように探すかは、「公共職業安定所（ハローワーク）」と「新聞の求人広告・チラシ」が7.2%、「知人の紹介・縁故募集」が5.6%などとなっている。また、「収入のある仕事を探していない」が46.3%となっている。

(2) 収入のある仕事を探す際に困っていること

(2) 収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）を探すときに困っていることはありますか（いくつでも）。

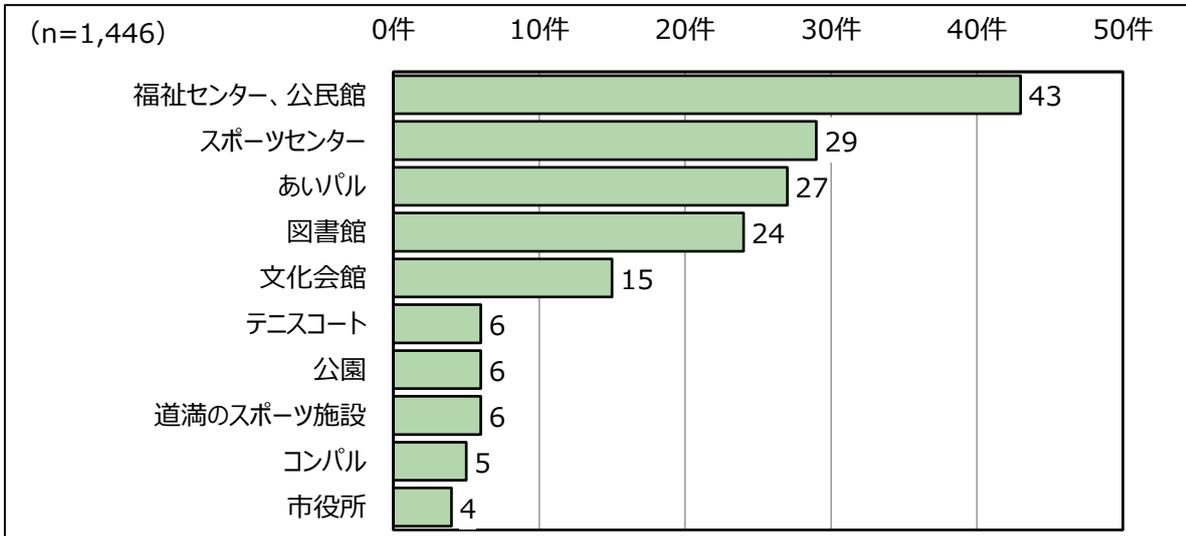


収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）を探すときに困っていることは、「年齢や採用条件」が10.5%、「希望する条件がないこと」が4.1%、「求人数が少ないこと」が2.9%、「探し方がわからない」が1.6%などとなっている。また、「困っていることはない」が12.8%、「収入のある仕事を探していない」が39.6%となっている。

11 文化・スポーツ活動について

(1) 公共施設の利用状況

(1) 最近利用した公共施設を教えてください（いくつでも）。



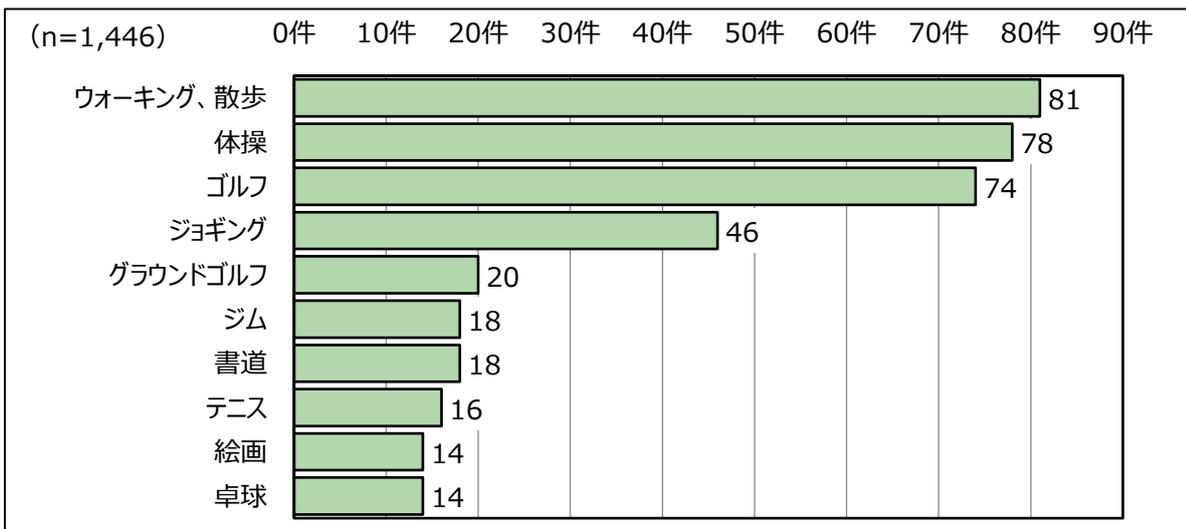
※上位 10 件を記載

最近利用した公共施設は、「福祉センター・公民館」が 43 件で最も多く、次いで「スポーツセンター」が 29 件、「あいパル」が 27 件、「図書館」が 24 件などとなっている。

また、上記の他にさくらパル、こどもの国といった回答があった。

(2) 文化・スポーツ活動の実施状況

(2) 今やっている文化・スポーツ活動を教えてください（いくつでも）。



※上位 10 件を記載

今やっている文化・スポーツ活動は、「ウォーキング・散歩」が 81 件で最も多く、次いで「体操」が 78 件、「ゴルフ」が 74 件、「ジョギング」が 46 件、「グラウンドゴルフ」が 20 件などとなっている。

また、上記の他にヨガ、カラオケ、筋トレ、水泳といった回答があった。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(3) 希望する文化・スポーツ活動

(3) 今後やってみたい文化・スポーツ活動はありますか（いくつでも）。



※上位 10 件を記載

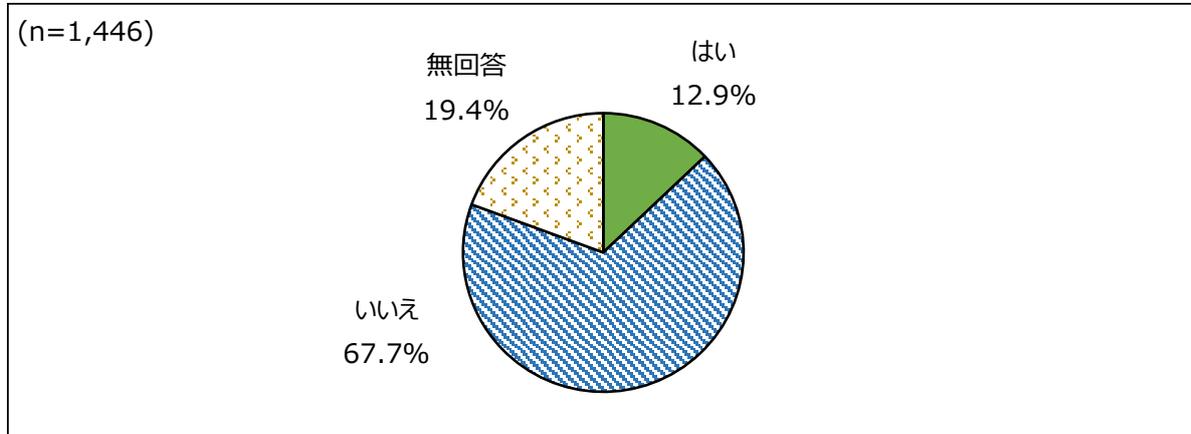
今後やってみたい文化・スポーツ活動は、「書道」が 19 件で最も多く、次いで「水泳」が 17 件、「ゴルフ」が 16 件、「体操」が 13 件、「卓球」が 12 件などとなっている。

また、上記の他にピアノ、ダンス、料理、ウクレレ、ジョギングといった回答があった。

12 学習について

(1) PC等の活用講座の受講経験

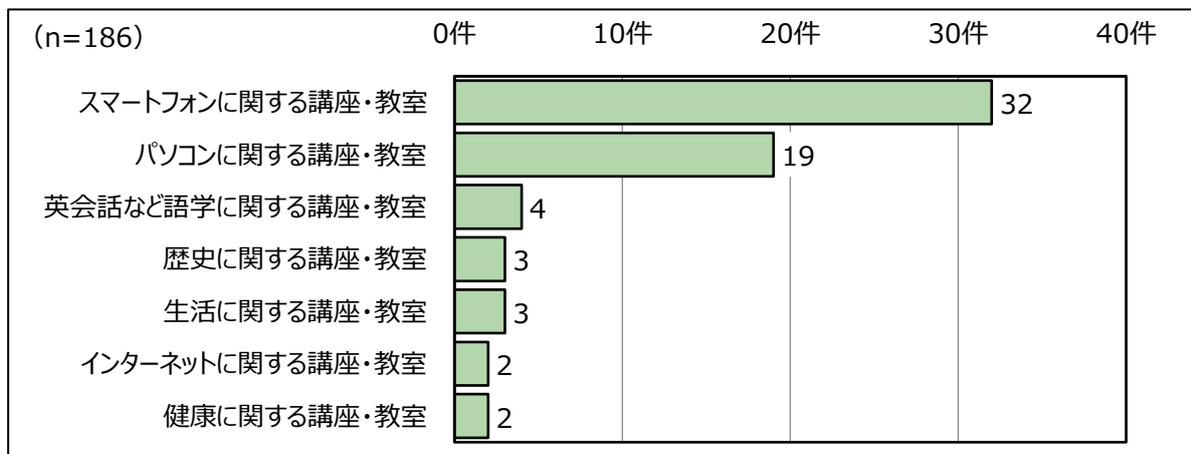
(1) パソコンやスマートフォンを活用した講座を受講したことがありますか。



パソコンやスマートフォンを活用した講座の受講経験は、「はい」が12.9%、「いいえ」が67.7%となっている。

【(1)で「1. はい」(受講したことがある)の方のみ】

今後、どのような講座を受けたいですか。

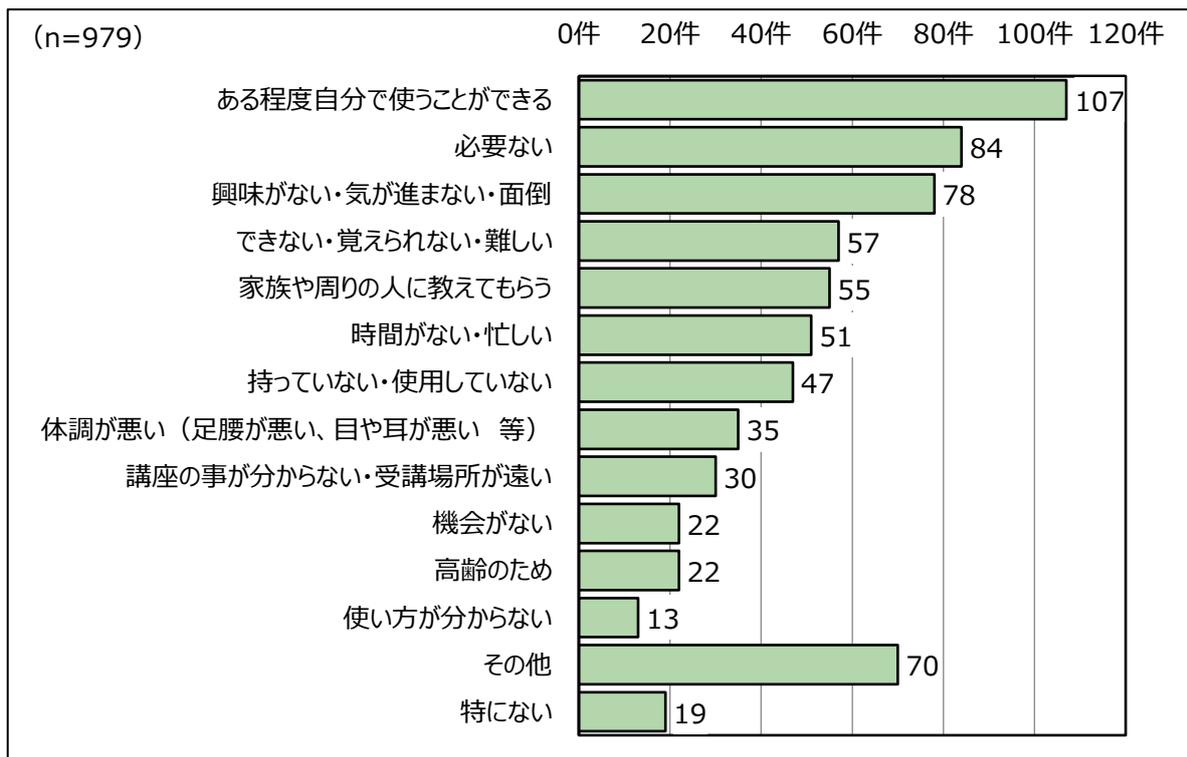


※上位7件を記載

今後受けたい講座は、「スマートフォンに関する講座・教室」が32件で最も多く、次いで「パソコンに関する講座・教室」が19件、「英会話など語学に関する講座・教室」が4件、「歴史に関する講座・教室」と「生活に関する講座・教室」がともに3件などとなっている。また、上記の他に絵画、ダンス、料理、ウクレレ、ジョギングといった回答があった。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

【(1)で「2. いいえ」(受講したことがない)の方のみ]
受講しない(できない)理由を教えてください。



受講しない(できない)理由は、「ある程度自分で使うことができる」が107件で最も多く、次いで「必要ない」が84件、「興味がない・気が進まない・面倒」が78件、「できない・覚えられない・難しい」が57件、「家族や周りの人に教えてもらう」が55件などとなっている。

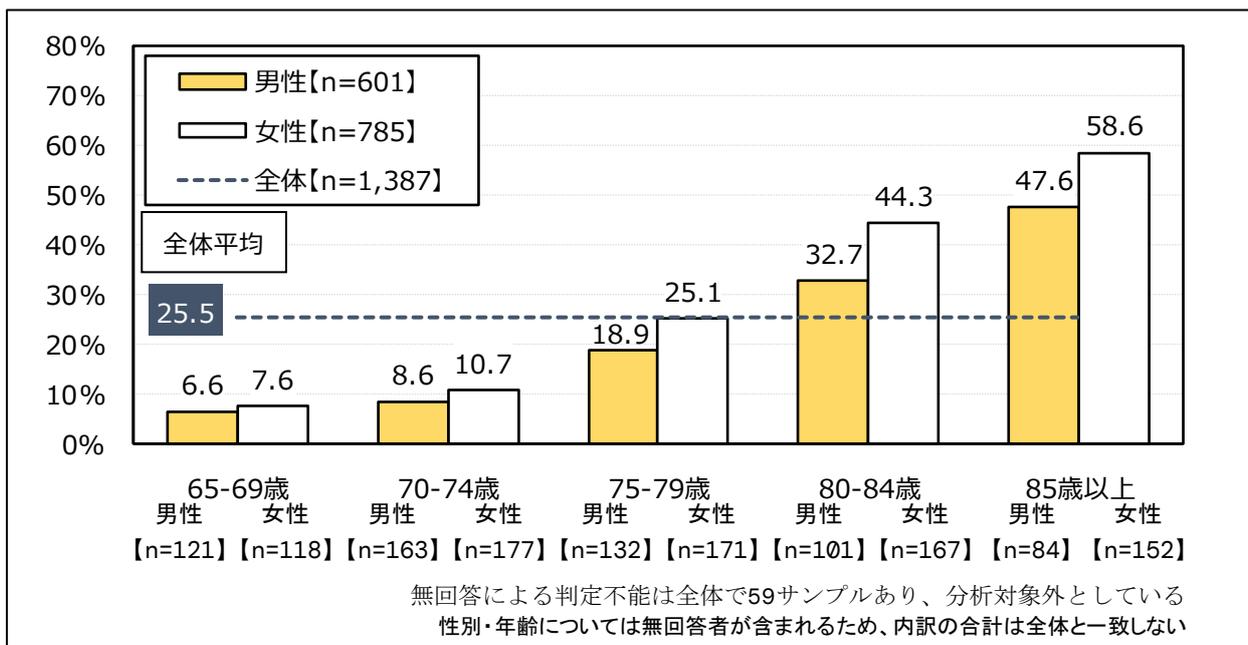
13 リスク分析

(1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	15 頁
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	15 頁
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	16 頁
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	16 頁
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	17 頁



運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では47.6%、女性では58.6%が有リスクとなっている。

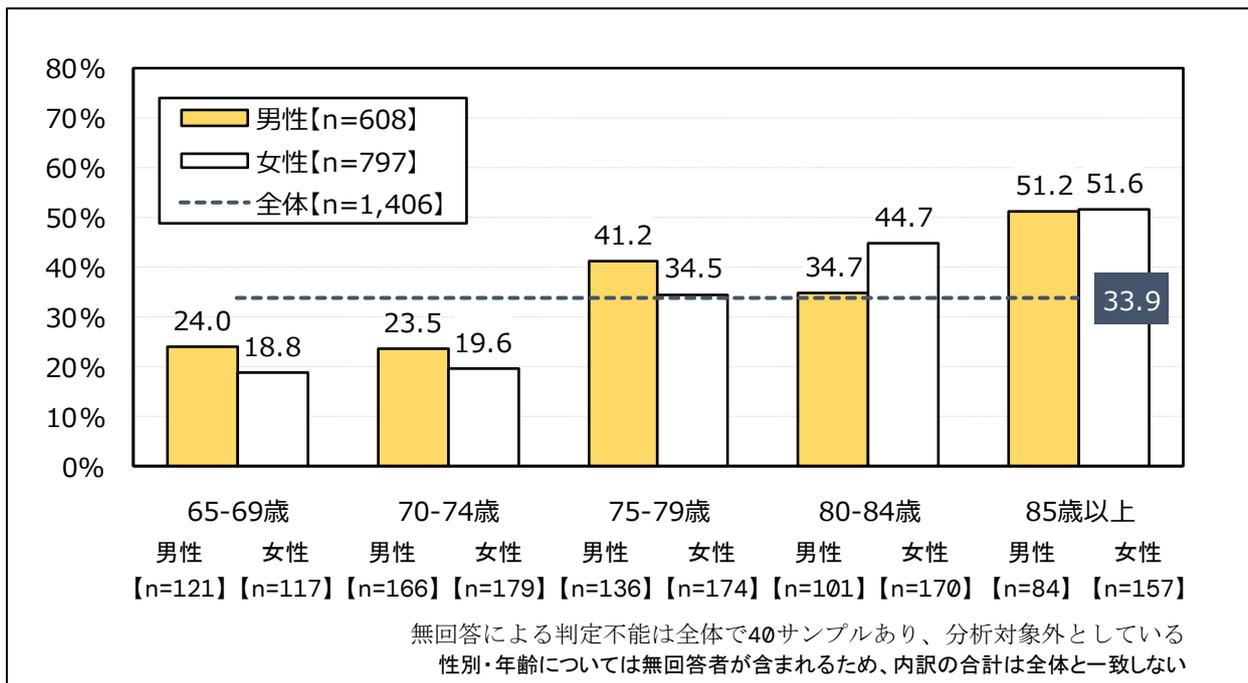
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	16 頁



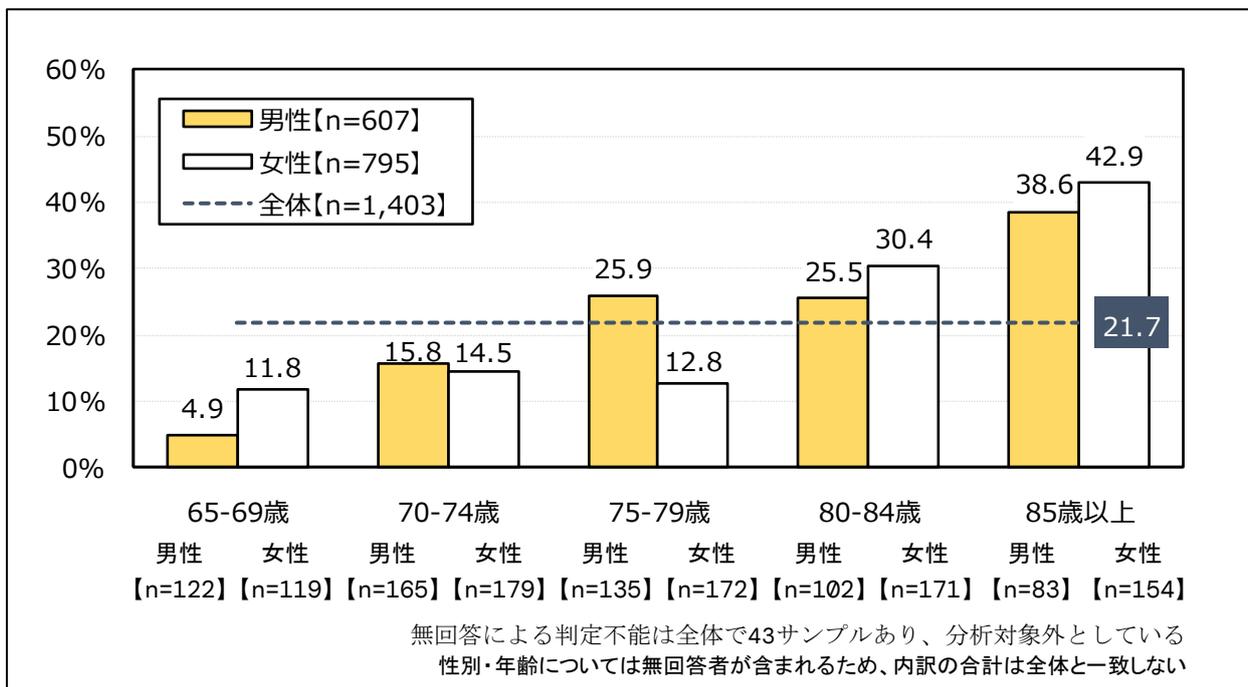
転倒リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「85歳以上」で最も数値が高くなっており、男性では51.2%、女性では51.6%が有リスクとなっている。

(3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	17頁



閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「85歳以上」で最も数値が高くなっており、男性では38.6%、女性では42.9%が有リスクとなっている。

男性では75歳以上の各階級で全体平均を上回っているが、女性では80歳以上で全体平均を上回っている。

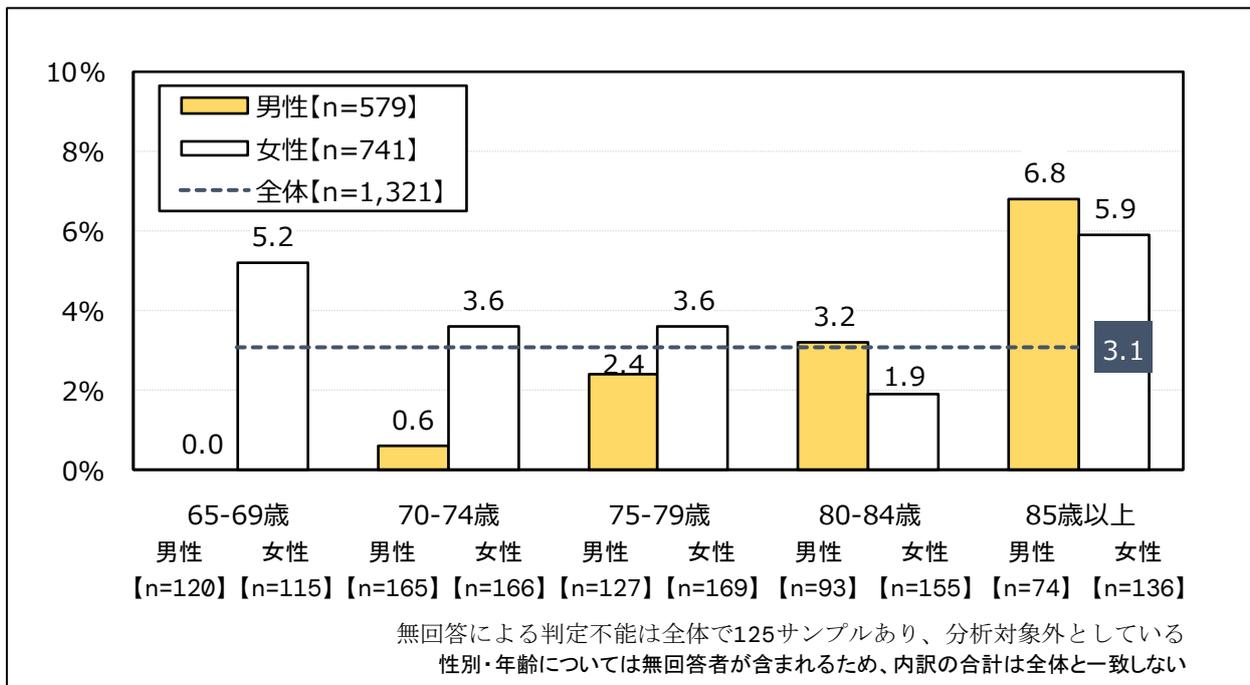
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
身長・体重	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる	20 頁
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	24 頁



低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が3.1%と他のリスクに比べて高い数値ではないが、男性では年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては6.8%となっている。

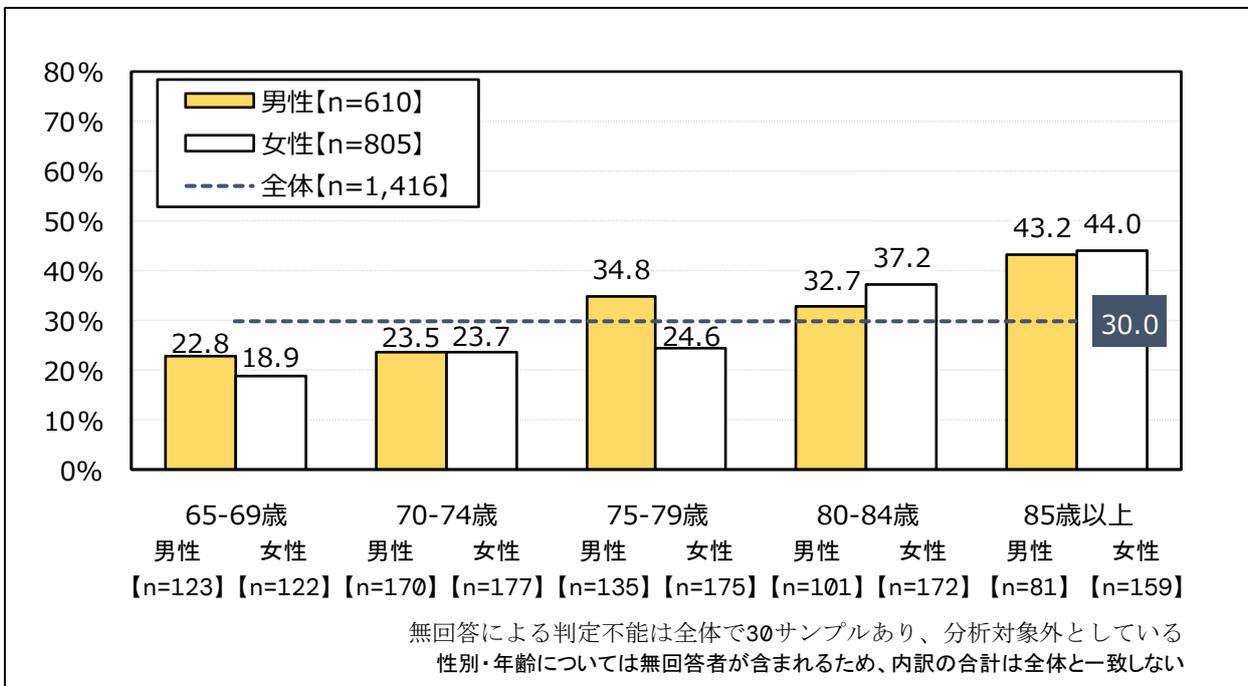
また、女性では「85歳以上」の数値が5.9%と最も高くなっており、「65-69歳」の数値が5.2%と2番目に高くなっている。

(5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	21 頁
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	21 頁
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	22 頁



口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに「85歳以上」で最も数値が高くなっており、男性では43.2%、女性では44.0%が有リスクとなっている。

男性では75歳以上の各階級で全体平均を上回っているが、女性では80歳以上で全体平均を上回っている。

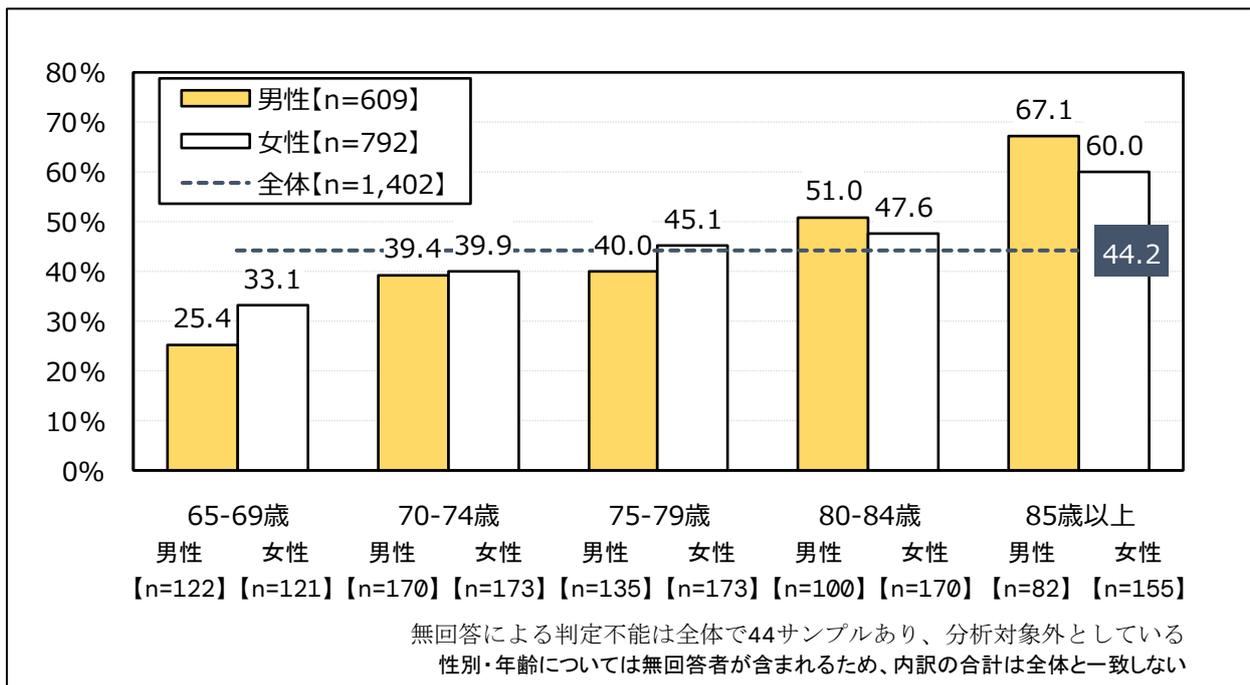
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されま
す。

設問内容	選択肢	参照
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	26 頁



認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では67.1%、女性では60.0%が有リスクとなっている。

女性では75歳以上の各階級で全体平均を上回っているが、男性では80歳以上で全体平均を上回っている。

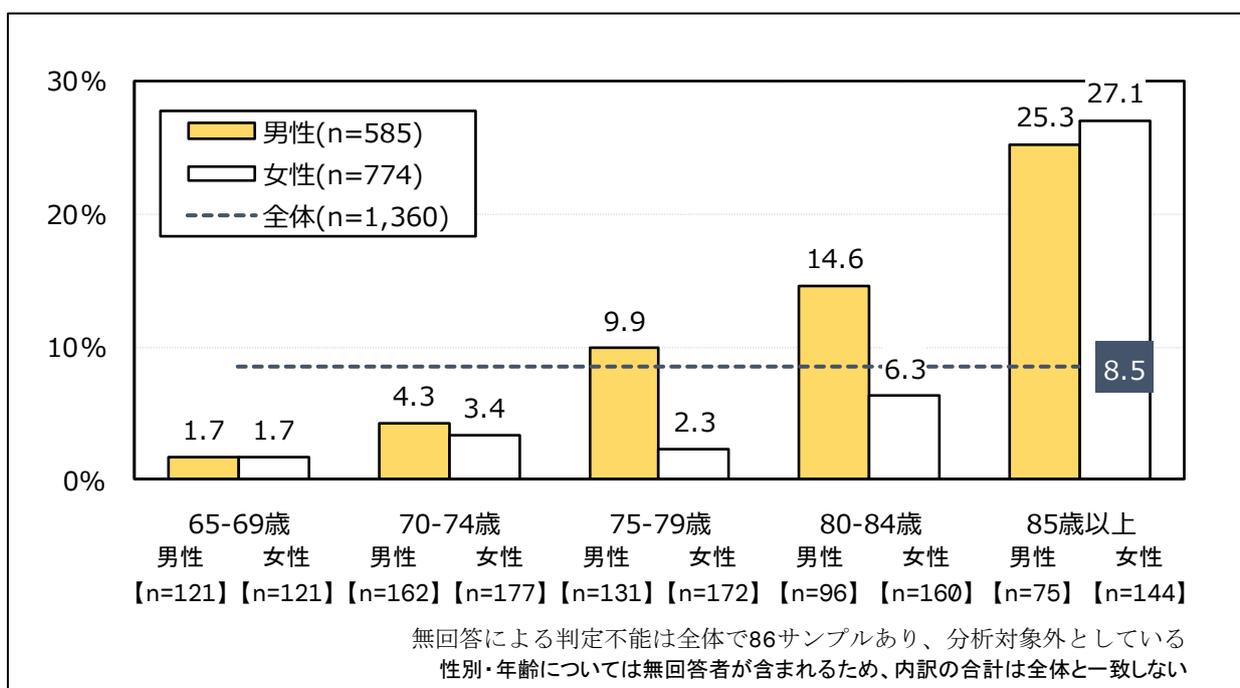
(7) IADL（手段的自立度）の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢	参照
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	27 頁
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	28 頁
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	28 頁
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	29 頁
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点	29 頁



IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、特に男性で後期高齢者が比較的多く該当する傾向がみられる。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、男性では25.3%、女性では27.1%が低下者となっている。

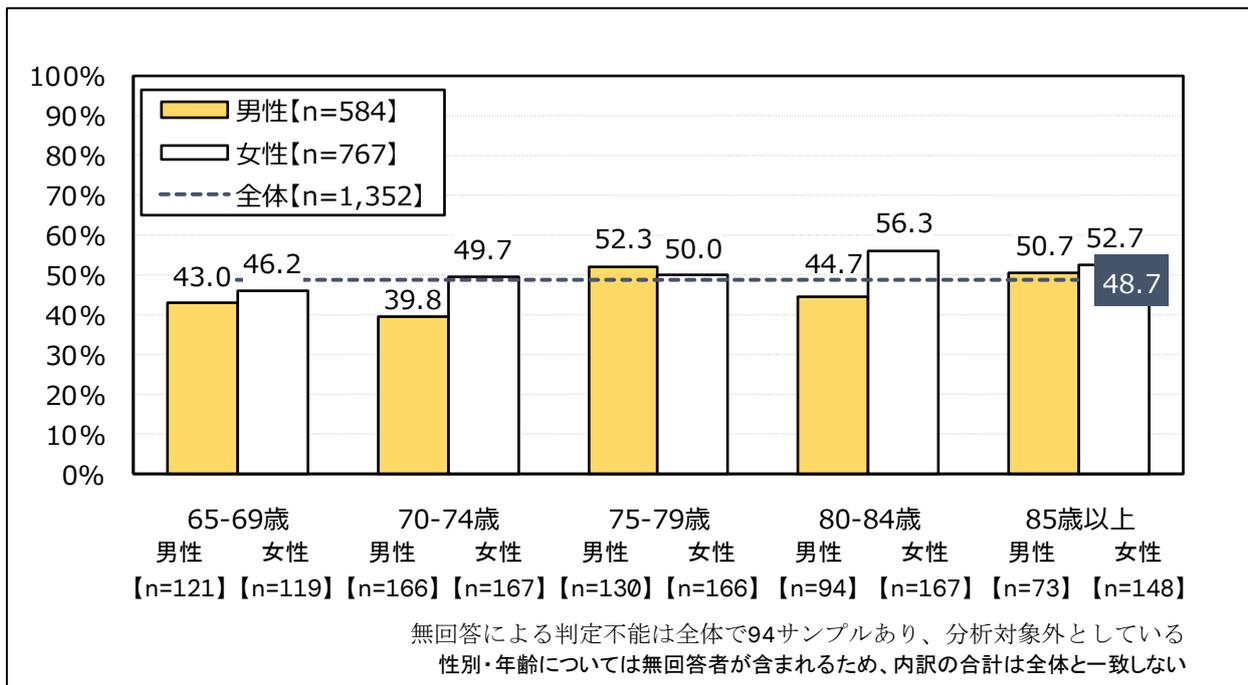
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢	参照
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ	45 頁
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ	45 頁



うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性は「75-79歳」、「85歳以上」で全体平均を上回ったが、「65-69歳」、「70-74歳」、「80-84歳」では下回っている。

女性では、「80-84歳」が56.3%と最も高く、次いで「85歳以上」の52.7%、「75-79歳」の50.0%となるなど、数値の差がそれほど大きくないことが見て取れる。

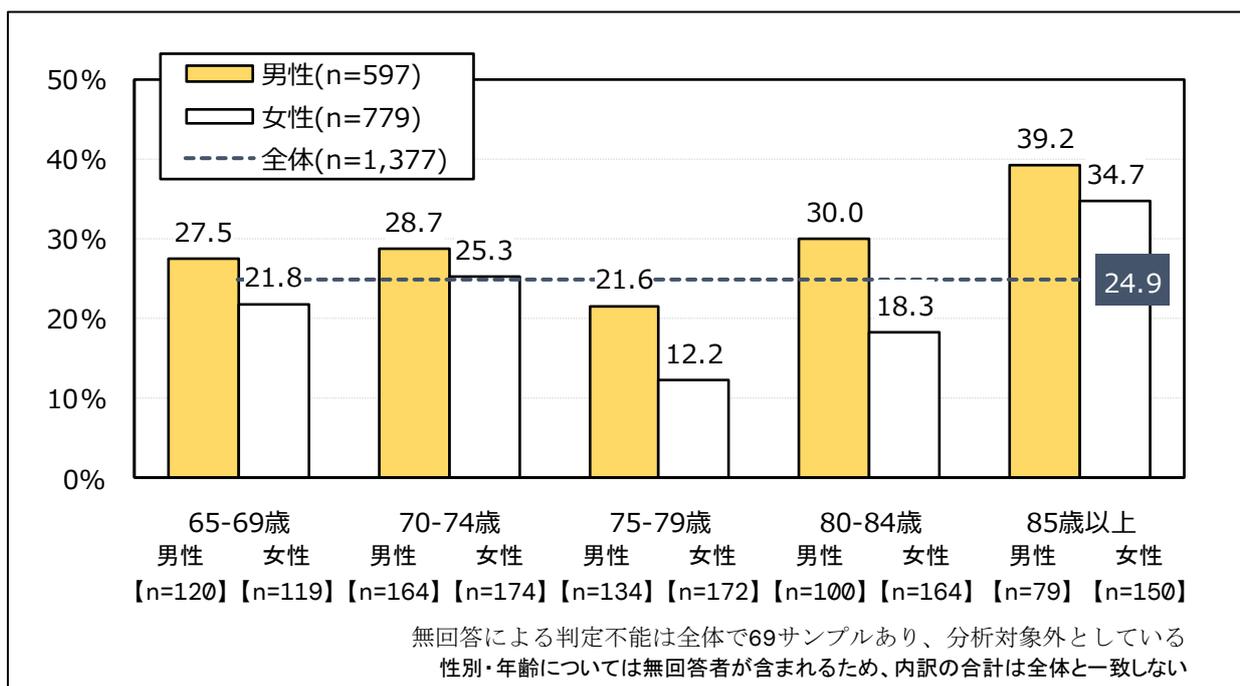
(9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

知的能動性は、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

設問内容	選択肢	参照	
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	30 頁
新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	30 頁
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	31 頁
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	31 頁



知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、「85歳以上」の男性が多く該当する傾向がみられ、「85歳以上」において4割程度が有リスクとなっている。

また、女性については「85歳以上」が34.7%で最も高くなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

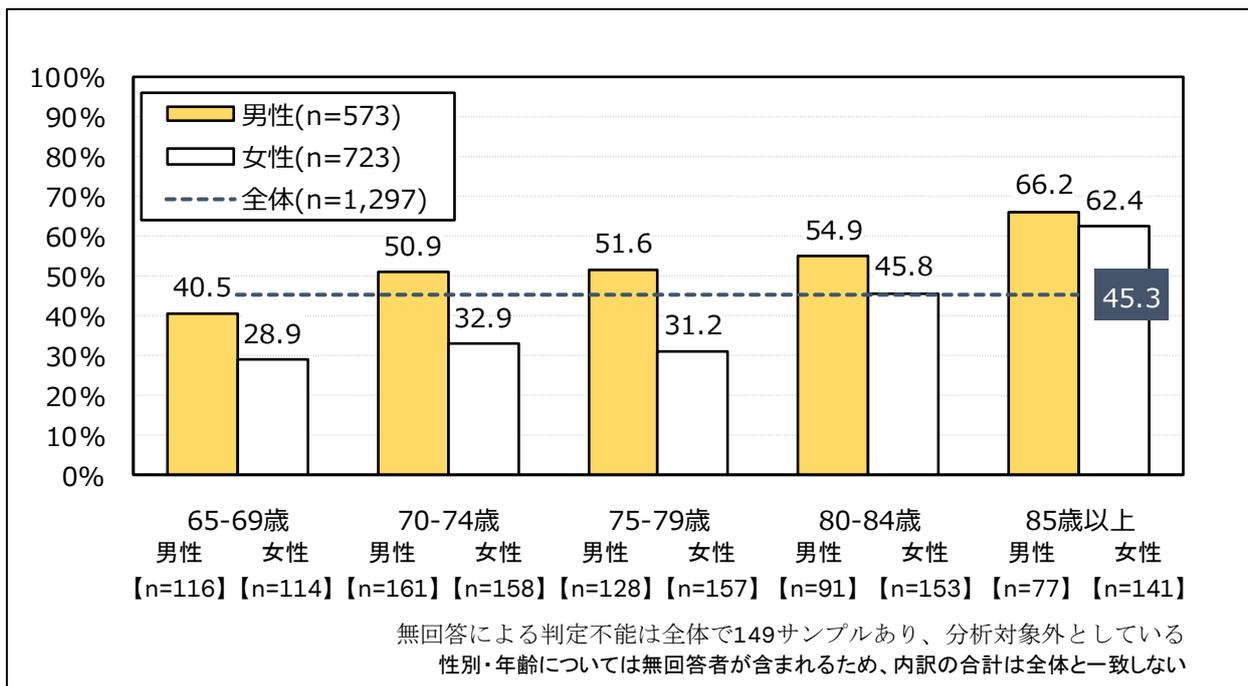
(10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

社会的役割は、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

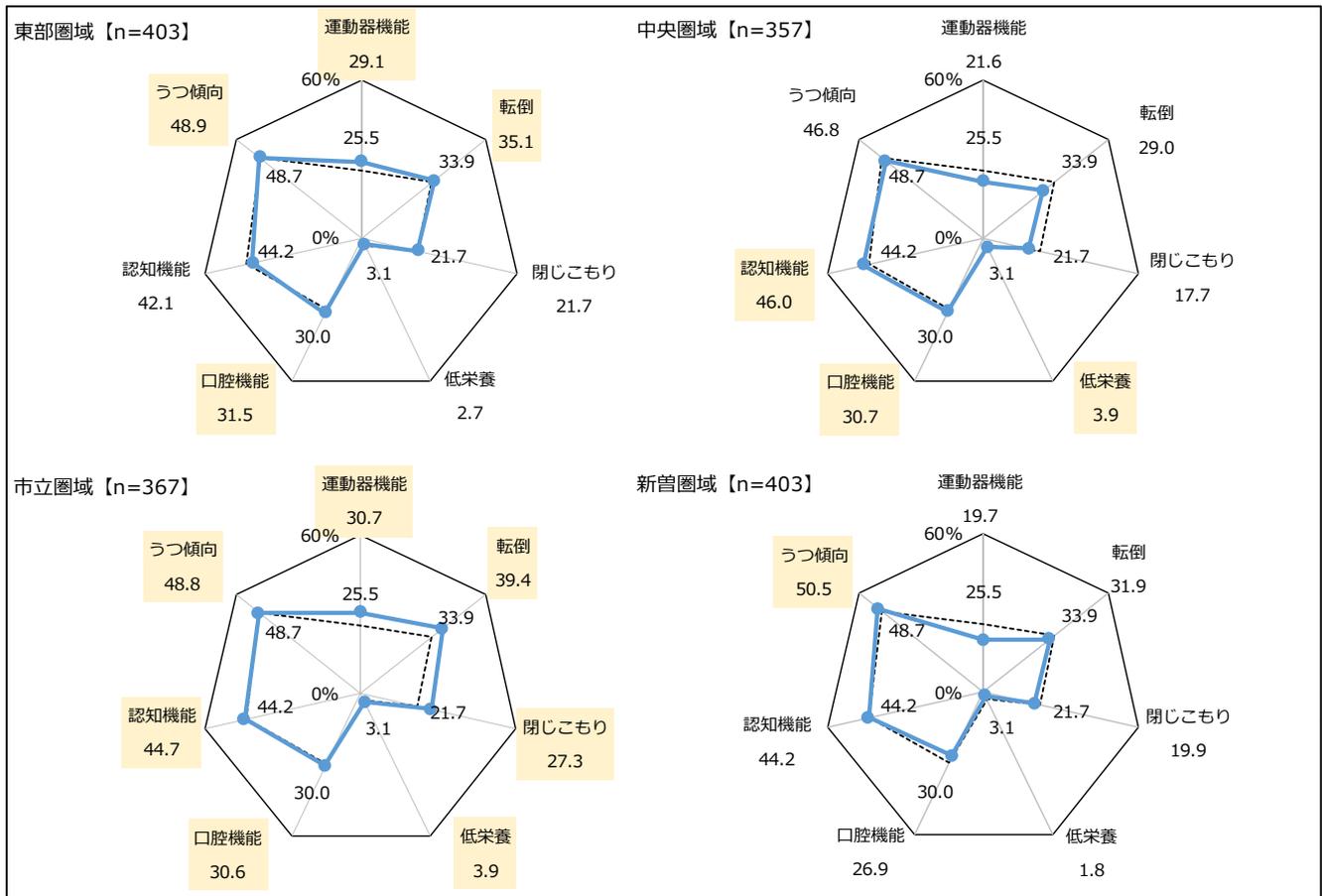
設問内容	選択肢	参照	
友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	32 頁
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	32 頁
病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	33 頁
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点	33 頁



社会的役割の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性・女性ともに6割以上が有リスクとなっている。

また、男性では前期高齢者の該当割合も女性に比べて高いことに加え、「75-79歳」で男女の有リスク割合に最も差が出ていることが特徴的である。

(11) 圏域別リスク該当者割合



※点線：全体平均
実線：圏域の割合

圏域別のリスク該当者割合をみると、圏域による大きな差は見られない。

東部圏域では「運動器機能」、「転倒」、「口腔機能」、「うつ傾向」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

中央圏域では「低栄養」、「口腔機能」、「認知機能」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

市立圏域ではすべての項目で、リスク該当者割合が全体より高くなっている。

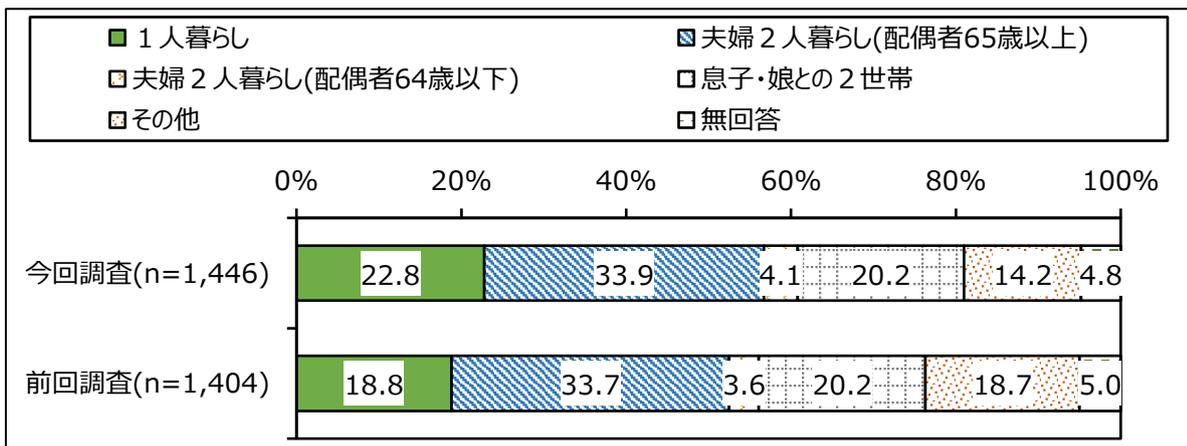
新曽圏域では「うつ傾向」のリスク該当者割合が全体より高くなっている。

14 経年比較

今回調査結果のうち、主要項目について、前回調査結果（令和元年度調査）との経年比較を行いました。

（1）家族構成

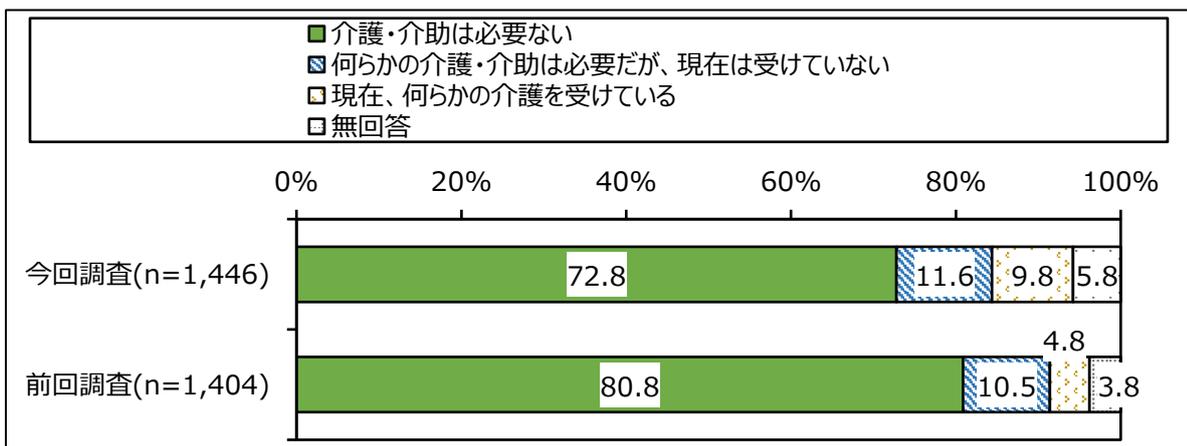
問 家族構成をお教えてください



家族構成について、前回調査に比べて今回調査では「1人暮らし」が4ポイント増加しており、独居高齢者が増えていることがうかがえる。

（2）介護・介助の必要性

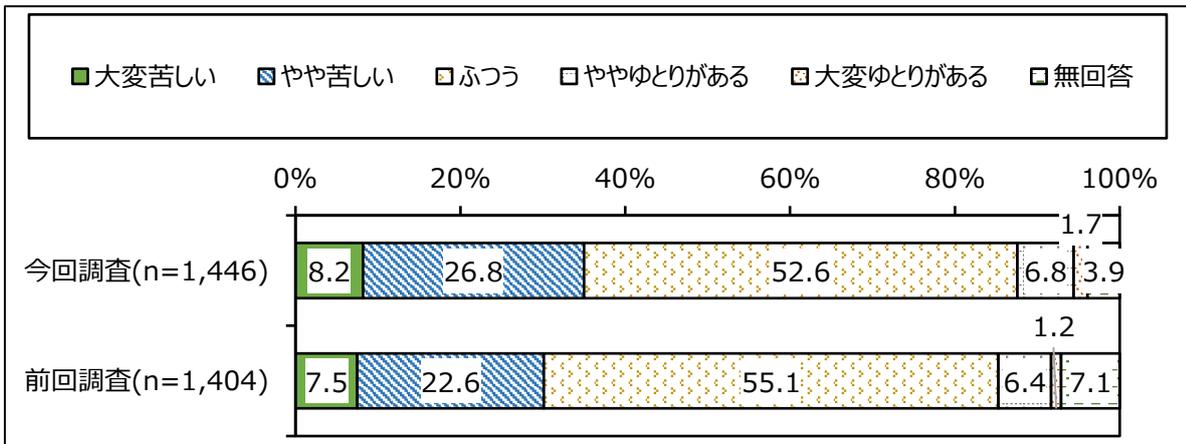
問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



介護・介助の必要性について、前回調査に比べて今回調査では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」がともに増加しており、介護が必要な高齢者が増加していることがうかがえる。

(3) 現在の暮らしの経済的状況

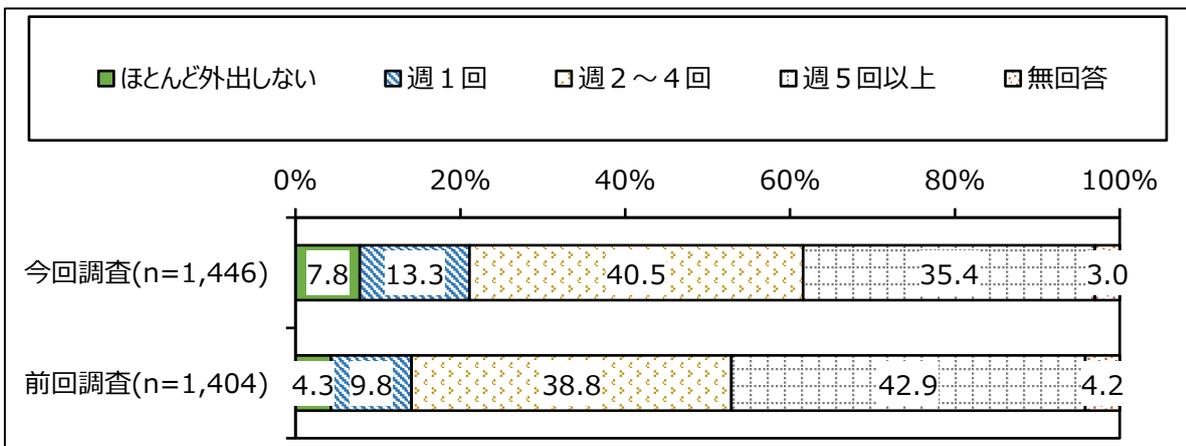
問 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



現在の暮らしの経済的状況について、前回調査に比べて今回調査では「大変苦しい」と「やや苦しい」がともに増加しており、経済的に厳しい状況にある高齢者が増加していることがうかがえる。

(4) 外出しているか

問 週に1回以上は外出していますか

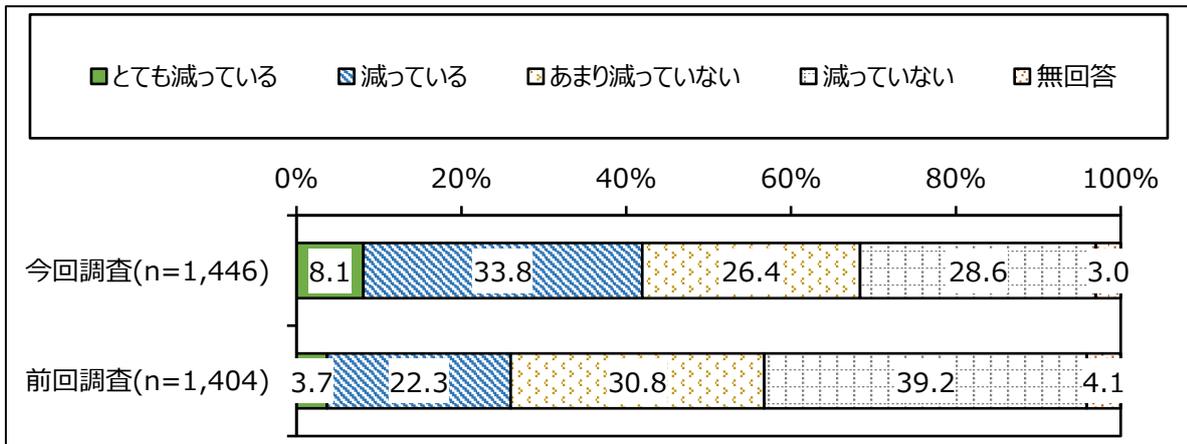


週に1回以上の外出について、前回調査に比べて今回調査では「週5回以上」が7.5ポイント減少し、その他の選択肢が増加している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(5) 外出頻度の減少

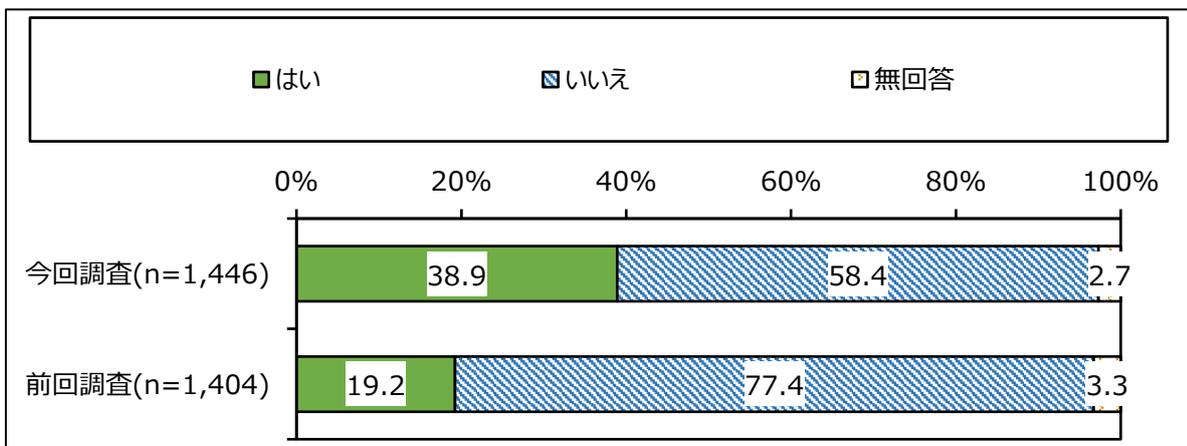
問 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



昨年と比べて外出の回数について、前回調査に比べて今回調査では「とても減っている」と「減っている」がともに増加しており、外出の頻度が減少していることがうかがえる。

(6) 外出を控えているか

問 外出を控えていますか

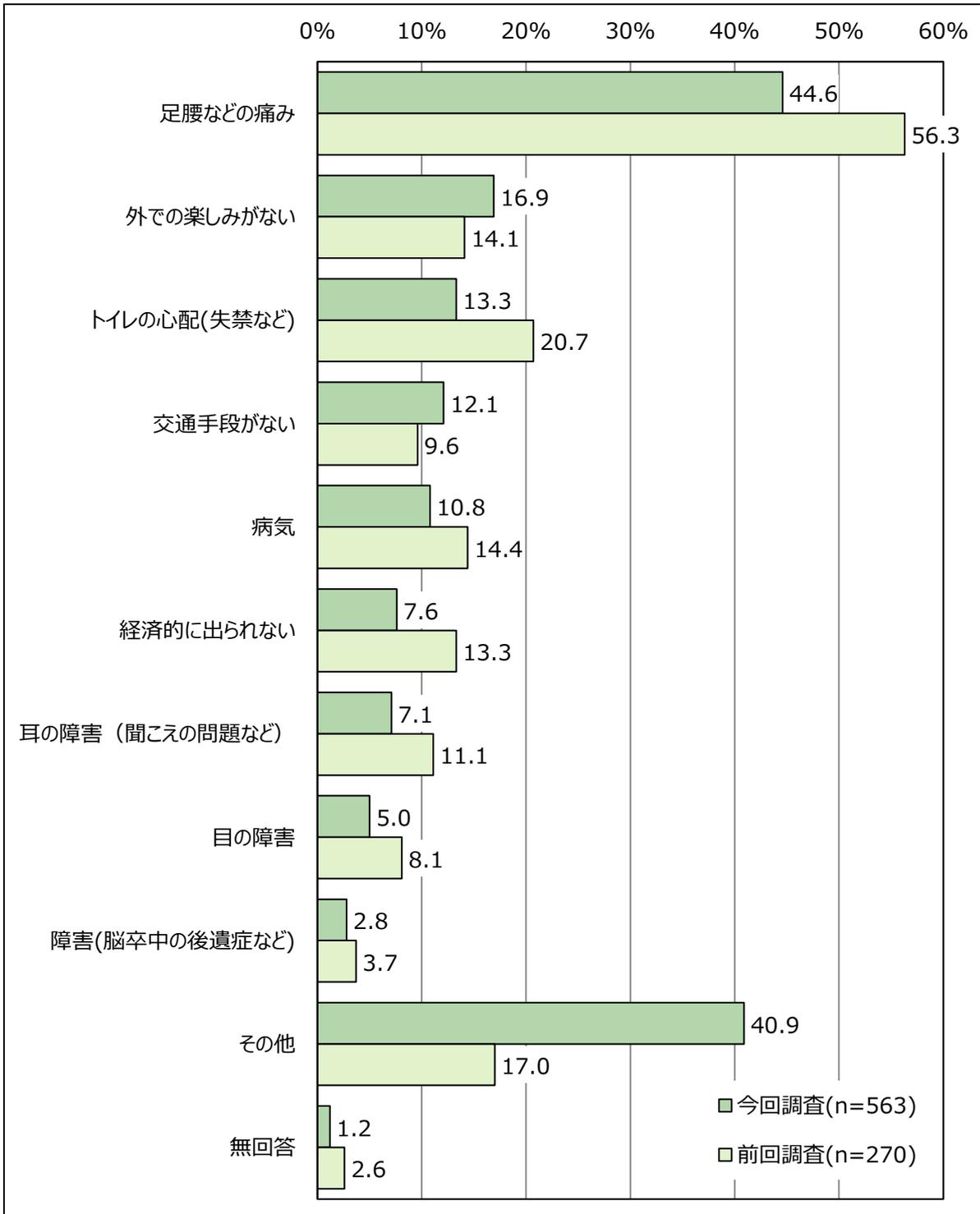


外出を控えているかについて、前回調査に比べて今回調査では「はい」が約 20 ポイント増加している。(4)、(5)の結果も合わせ、3年前に比べて外出が控えられていることがうかがえる。

(7) 外出を控える理由

【「問 外出を控えていますか」で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

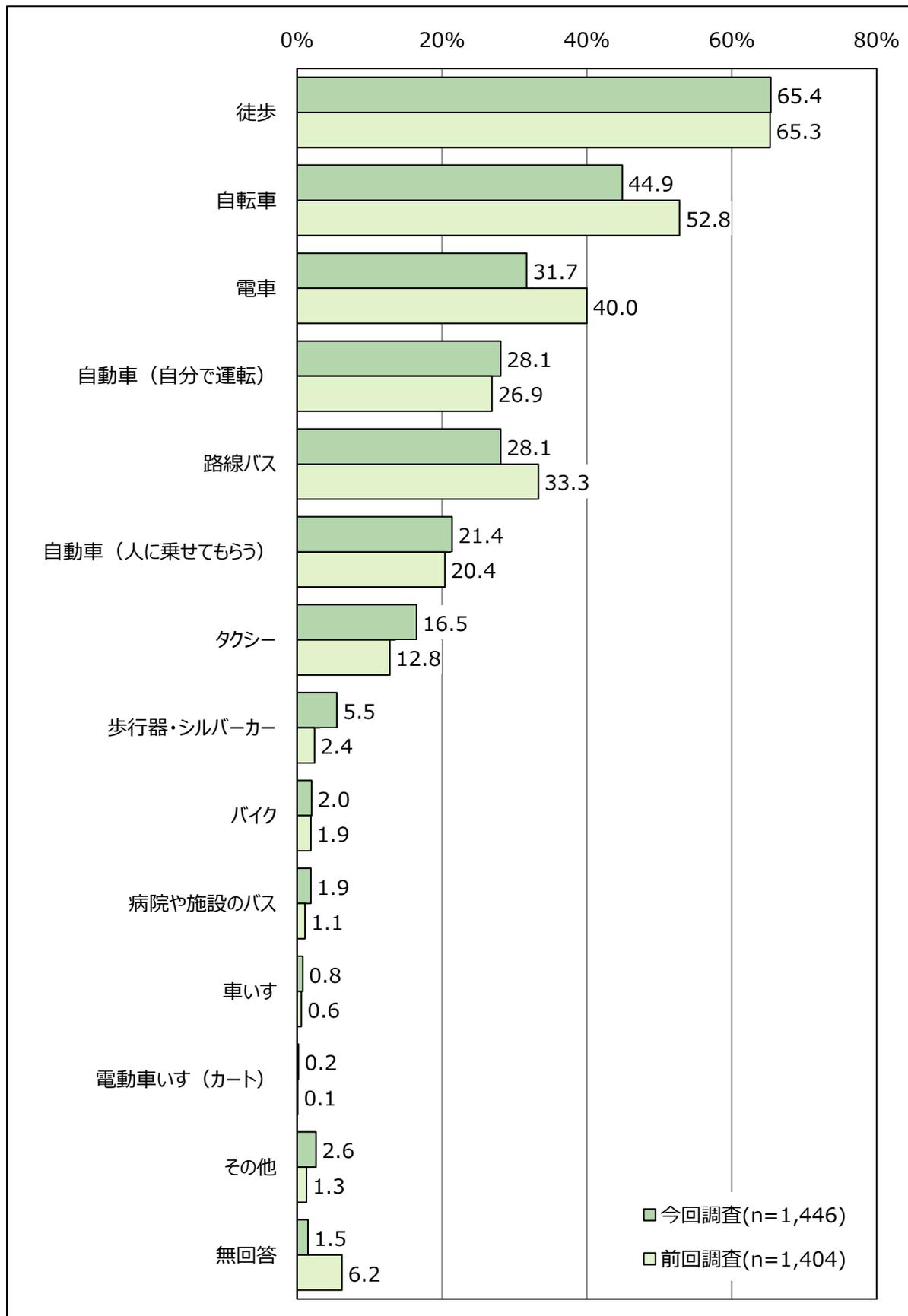


外出を控える理由について、前回調査、今回調査ともに「足腰などの痛み」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「その他」が非常に増加しているが、これは今回調査で「コロナ」に関する回答が多いためとなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(8) 外出する際の移動手段

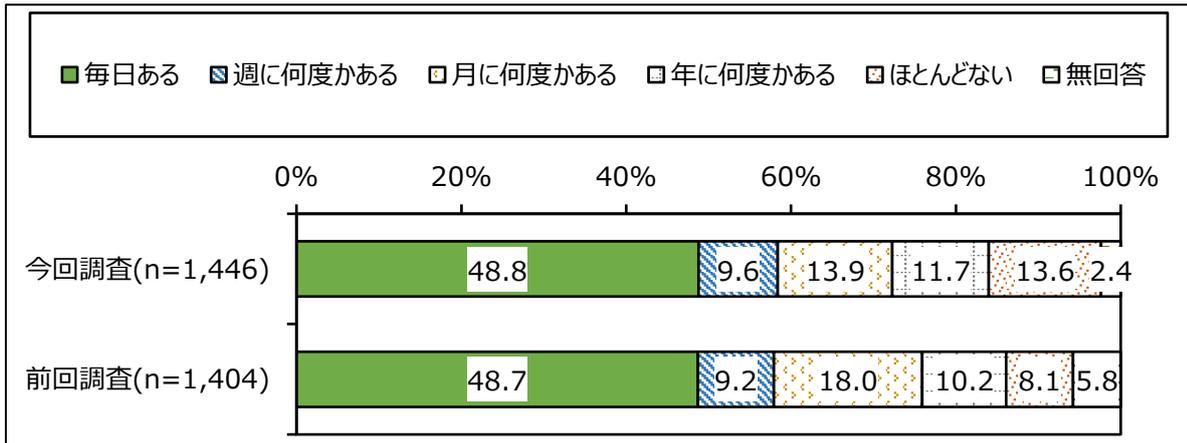
問 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



外出する際の移動手段については、前回調査、今回調査ともに「徒歩」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「電車」や「路線バス」といった公共交通機関の回答が減少している。

(9) 誰かと食事をする機会

問 どなたかと食事をともにする機会がありますか



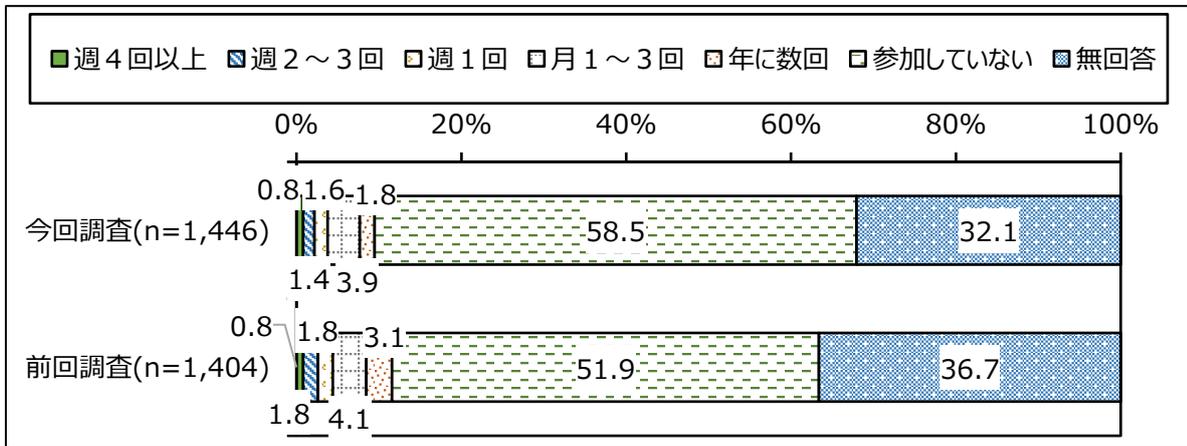
誰かと食事をする機会について、前回調査に比べて今回調査では「毎日ある」や「週に何度かある」は大きく変化していないものの、「ほとんどない」が増加している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(10) 会・グループへの参加状況

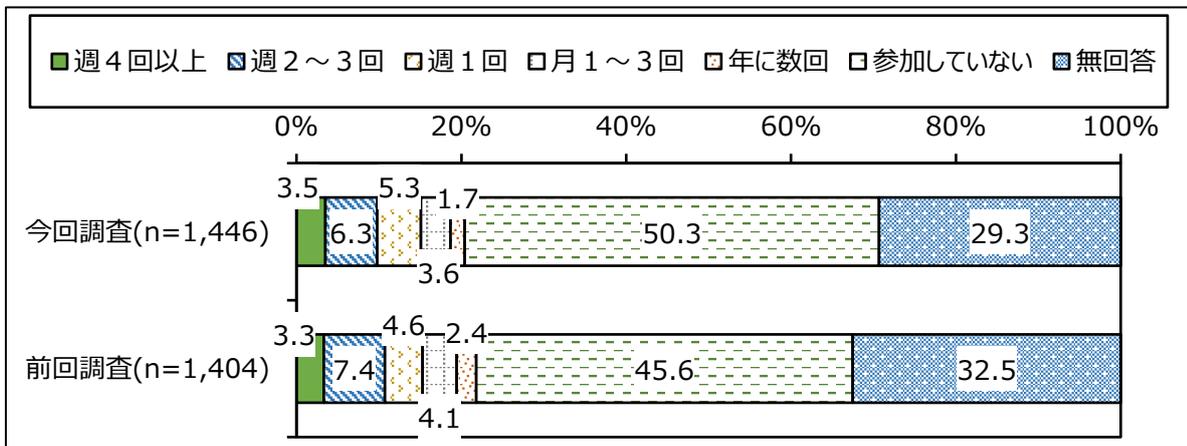
問 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれについて回答して下さい

①ボランティアのグループ



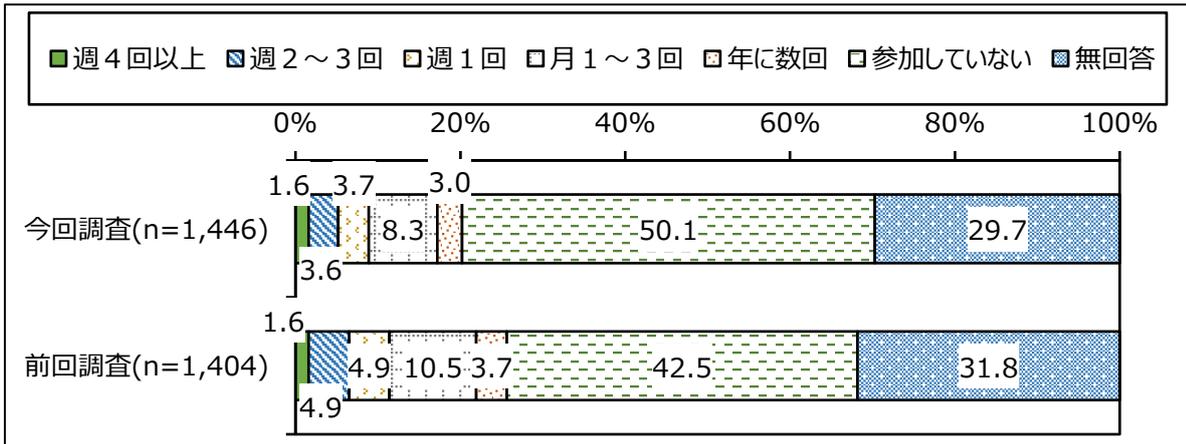
ボランティアのグループについては、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合（「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」）が2.1ポイント減少し、「参加していない」が6.6ポイント増加している。

②スポーツ関係のグループやクラブ



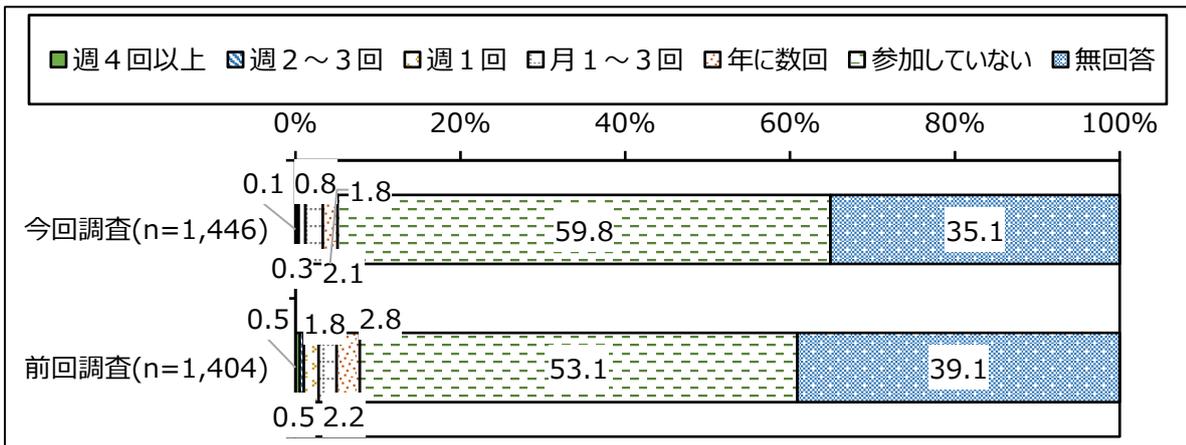
スポーツ関係のグループやクラブについては、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が1.4ポイント減少し、「参加していない」が4.7ポイント増加している。

③趣味関係のグループ



趣味関係のグループについては、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が5.4ポイント減少し、「参加していない」が7.6ポイント増加している。

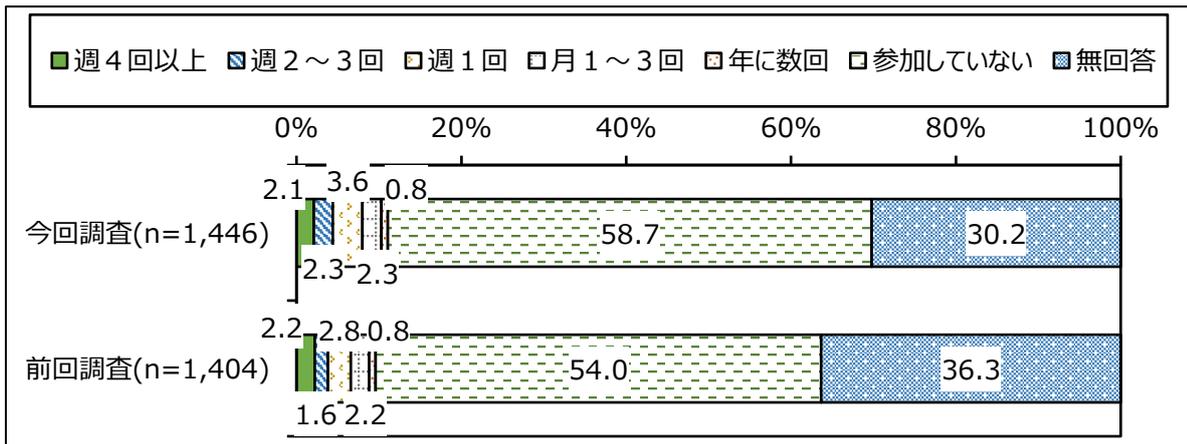
④学習・教養サークル



学習・教養サークルについては、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が2.7ポイント減少し、「参加していない」が6.7ポイント増加している。

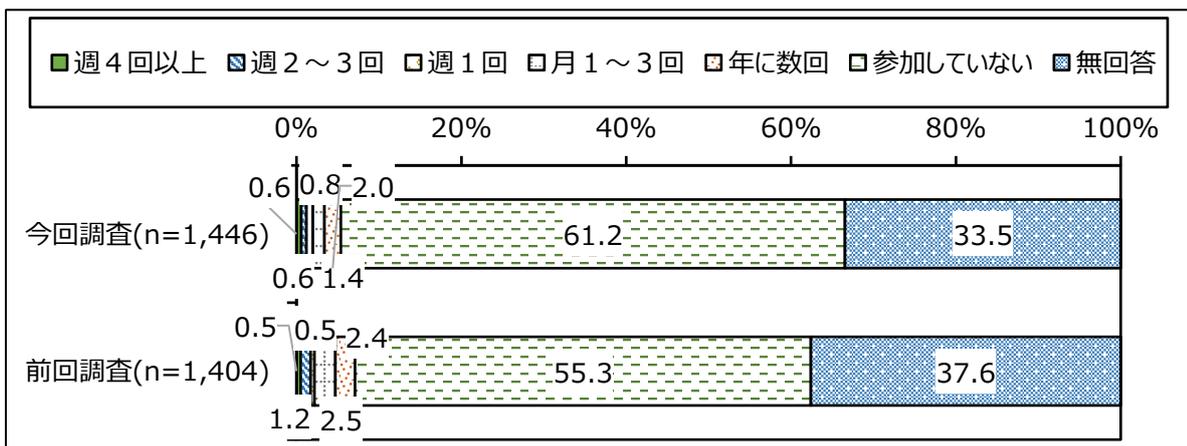
II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

⑤ TODA元気体操やラジオ体操、介護予防のための通いの場



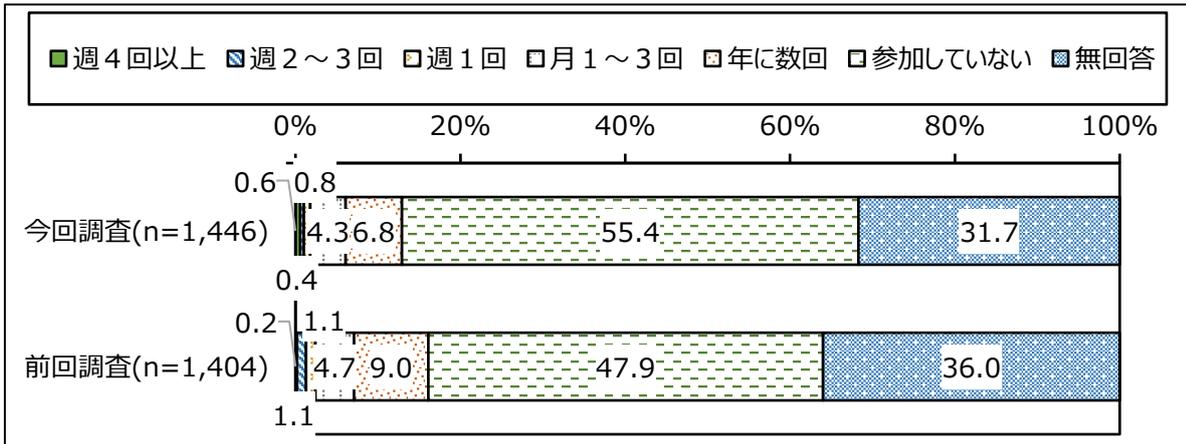
介護予防のための通いの場については、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が1.5ポイント増加し、「参加していない」が4.7ポイント増加している。

⑥ 老人クラブ



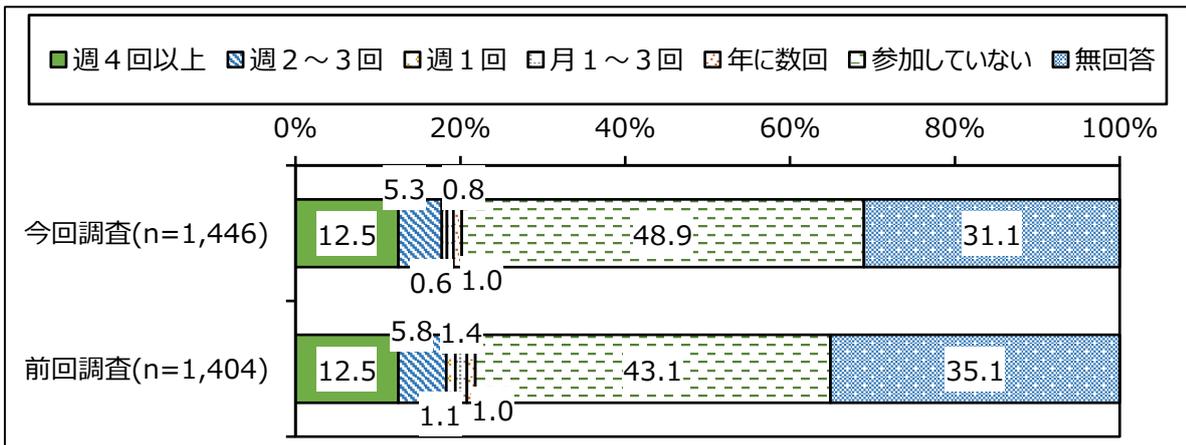
老人クラブについては、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が1.7ポイント減少し、「参加していない」が5.9ポイント増加している。

⑦町内会・自治会



町内会・自治会については、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が3.2ポイント減少し、「参加していない」が7.5ポイント増加している。

⑧収入のある仕事



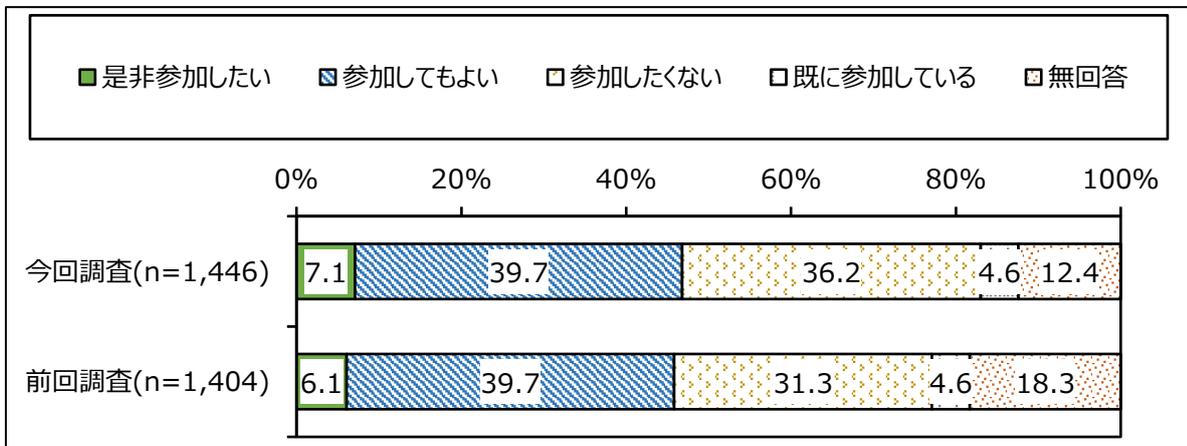
収入のある仕事については、前回調査に比べて今回調査では活動への参加割合が1.6ポイント減少し、「参加していない」が5.8ポイント増加している。

会・グループへの参加状況について、「TODA元気体操やラジオ体操、介護予防のための通いの場」を除き、活動への参加割合が減少している。また、全ての項目で「参加していない」が増加している。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(11) 地域活動への参加者としての参加希望

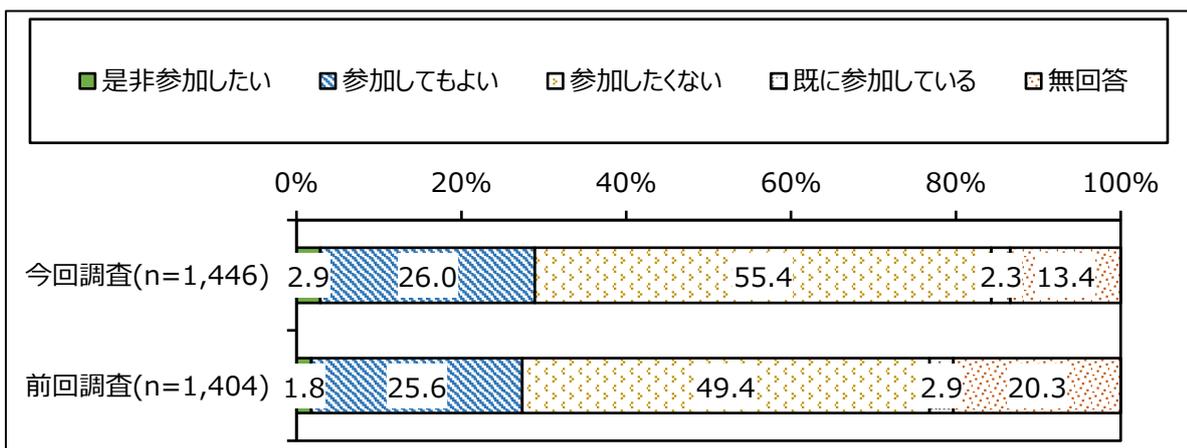
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



地域活動への参加者としての参加希望について、前回調査に比べて今回調査では「是非参加したい」、「参加してもよい」、「すでに参加している」では大きな変化はみられないが、「参加したくない」が5ポイント程度増加している。

(12) 地域活動への企画・運営者としての参加希望

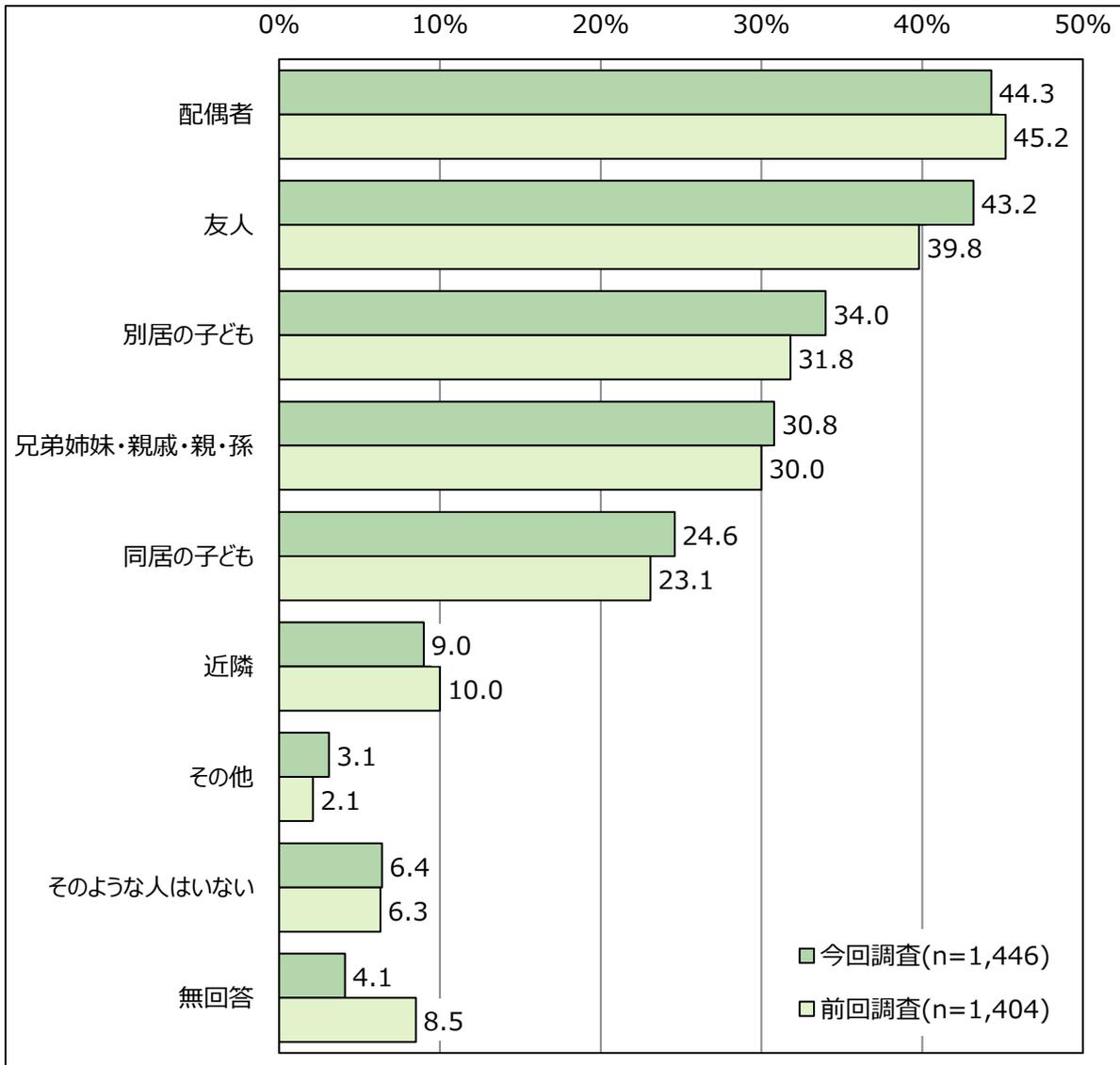
問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



地域活動への企画・運営者としての参加希望について、前回調査に比べて今回調査では「是非参加したい」、「参加してもよい」、「すでに参加している」では大きな変化はみられないが、「参加したくない」が6ポイント増加している。

(13) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

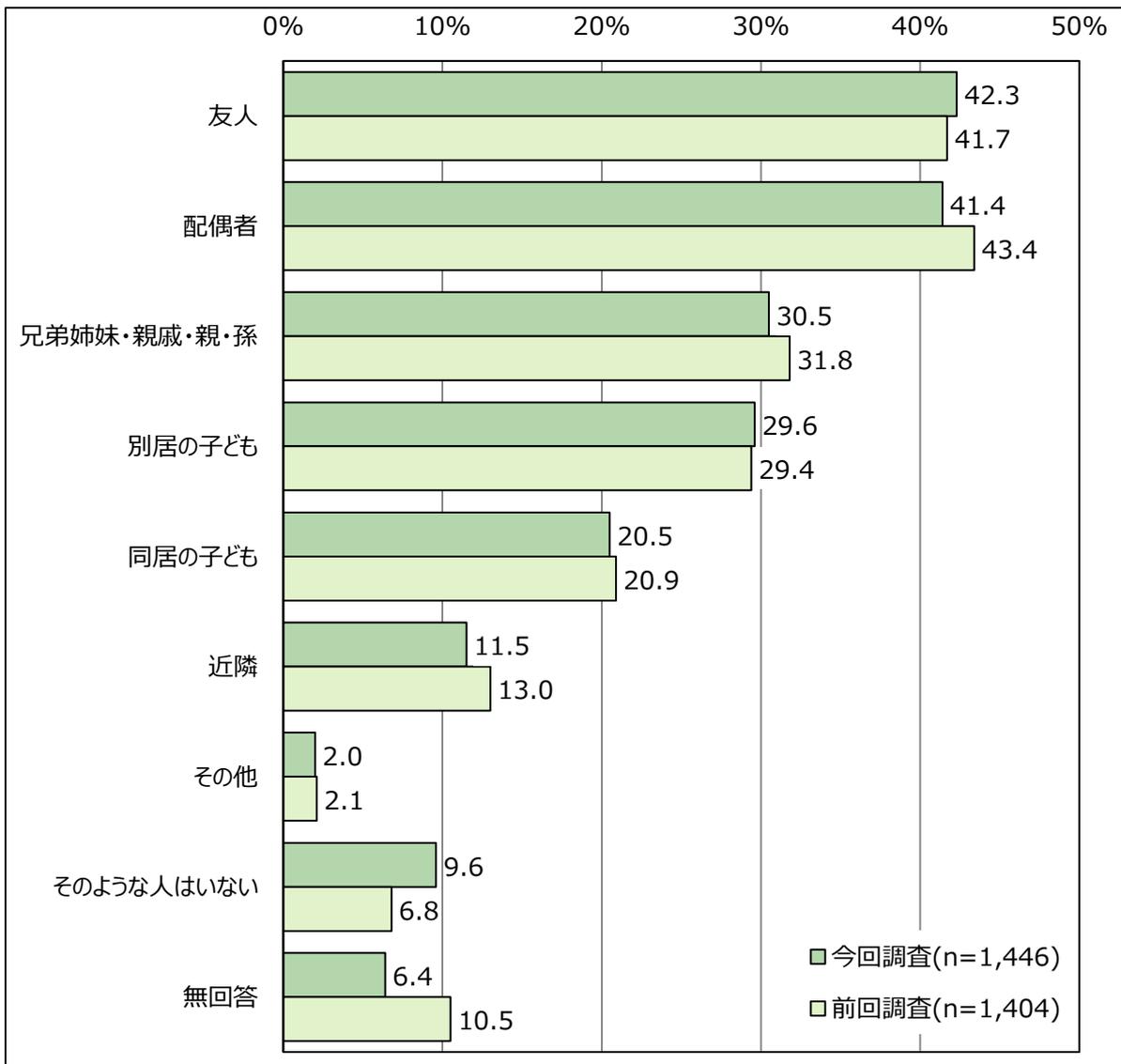


心配事や愚痴を聞いてくれる人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」が増加している。

Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(14) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

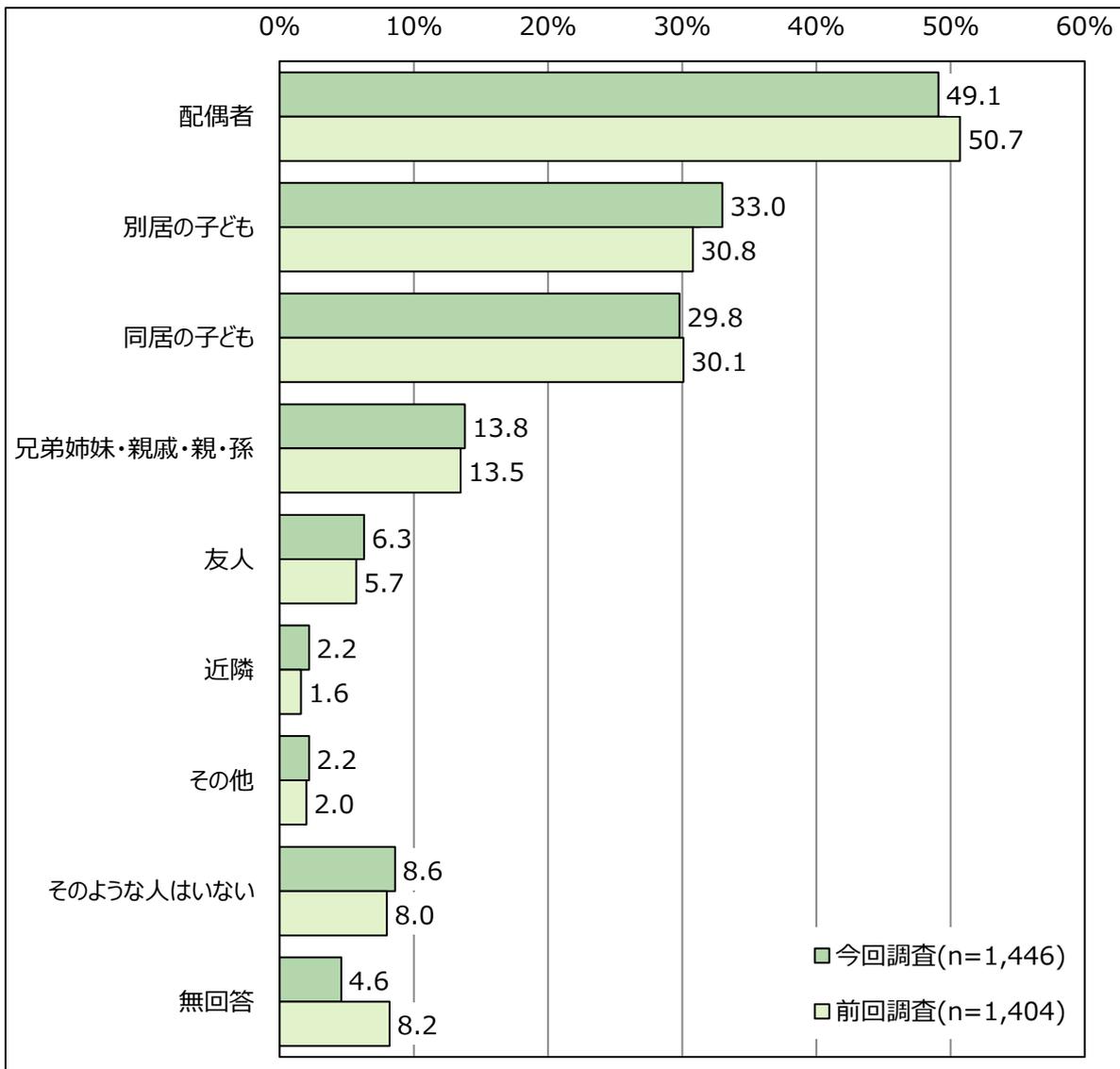
問 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人について、前回調査では「配偶者」が最も多かったが、今回調査では「友人」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「そのような人はいない」が増加している。

(15) 看病や世話をしてくれる人

問 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

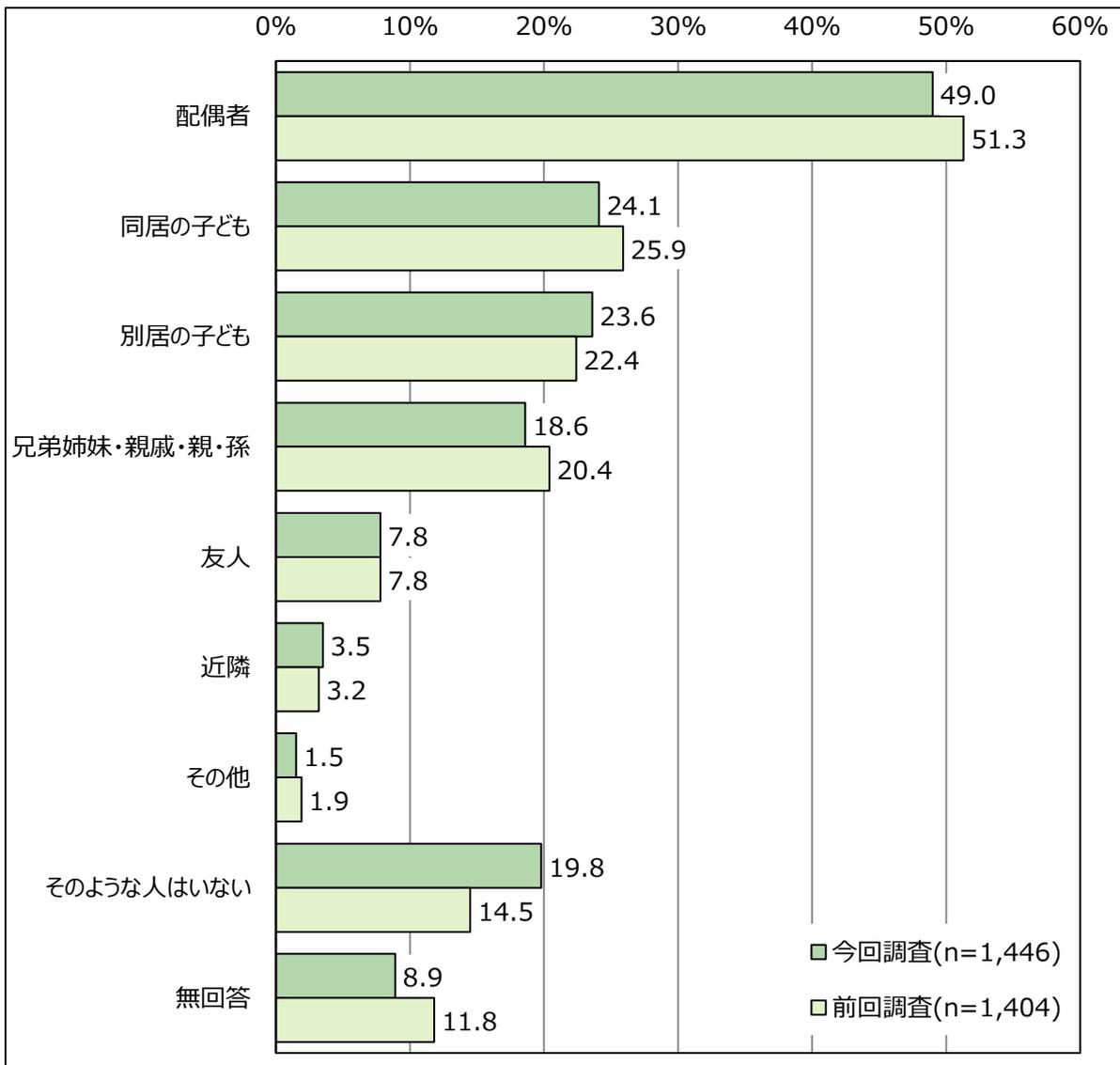


病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査と今回調査では大きな変化はみられない。

Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(16) 看病や世話をしている人

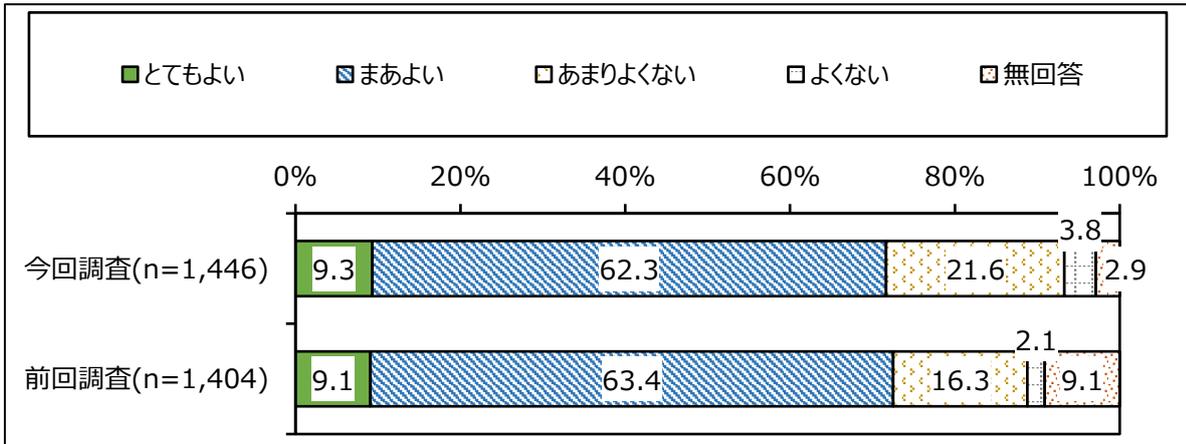
問 反対に、看病や世話をしている人（いくつでも）



反対に、看病や世話をしている人について、前回調査、今回調査ともに「配偶者」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「そのような人はいない」が増加している。

(17) 主観的健康感

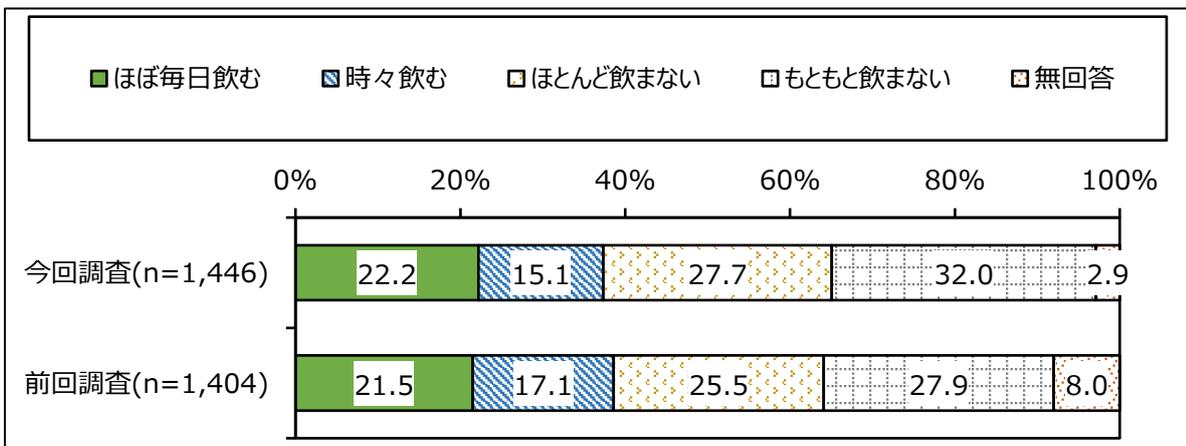
問 現在のあなたの健康状態はいかがですか



現在の健康状態について、前回調査に比べて今回調査では「あまりよくない」と「よくない」がともに増加しており、主観的健康感が悪化している高齢者が増加していることがうかがえる。

(18) 飲酒の状況

問 お酒は飲みますか

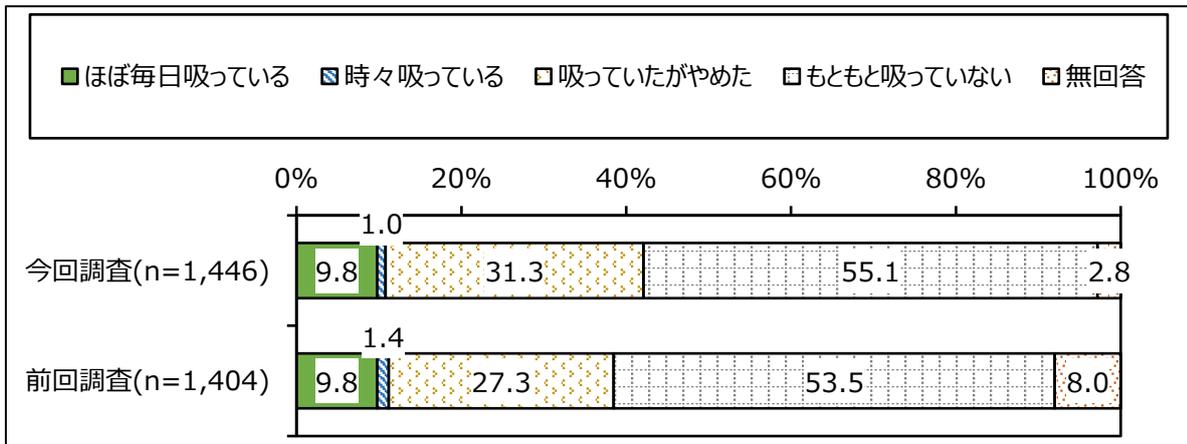


飲酒について、前回調査に比べて今回調査では「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」がともに増加しており、習慣的に飲酒をしている高齢者が少ないことがうかがえる。

Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(19) 喫煙の状況

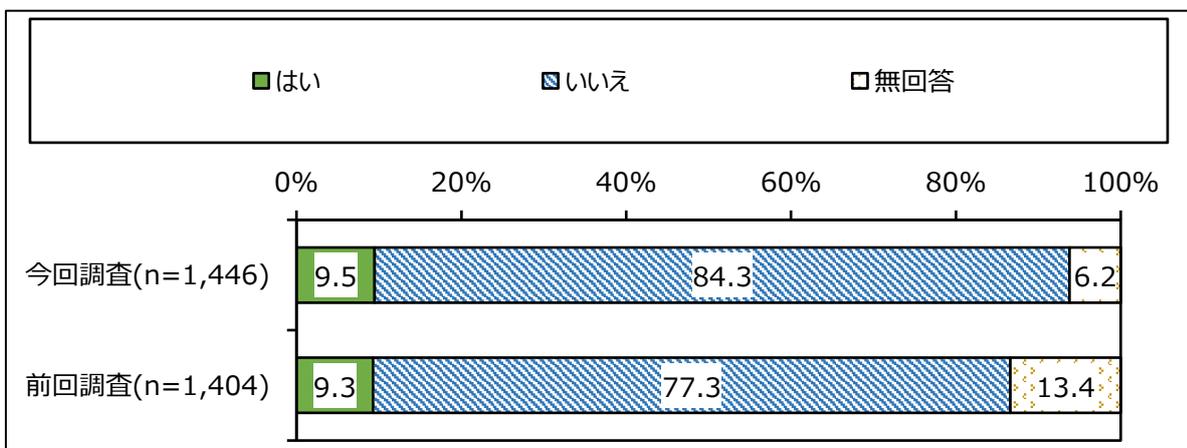
問 タバコは吸っていますか



喫煙について、前回調査に比べて今回調査では「吸っていたがやめた」が増加しており、禁煙をしている高齢者が増加したことがうかがえる。

(20) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

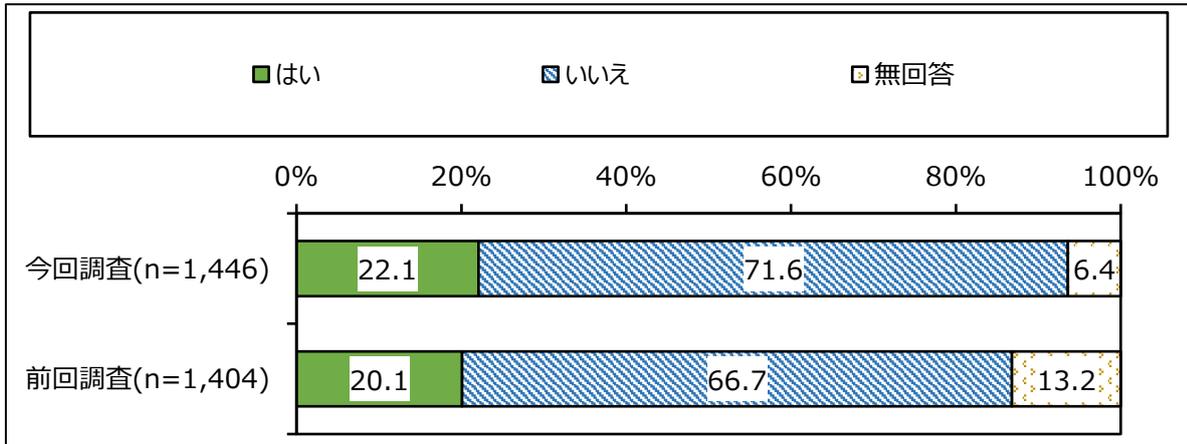
問 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、前回調査に比べて今回調査では「いいえ」が7ポイント増加している。

(21) 認知症に関する相談窓口の認知度

問 認知症に関する相談窓口を知っていますか



認知症に関する相談窓口の認知度について、前回調査に比べて今回調査では「いいえ」が5ポイント程度増加しており、認知所に関する相談窓口がまだ市民に十分認知されていないことがうかがえる。

(22) 運動器機能の低下

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,387)	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5
	前回調査(n=1,303)	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
男性	今回調査(n=601)	6.6	8.6	18.9	32.7	47.6
	前回調査(n=594)	5.3	5.4	8.3	9.1	25.9
女性	今回調査(n=785)	7.6	10.7	25.1	44.3	58.6
	前回調査(n=708)	7.1	13.9	12.7	25.7	37.2

運動器機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が12.1ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性ではすべての年齢で前回調査を上回っており、特に80-84歳、85歳以上では20ポイント以上多くなっている。また、女性では75歳以上で前回調査を上回っており、特に85歳以上では20ポイント以上多くなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(23) 転倒リスク

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,406)	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
	前回調査(n=1,321)	29.8	29.8	29.8	29.8	29.8
男性	今回調査(n=608)	24.0	23.5	41.2	34.7	51.2
	前回調査(n=603)	23.5	28.1	29.5	33.0	37.9
女性	今回調査(n=797)	18.8	19.6	34.5	44.7	51.6
	前回調査(n=717)	22.1	29.6	29.1	33.8	40.0

転倒リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が4.1ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では65-69歳及び75歳以上で前回調査を上回っており、特に75-79歳、85歳以上では10ポイント以上多くなっている。また、女性では75歳以上で前回調査を上回っており、特に80-84歳、85歳以上では10ポイント以上多くなっている。

(24) 閉じこもり傾向

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,403)	21.7	21.7	21.7	21.7	21.7
	前回調査(n=1,345)	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7
男性	今回調査(n=607)	4.9	15.8	25.9	25.5	38.6
	前回調査(n=609)	9.0	10.3	14.3	12.5	25.4
女性	今回調査(n=795)	11.8	14.5	12.8	30.4	42.9
	前回調査(n=735)	6.3	11.4	15.2	19.7	35.0

閉じこもり傾向のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が7ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では70歳以上で前回調査を上回っており、特に75-79歳、80-84歳、85歳以上ではいずれも10ポイント以上多くなっている。また、女性では75-79歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に80-84歳では10ポイント以上多くなっている。

(25) 低栄養傾向

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,321)	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
	前回調査(n=1,239)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
男性	今回調査(n=579)	0.0	0.6	2.4	3.2	6.8
	前回調査(n=569)	0.8	1.4	1.2	2.3	0.0
女性	今回調査(n=741)	5.2	3.6	3.6	1.9	5.9
	前回調査(n=669)	0.9	2.0	1.5	2.3	1.5

低栄養傾向のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が1.6ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では75歳以上で前回調査を上回っており、特に85歳以上では前回調査が0.0%であるのに対し、今回調査では6.8%となっている。また、女性では80-84歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に65-69歳、85歳以上で4ポイント以上多くなっている。

(26) 口腔機能の低下

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,416)	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	前回調査(n=1,313)	25.8	25.8	25.8	25.8	25.8
男性	今回調査(n=610)	22.8	23.5	34.8	32.7	43.2
	前回調査(n=596)	21.8	25.7	26.7	26.7	40.4
女性	今回調査(n=805)	18.9	23.7	24.6	37.2	44.0
	前回調査(n=716)	20.7	23.9	27.8	23.6	28.9

口腔機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が4.2ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では70-74歳を除く年齢で前回調査を上回っている。また、女性では80歳以上で前回調査を上回っており、いずれも10ポイント以上多くなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(27) 認知機能の低下

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,402)	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2
	前回調査(n=1,332)	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
男性	今回調査(n=609)	25.4	39.4	40.0	51.0	67.1
	前回調査(n=604)	24.8	38.5	39.4	49.5	60.0
女性	今回調査(n=792)	33.1	39.9	45.1	47.6	60.0
	前回調査(n=727)	29.5	37.9	44.9	49.3	65.1

認知機能の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が2.2ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性ではすべての年齢で前回調査を上回っており、特に85歳以上では7.1ポイント多くなっている。また、女性では79歳以下で前回調査を上回っている一方、80歳以上では有リスク者が少なくなっている。

(28) IADL（手段的自立度）の低下

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,360)	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
	前回調査(n=1,272)	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
男性	今回調査(n=585)	1.7	4.3	9.9	14.6	25.3
	前回調査(n=577)	3.1	2.8	6.6	12.5	25.0
女性	今回調査(n=774)	1.7	3.4	2.3	6.3	27.1
	前回調査(n=694)	0.9	1.9	4.3	5.3	21.3

IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が2.2ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では70歳以上で前回調査を上回っている。また、女性では75-79歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に85歳以上では6ポイント程度多くなっている。

(29) うつ傾向

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,352)	48.7	48.7	48.7	48.7	48.7
	前回調査(n=1,245)	42.4	42.4	42.4	42.4	42.4
男性	今回調査(n=584)	43.0	39.8	52.3	44.7	50.7
	前回調査(n=556)	37.0	42.6	42.4	30.9	37.0
女性	今回調査(n=767)	46.2	49.7	50.0	56.3	52.7
	前回調査(n=688)	45.8	39.2	53.3	39.8	43.4

うつ傾向のリスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が6.3ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では70-74歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に80-84歳、85歳以上ではいずれも10ポイント以上多くなっている。また、女性では75-79歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に70-74歳、80-84歳では10ポイント以上多くなっている。

(30) 知的能動性の低下

(%)

		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,377)	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
	前回調査(n=1,273)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
男性	今回調査(n=597)	27.5	28.7	21.6	30.0	39.2
	前回調査(n=576)	28.0	14.8	17.7	24.7	20.8
女性	今回調査(n=779)	21.8	25.3	12.2	18.3	34.7
	前回調査(n=696)	10.9	15.6	16.2	24.3	39.2

知的能動性の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が4.9ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性では65-69歳を除く年齢で前回調査を上回っており、特に70-74歳、85歳以上では10ポイント以上多くなっている。また、女性では74歳以下で前回調査を上回っている一方、75歳以上では有リスク者が少なくなっている。

II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

(31) 社会的役割の低下

(%)

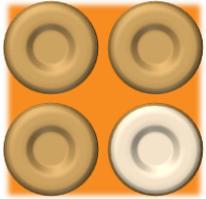
		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
全体平均	今回調査(n=1,297)	45.3	45.3	45.3	45.3	45.3
	前回調査(n=1,257)	34.9	34.9	34.9	34.9	34.9
男性	今回調査(n=573)	40.5	50.9	51.6	54.9	66.2
	前回調査(n=577)	37.7	36.7	40.0	46.4	50.8
女性	今回調査(n=723)	28.9	32.9	31.2	45.8	62.4
	前回調査(n=679)	20.9	31.6	25.0	32.3	50.0

社会的役割の低下リスクについて、前回調査に比べて今回調査では全体のリスク者割合が10.4ポイント増加している。

性別・年齢別に該当割合をみると、今回調査の男性ではすべての年齢で前回調査を上回っており、特に70-74歳、75-79歳、85歳以上ではいずれも10ポイント以上多くなっている。また、女性ではすべての年齢で前回調査を上回っており、特に80-84歳、84歳以上では10ポイント以上多くなっている。

アンケート調査結果から算出した各種リスク者割合について、今回調査ではすべての項目で前回調査よりも増加している。

特に男性のリスク者割合が増加している傾向にあり、男性向けの介護予防、健康づくりの取り組みを強化することが必要であると考えられる。



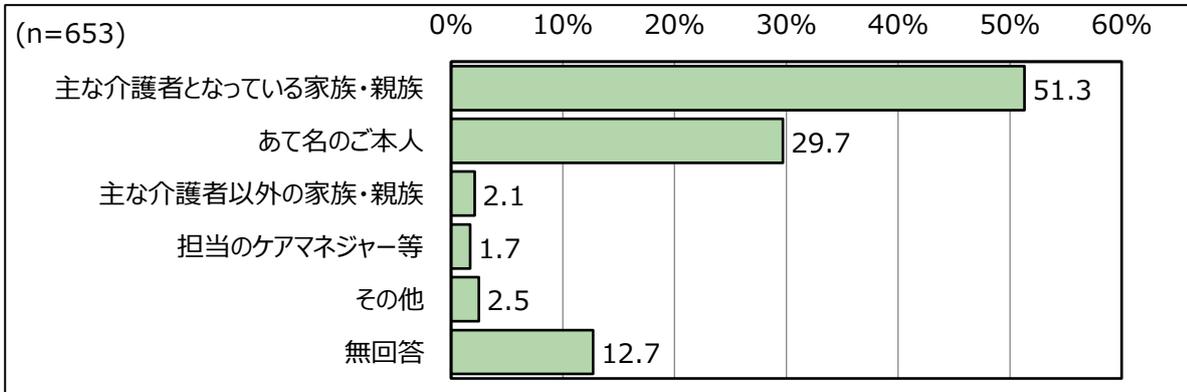
Ⅲ 調査結果

【在宅介護実態調査】

◎調査票記入者、ご本人の情報について

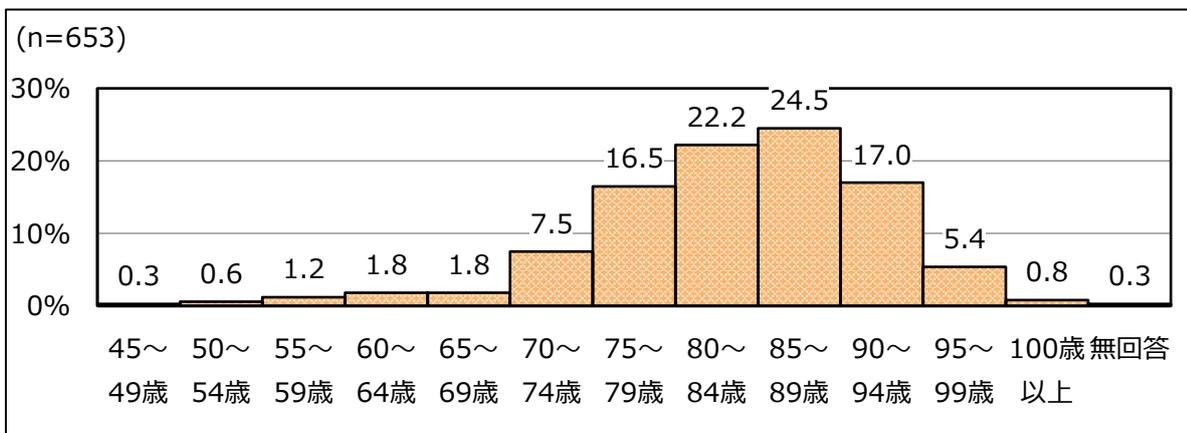
(1) 調査票記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください（複数選択可）



調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が51.3%で最も多く、次いで「あて名のご本人」が29.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.1%、「担当のケアマネジャー等」が1.7%などとなっている。

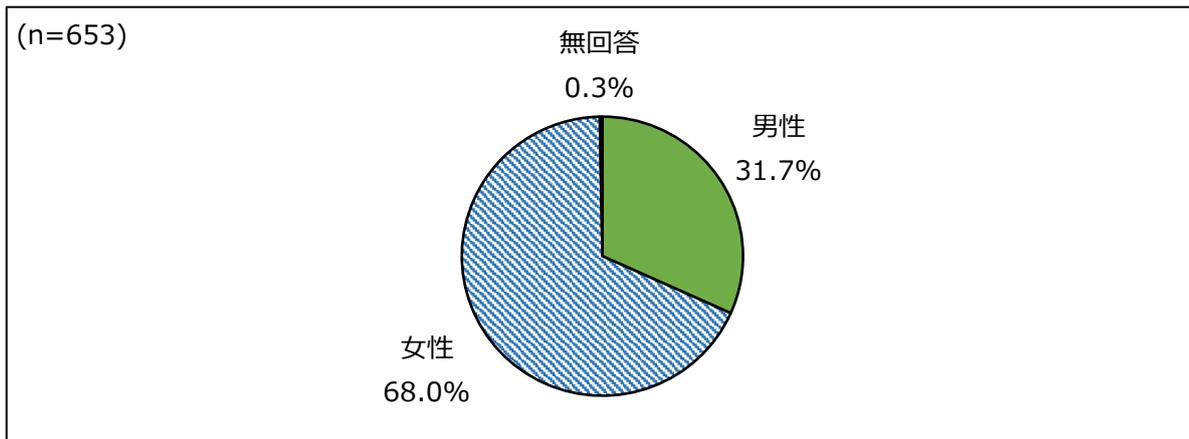
(2) 年齢



年齢は、「85～89歳」が24.5%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.2%、「90～94歳」が17.0%、「75～79歳」が16.5%、「70～74歳」が7.5%などとなっている。

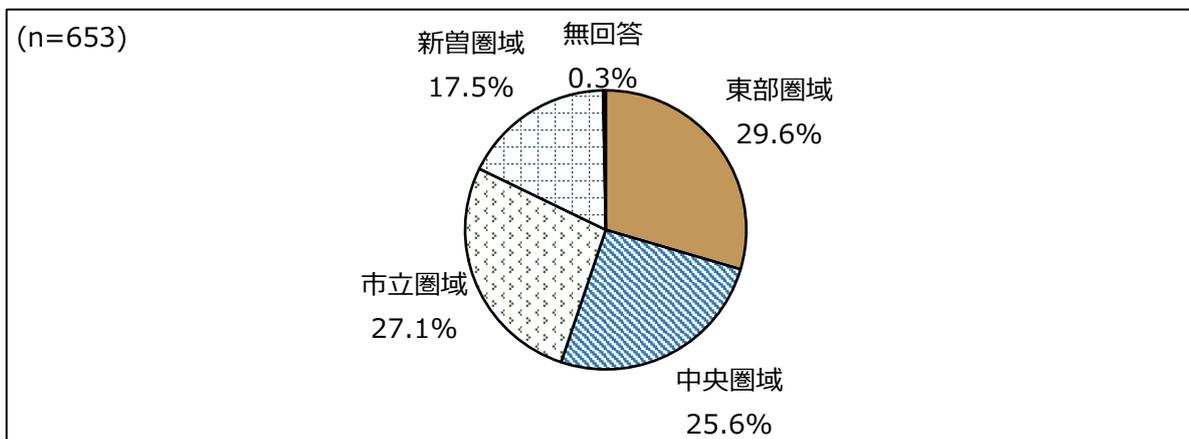
Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(3) 性別



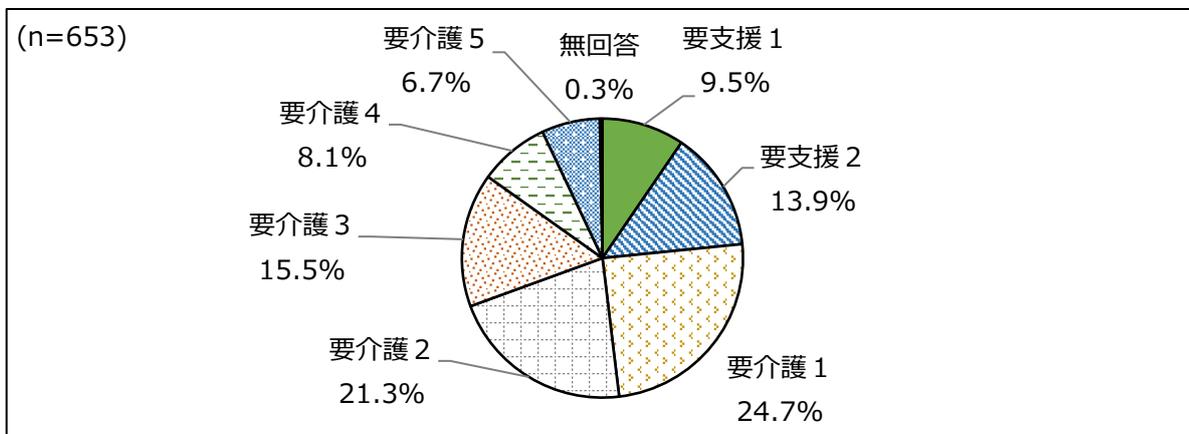
性別は、「男性」が31.7%、「女性」が68.0%となっている。

(4) 居住地区



居住地区は、「東部圏域」が29.6%、「中央圏域」が25.6%、「市立圏域」が27.1%、「新曽圏域」が17.5%となっている。

(5) 要介護認定状況

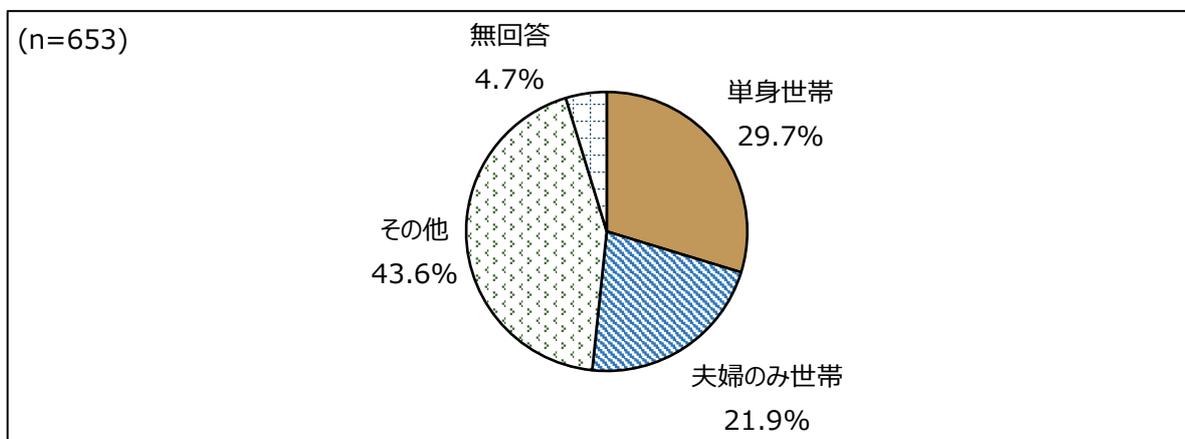


要介護認定状況については、「要介護1」が24.7%で最も多く、次いで「要介護2」が21.3%、「要介護3」が15.5%、「要支援2」が13.9%、「要支援1」が9.5%などとなっている。

● 調査結果

(1) 世帯類型

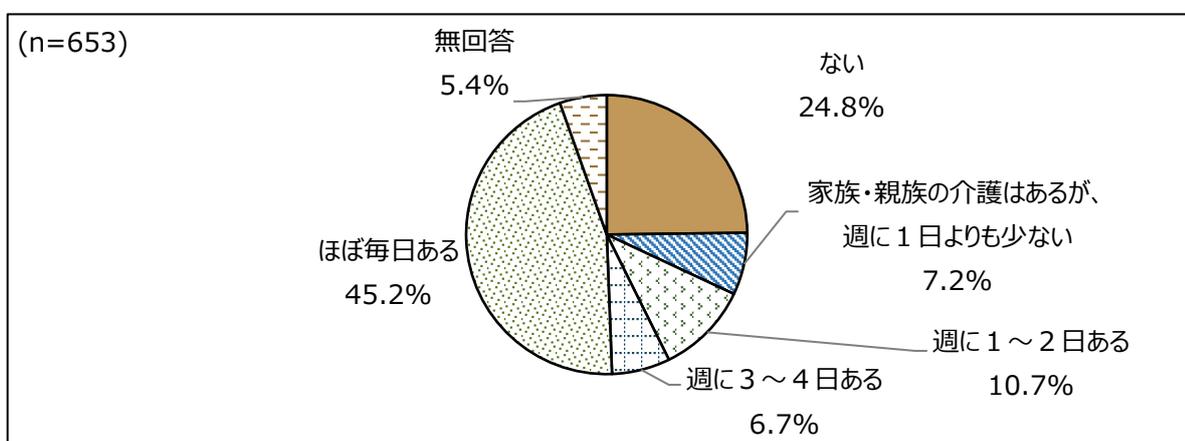
問1 世帯類型について、ご回答ください



世帯類型については、「単身世帯」が29.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が21.9%、「その他」が43.6%となっている。

(2) 家族・親族からの介護の頻度

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

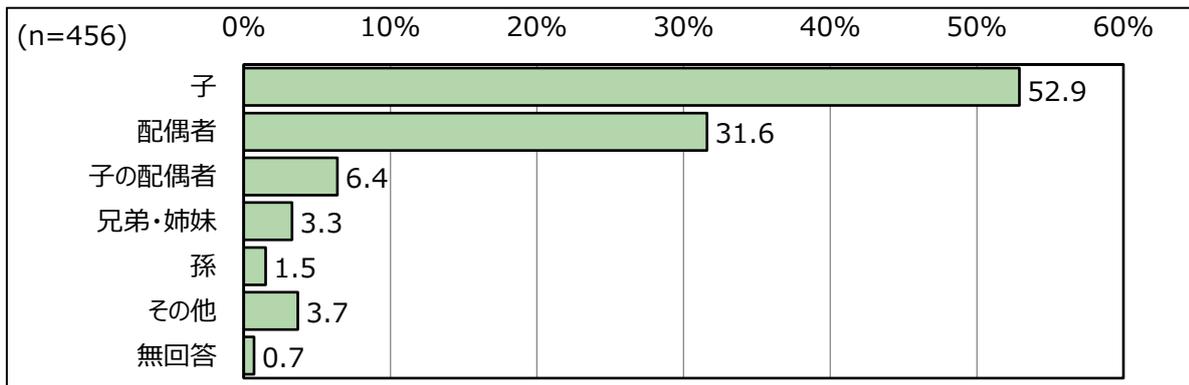


家族・親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が45.2%で最も多く、次いで「週に1~2日ある」が10.7%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が7.2%、「週に3~4日ある」が6.7%となっている。また、「ない」が24.8%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(3) 主な介護者

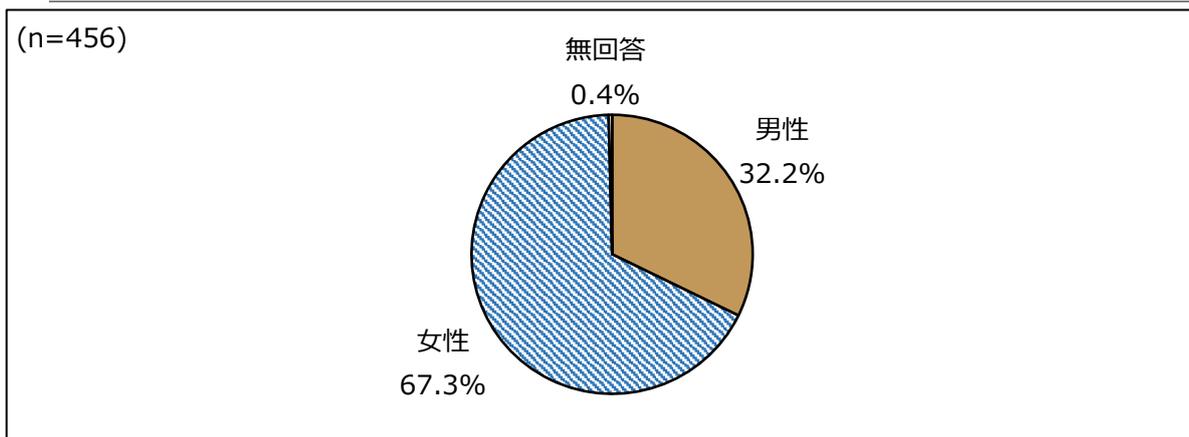
問3 主な介護者の方は、どなたですか



主な介護者は、「子」が 52.9%で最も多く、次いで「配偶者」が 31.6%、「子の配偶者」が 6.4%、「兄弟・姉妹」が 3.3%、「孫」が 1.5%などとなっている。

(4) 主な介護者の性別

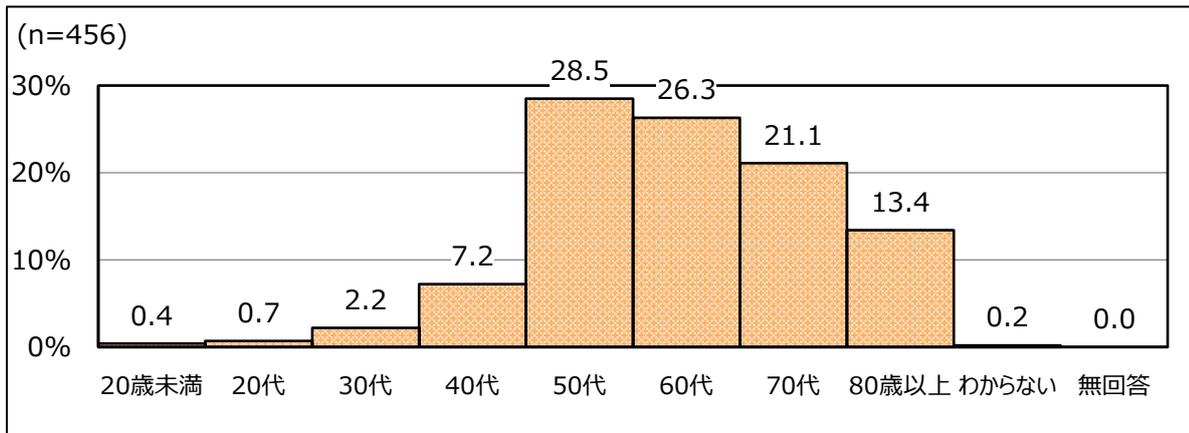
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください



主な介護者の性別は、「男性」が 32.2%、「女性」が 67.3%となっている。

(5) 主な介護者の年齢

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

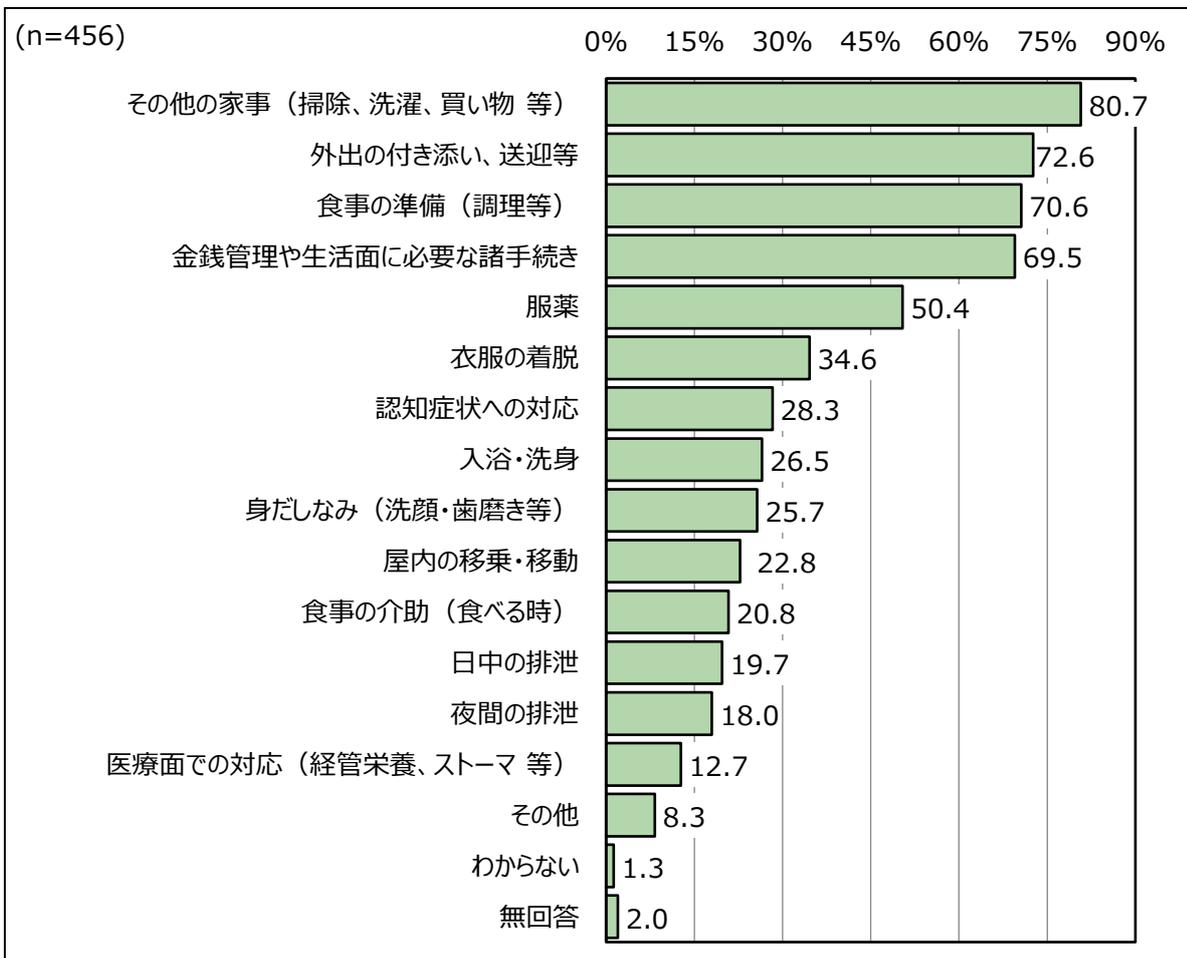


主な介護者の年齢は、「50代」が28.5%で最も多く、次いで「60代」が26.3%、「70代」が21.1%、「80歳以上」が13.4%、「40代」が7.2%などとなっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(6) 主な介護者が行っている介護

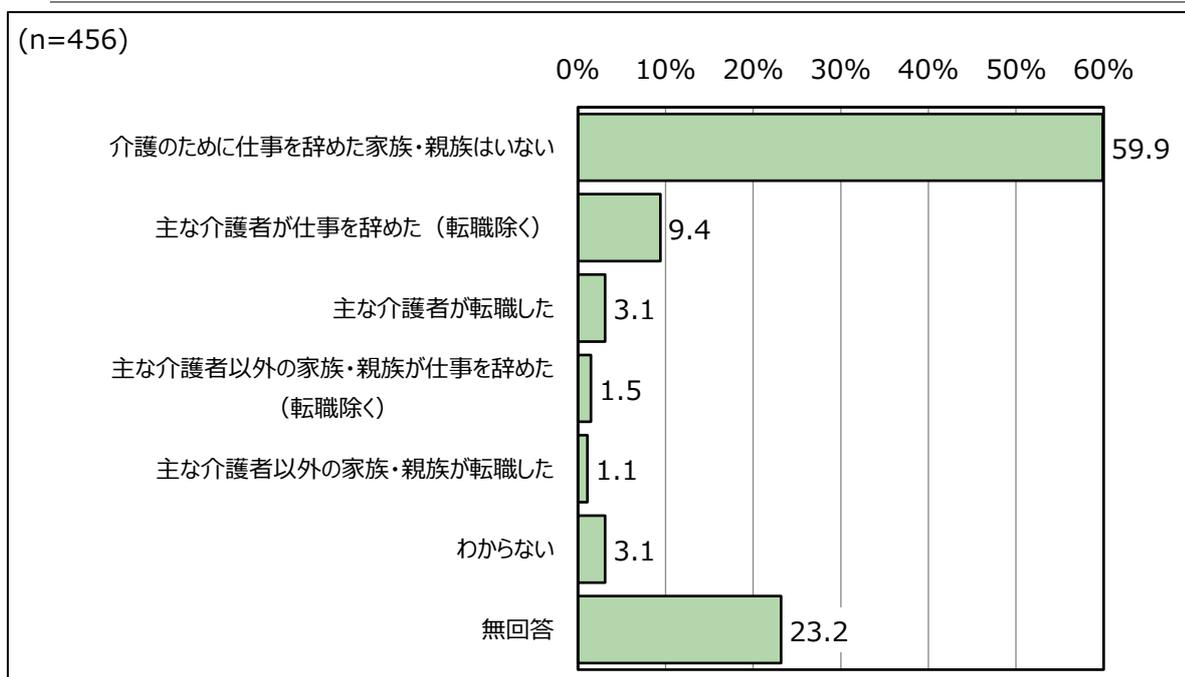
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.6%、「食事の準備（調理等）」が70.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.5%、「服薬」が50.4%などとなっている。

(7) 介護を理由とした離職の有無

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



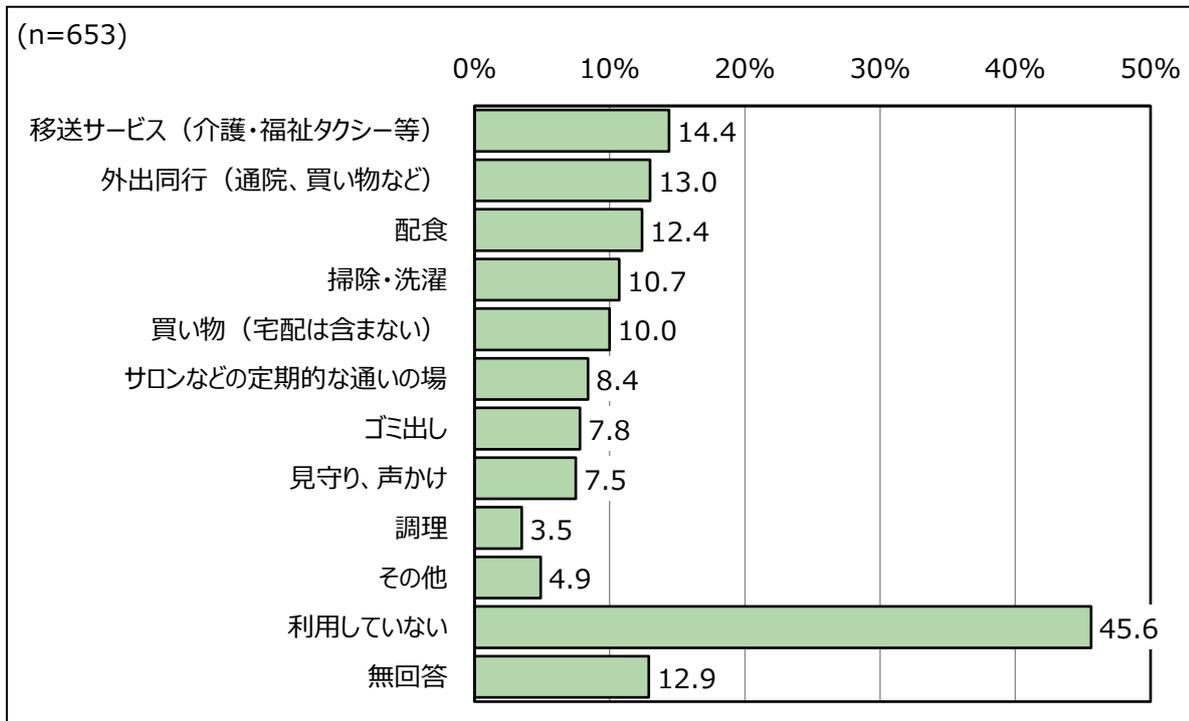
介護を理由とした離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が59.9%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.4%、「主な介護者が転職した」が3.1%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.5%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1.1%となっている。

また、「わからない」が3.1%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(8) 「介護保険サービス以外」のサービス利用

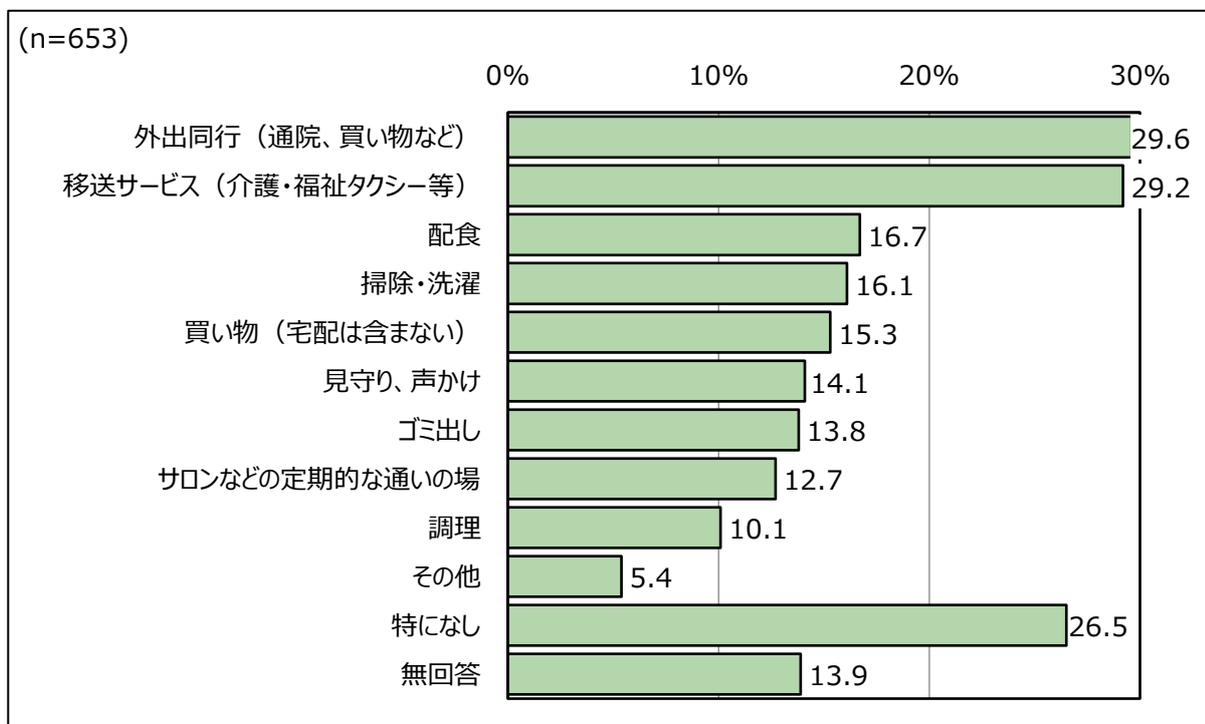
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



「介護保険サービス以外」のサービス利用は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.4%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が13.0%、「配食」が12.4%、「掃除・洗濯」が10.7%、「買い物（宅配は含まない）」が10.0%などとなっている。また、「利用していない」が45.6%となっている。

(9) 在宅生活の継続に必要なサービス・支援

問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

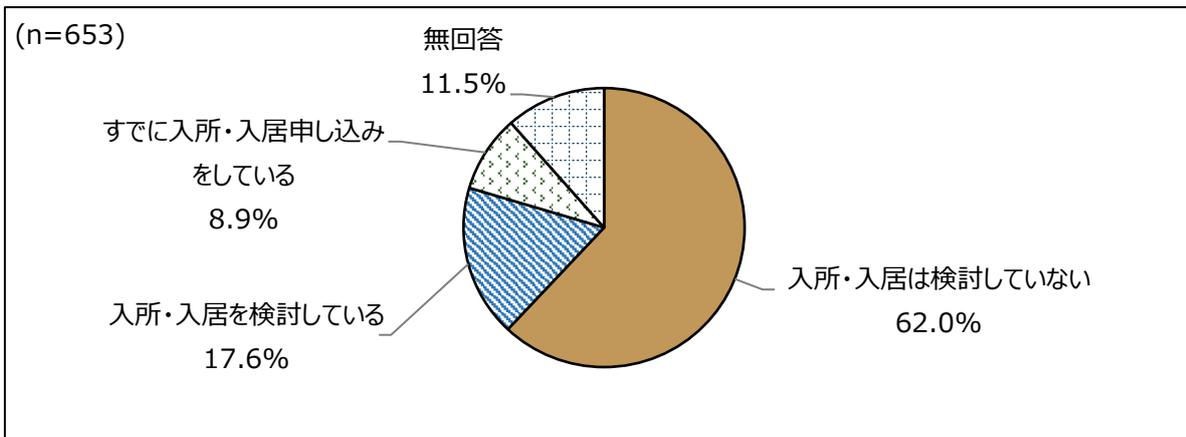


在宅生活の継続に必要なサービス・支援は、「外出同行（通院、買い物など）」が29.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.2%、「配食」が16.7%、「掃除・洗濯」が16.1%、「買い物（宅配は含まない）」が15.3%などとなっている。また、「特になし」が26.5%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(10) 施設等への入所・入居検討状況

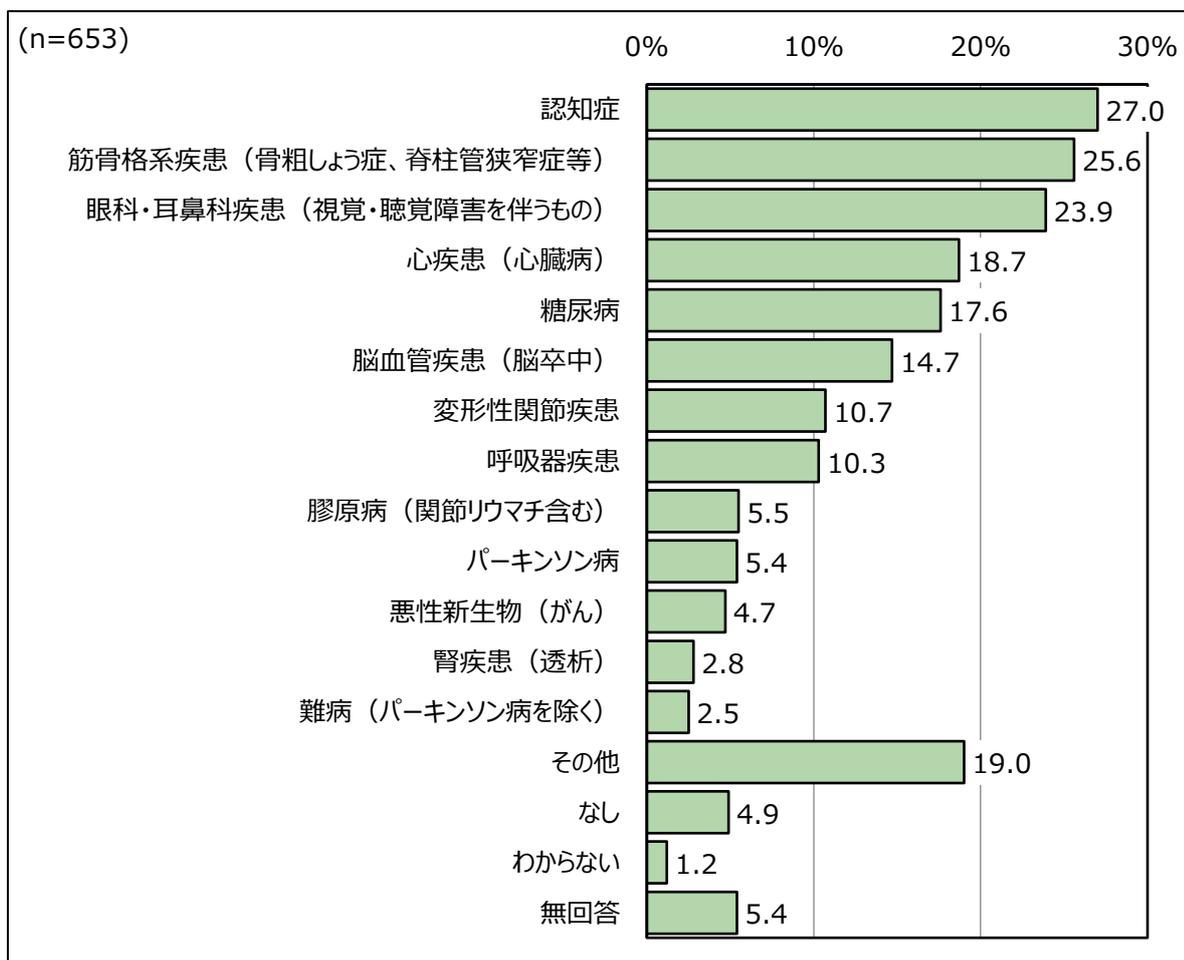
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



施設等への入所・入居検討状況は、「入所・入居は検討していない」が62.0%、「入所・入居を検討している」が17.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.9%となっている。

(11) 現在抱えている傷病

問 11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）



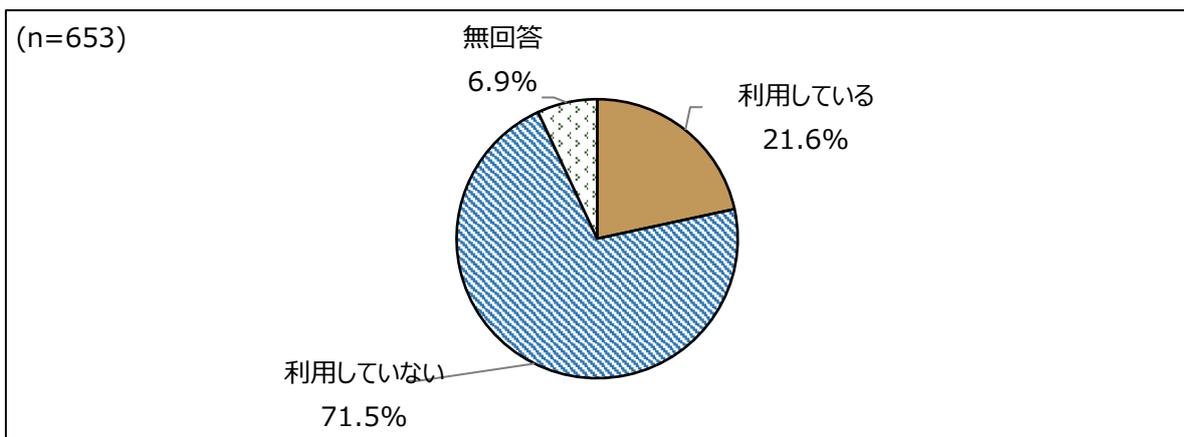
現在抱えている傷病は、「認知症」が27.0%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が25.6%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が23.9%、「心疾患（心臓病）」が18.7%、「糖尿病」が17.6%などとなっている。

また、「なし」が4.9%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(12) 訪問診療の利用の有無

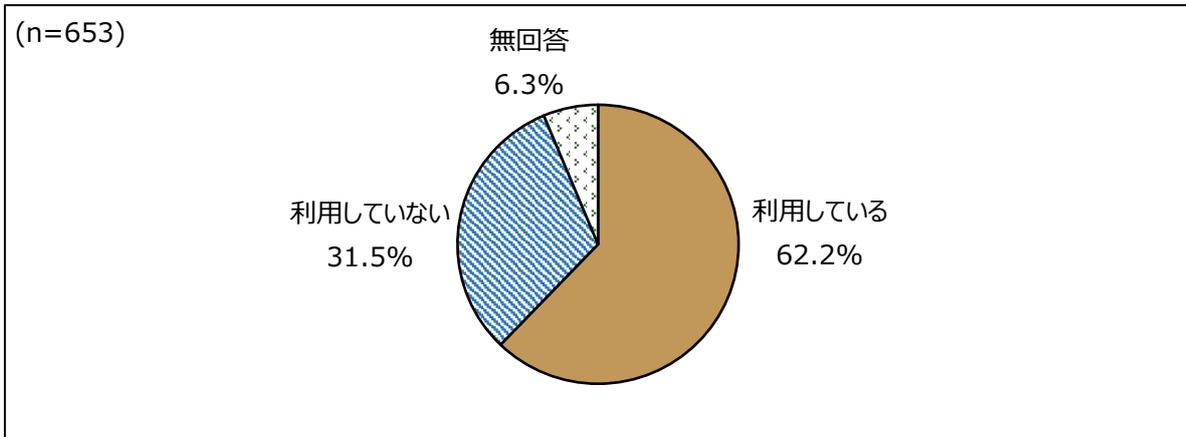
問 12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか



訪問診療の利用の有無は、「利用している」が 21.6%、「利用していない」が 71.5%となっている。

(13) 介護保険サービスの利用

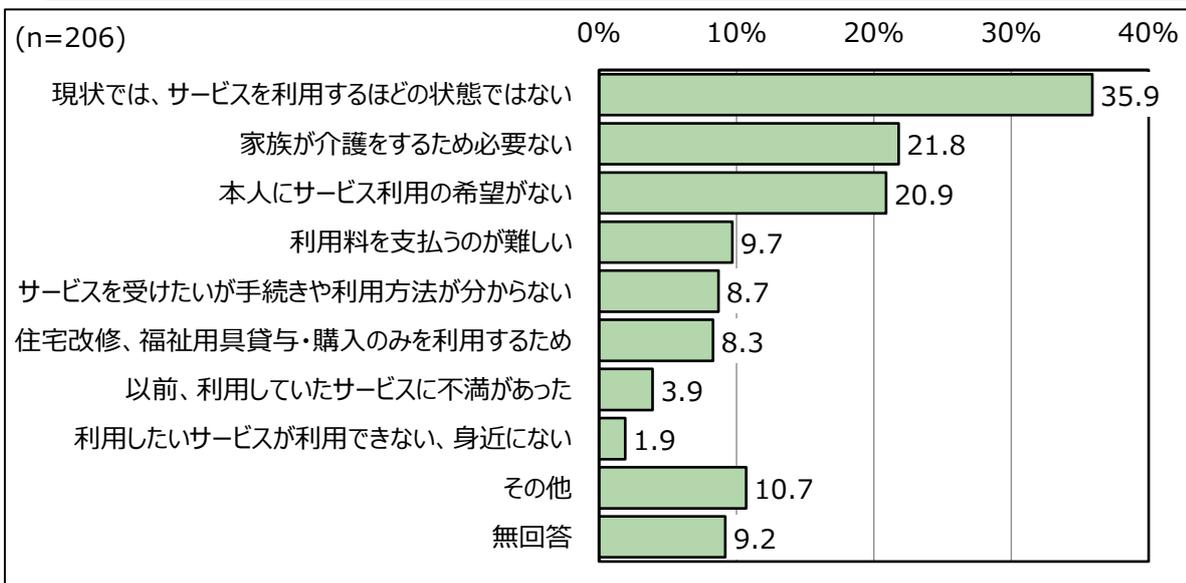
問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか



介護保険サービスの利用は、「利用している」が 62.2%、「利用していない」が 31.5%となっている。

(14) 介護保険サービス未利用の理由

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (複数選択可)

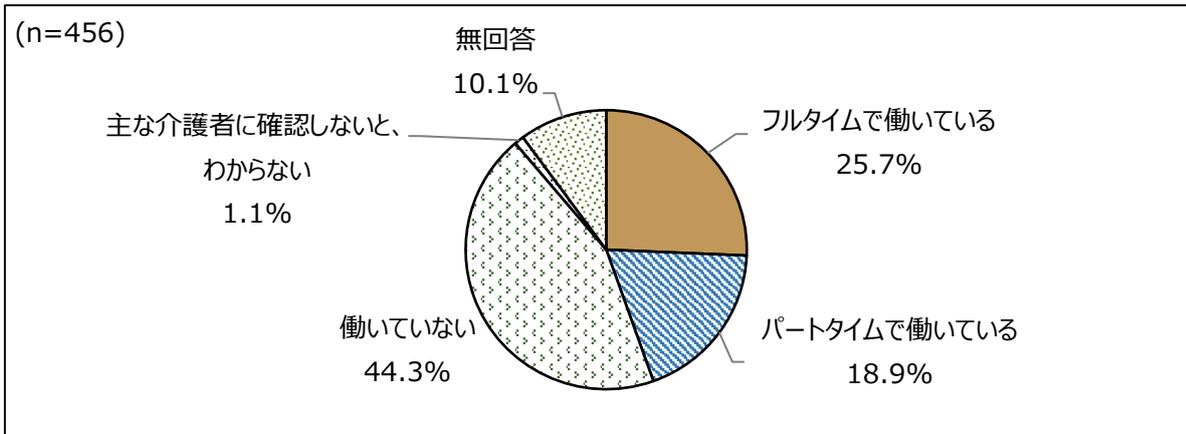


介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 35.9%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 21.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が 20.9%、「利用料を支払うのが難しい」が 9.7%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 8.7%などとなっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(15) 主な介護者の勤務形態

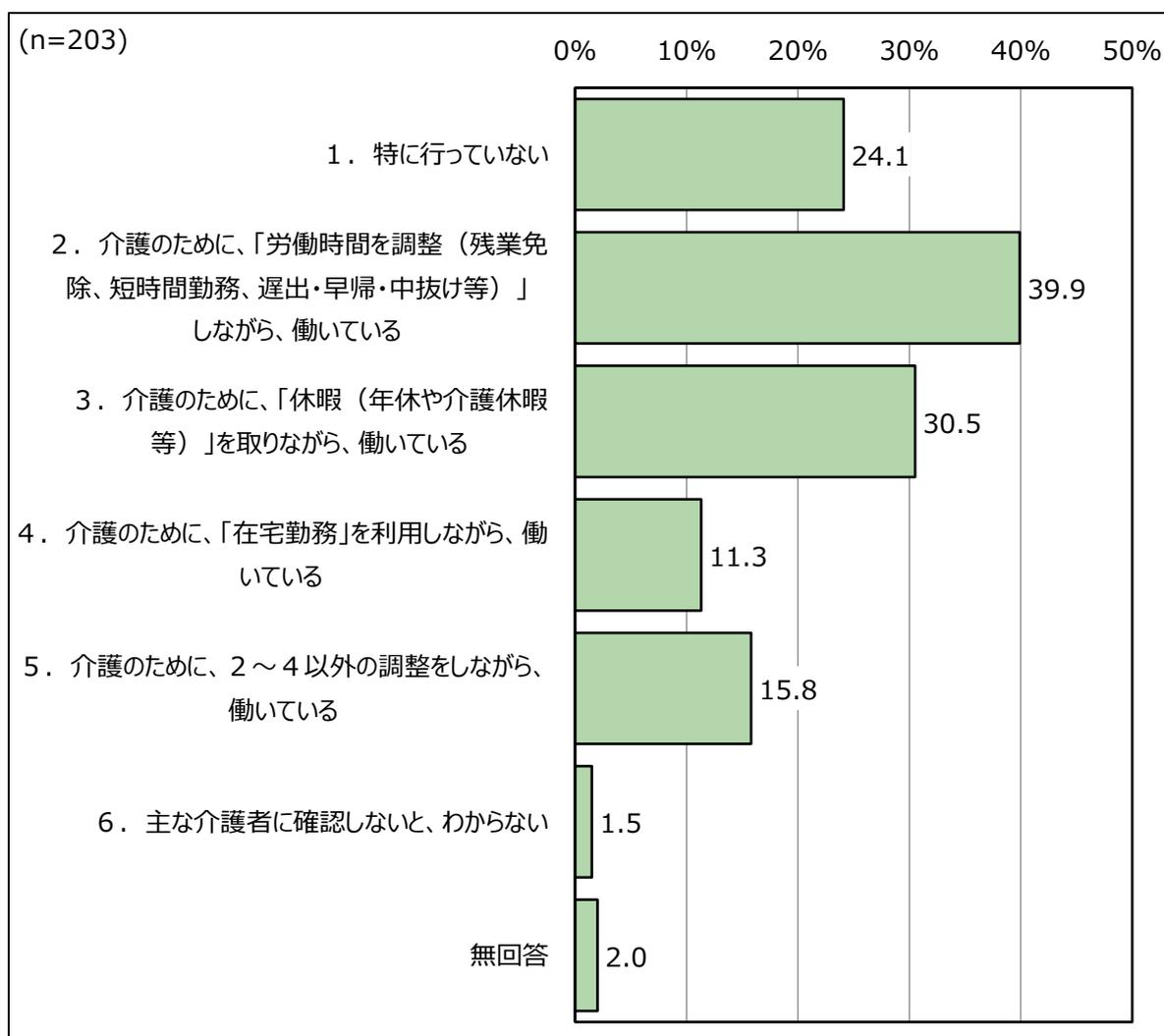
問 15 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください



主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が25.7%、「パートタイムで働いている」が18.9%、「働いていない」が44.3%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.1%となっている。

(16) 介護のための働き方の調整

問 16 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして
いますか（複数選択可）



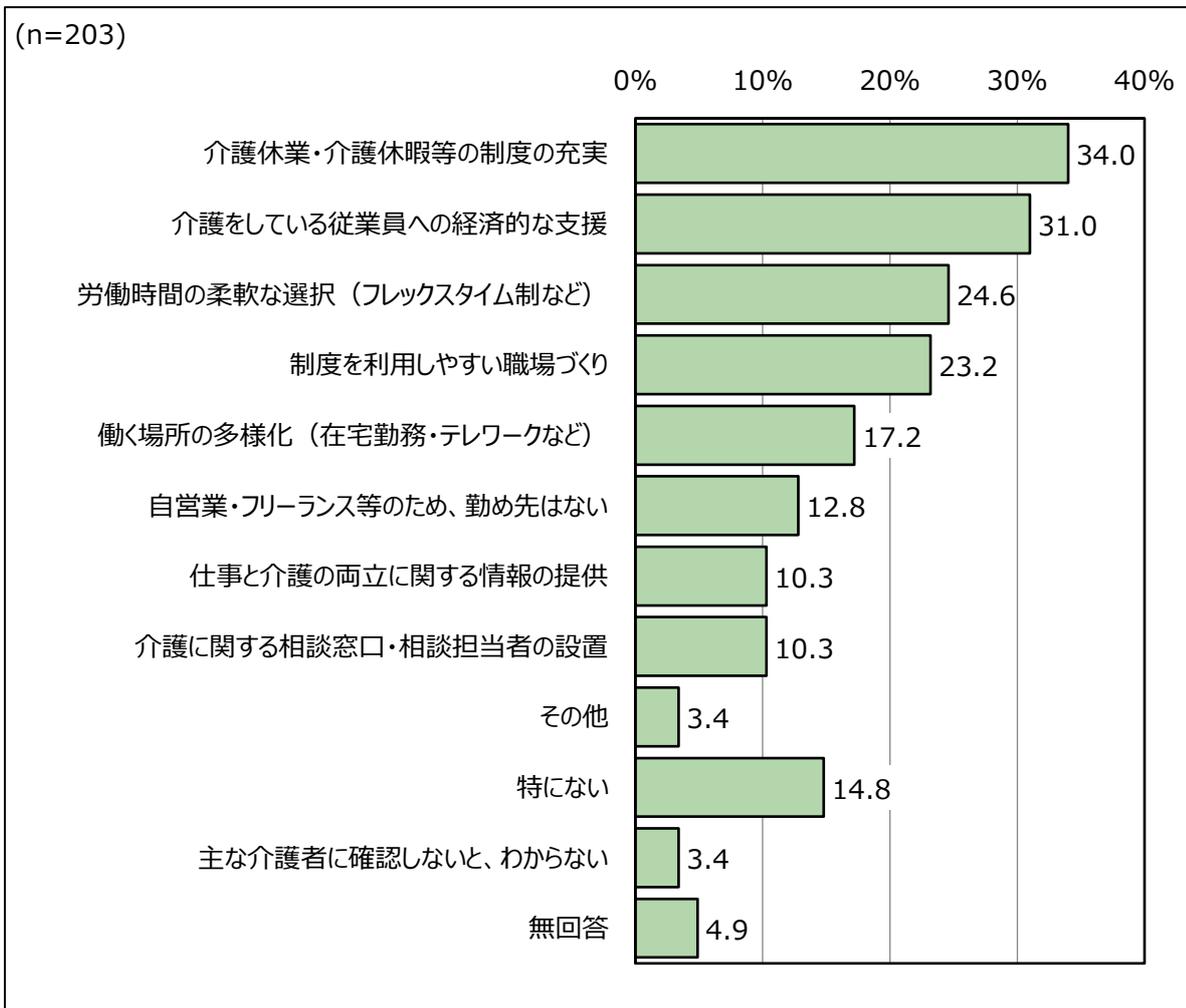
介護のための働き方の調整は、「2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が39.9%で最も多く、次いで「3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が30.5%、「5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が15.8%、「4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が11.3%などとなっている。

また、「1. 特に行っていない」が24.1%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(17) 介護と仕事の両立のために効果的な支援

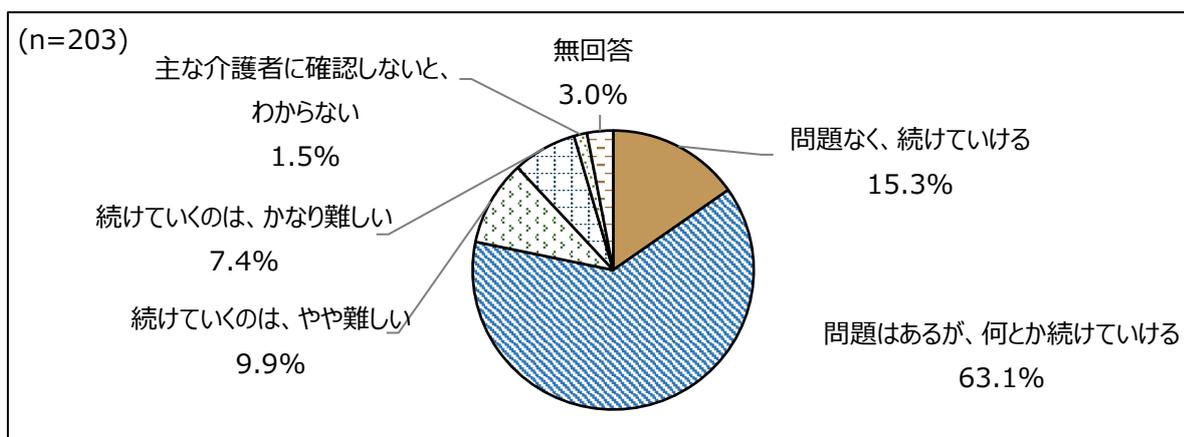
問 17 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



介護と仕事の両立のために効果的な支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.0%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.2%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が17.2%などとなっている。また、「特にない」が14.8%となっている。

(18) 主な介護者の就労継続

問 18 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

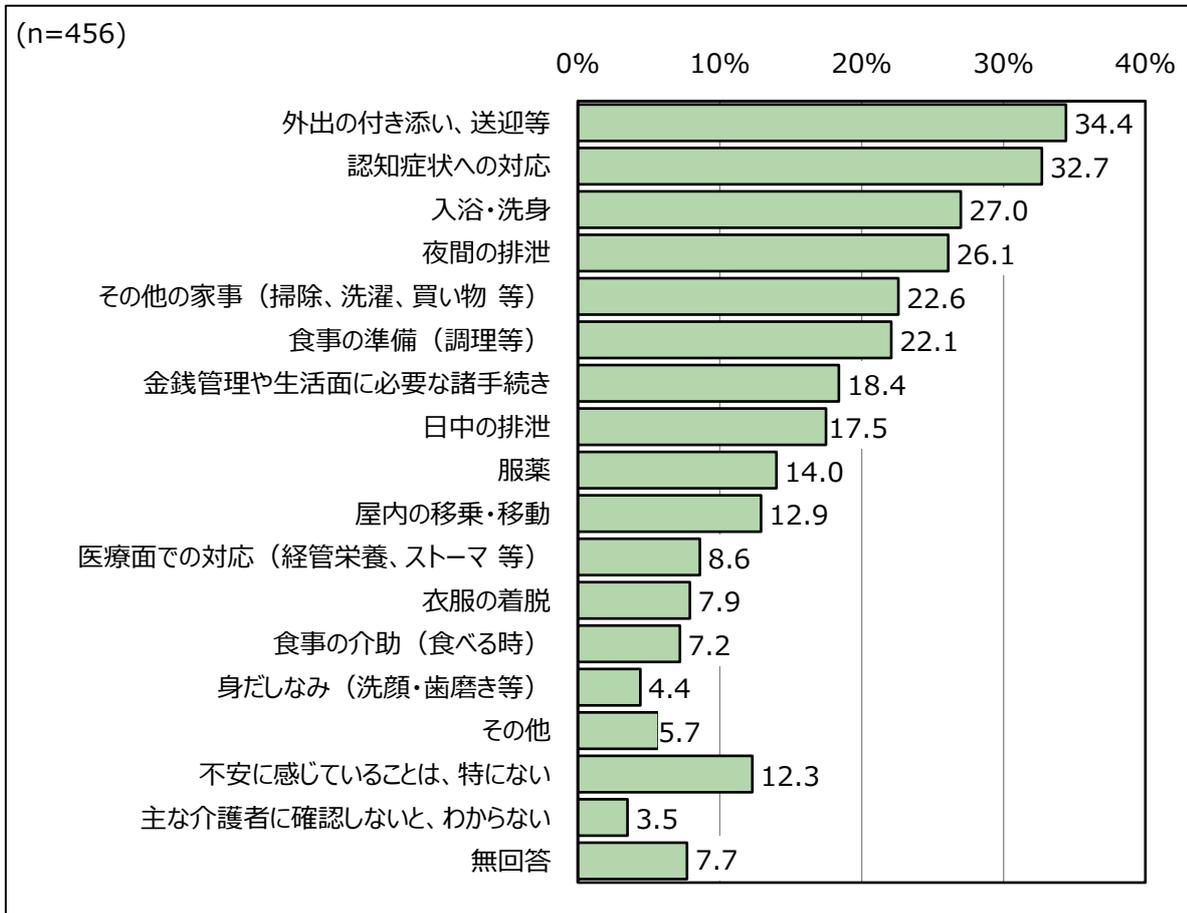


主な介護者の就労継続については、「問題なく、続けていける」が 15.3%、「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.1%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.4%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 1.5%となっている。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(19) 不安を感じる介護

問 19 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



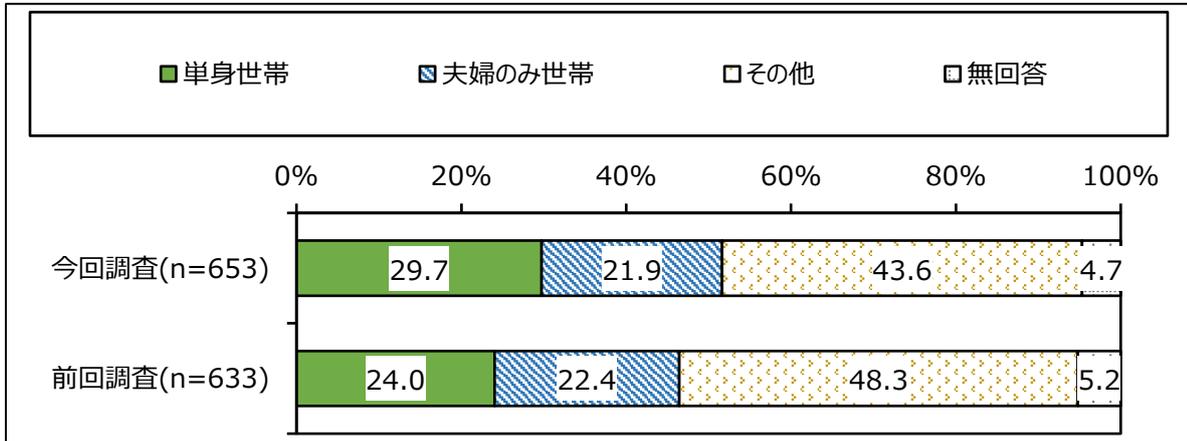
主な介護者が不安を感じる介護は、「外出の付き添い、送迎等」が34.4%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が32.7%、「入浴・洗身」が27.0%、「夜間の排泄」が26.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が22.6%などとなっている。また、「不安を感じていることは、特になし」が12.3%となっている。

● 経年比較

今回調査結果のうち、主要項目について、前回調査結果との経年比較を行いました。

(1) 世帯類型

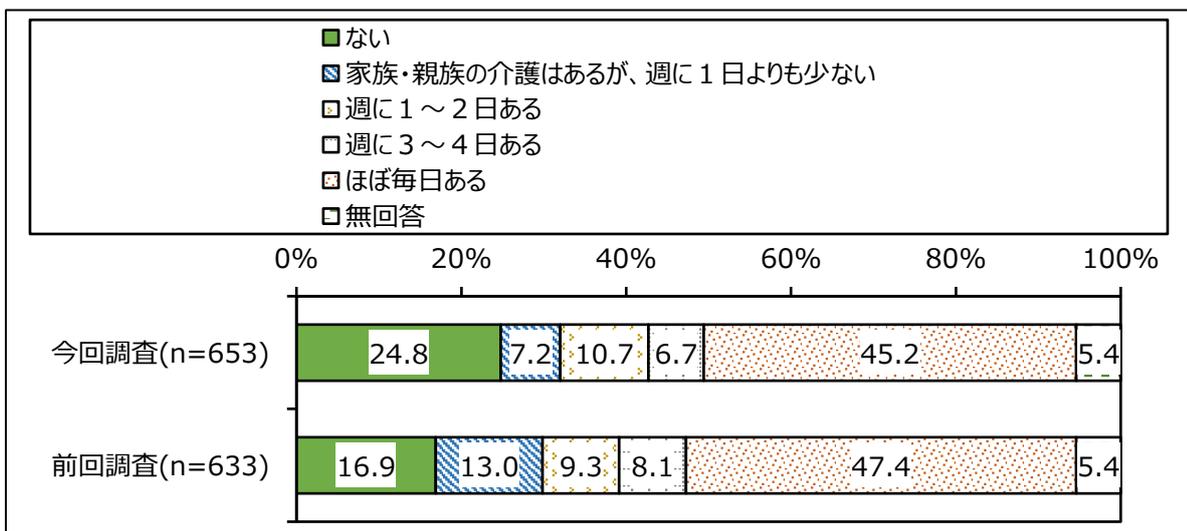
問 世帯類型について、ご回答ください



世帯類型について、前回調査に比べて今回調査では「単身世帯」が5.7ポイント増加しており、独居高齢者が増えていることがうかがえる。

(2) 家族・親族からの介護の頻度

問 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

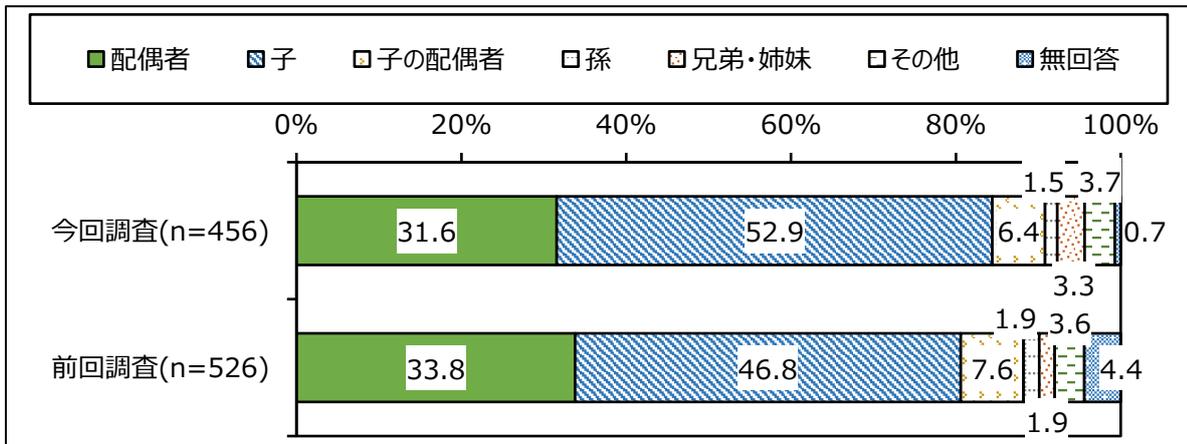


家族・親族からの介護の頻度については、前回調査に比べて今回調査では「ない」が7.9ポイント増加しており、介護の頻度が減っていることがうかがえる。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(3) 主な介護者

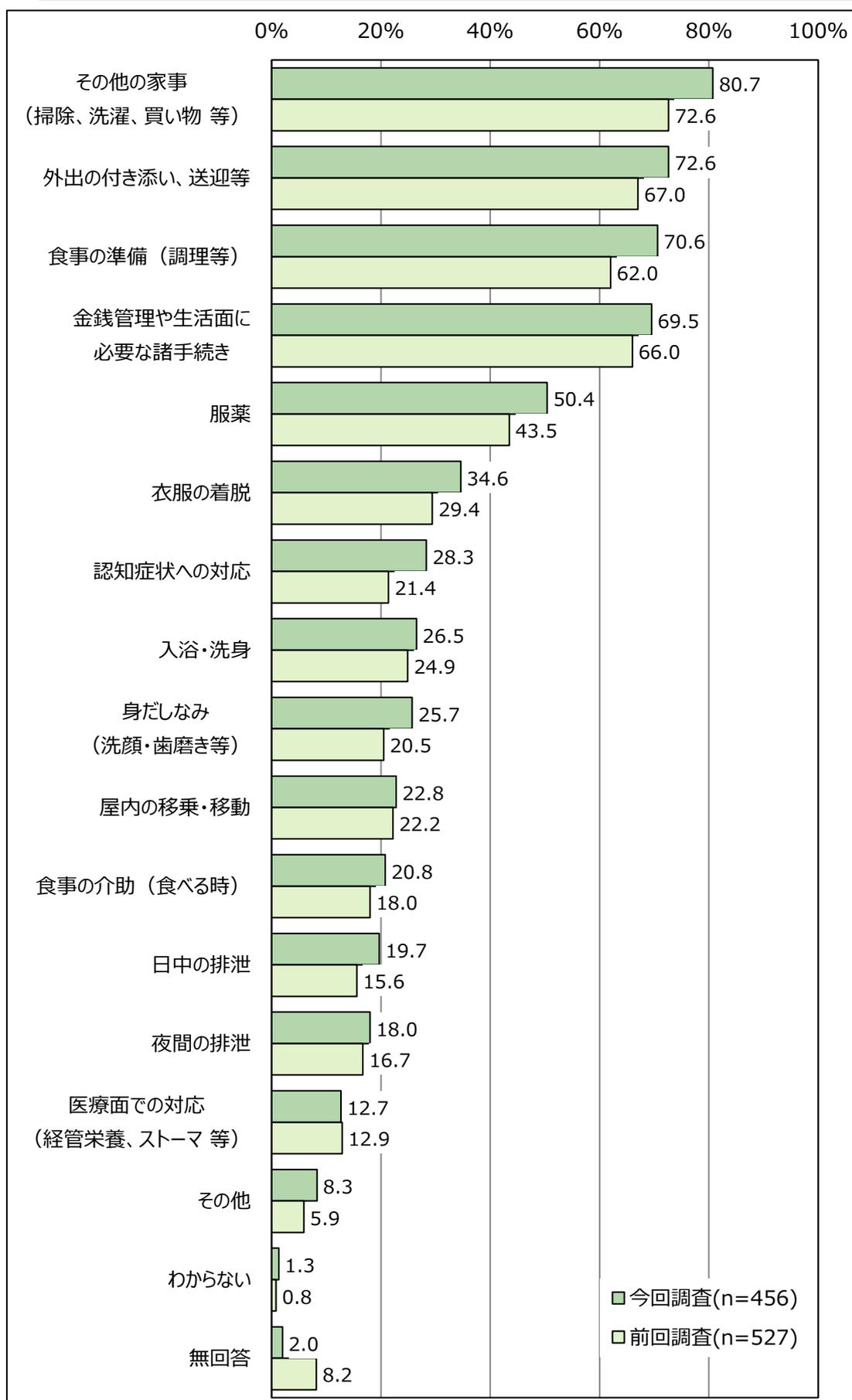
問 主な介護者の方は、どなたですか



主な介護者について、前回調査に比べて今回調査では「配偶者」が2.2ポイント減少し、「子」が6.1ポイント増加しており、「子」が主な介護者である傾向が強まっていることがうかがえる。

(4) 主な介護者が行っている介護

問 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

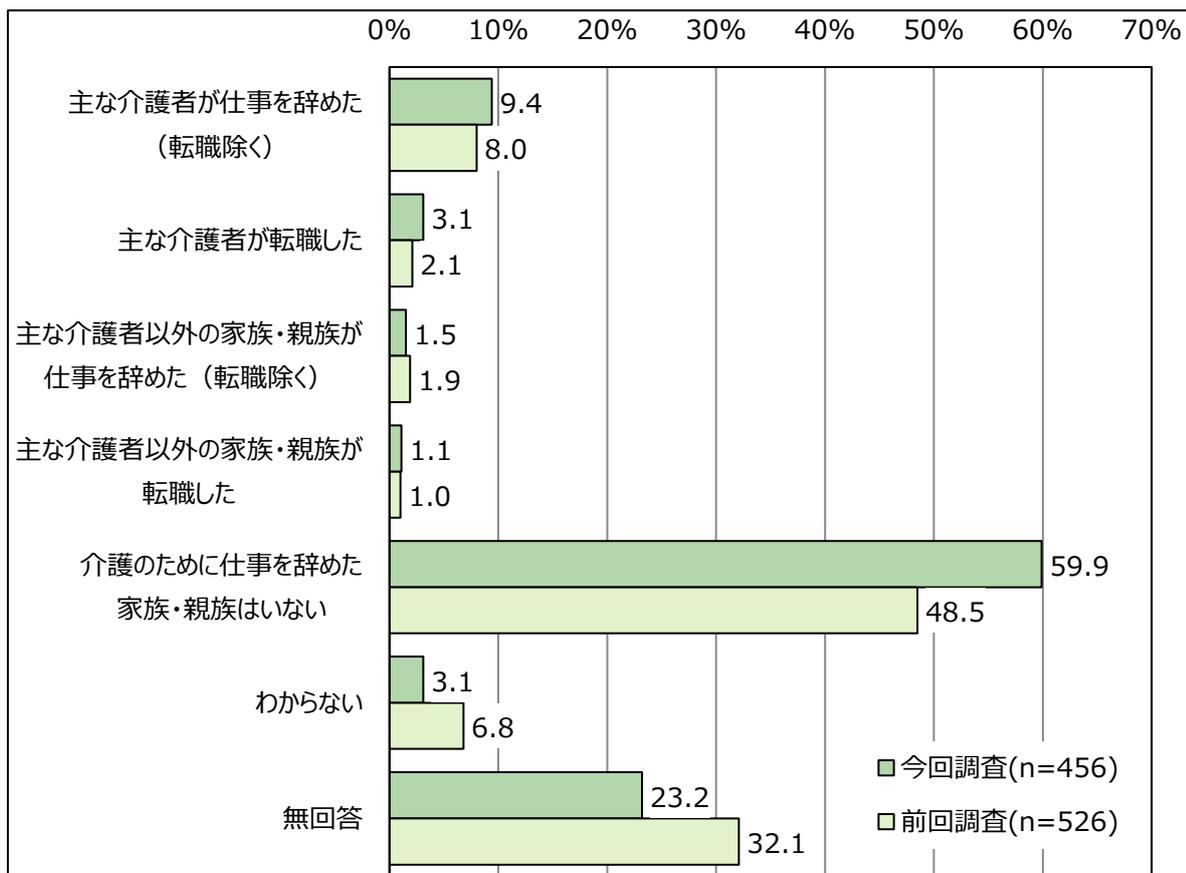


Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

主な介護者が行っている介護について、前回調査、今回調査ともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を除く項目が増加している。

（５）介護を理由とした離職の有無

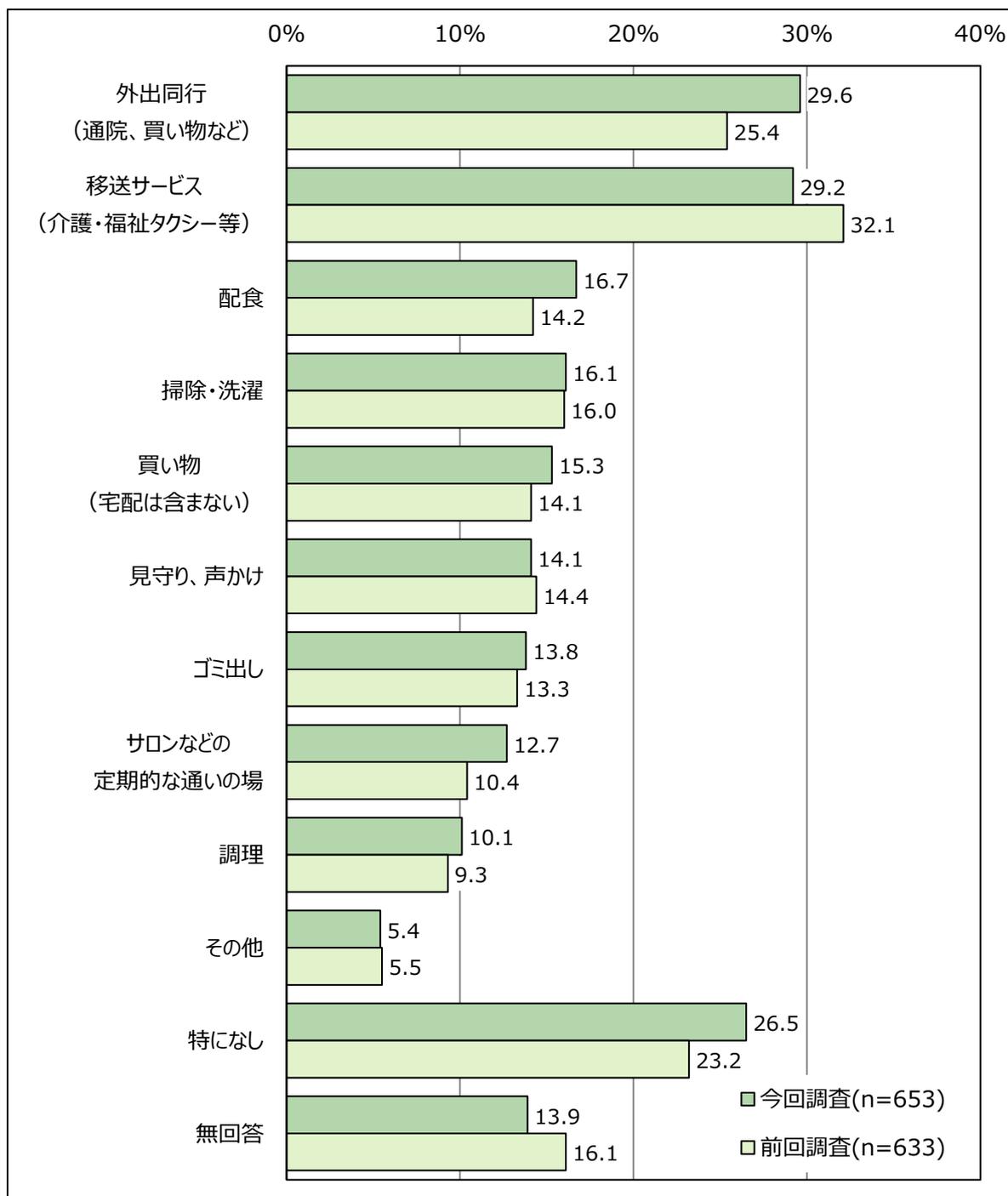
問 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



介護を理由とした離職の有無について、前回調査、今回調査ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっており、前回調査に比べて今回調査では 11.4 ポイント増加している。また、前回調査に比べて今回調査では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 1.4 ポイント増加している。

(6) 在宅生活の継続に必要なサービス・支援

問 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

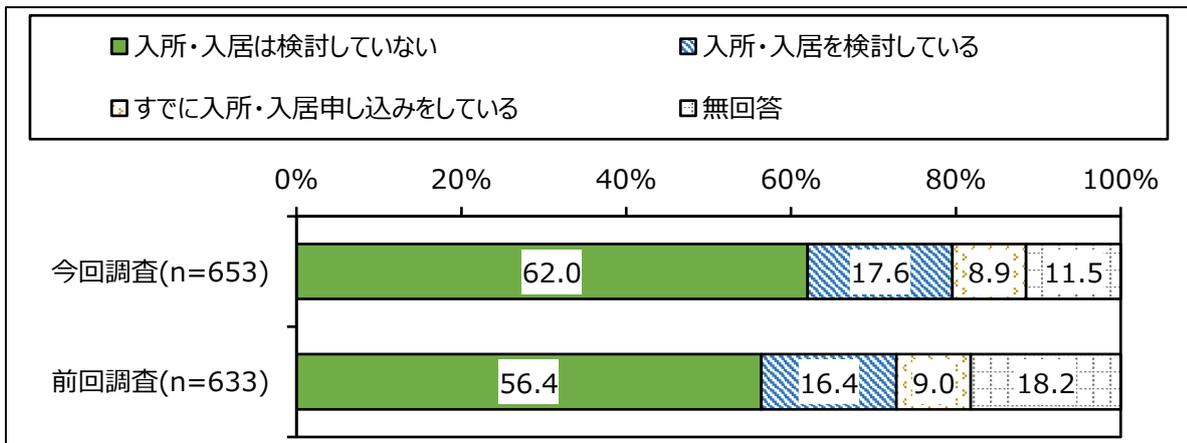


在宅生活の継続に必要なサービス・支援について、前回調査では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多かったが、今回調査では「外出同行（通院、買い物など）」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査では「特になし」が増加している。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(7) 施設等への入所・入居検討状況

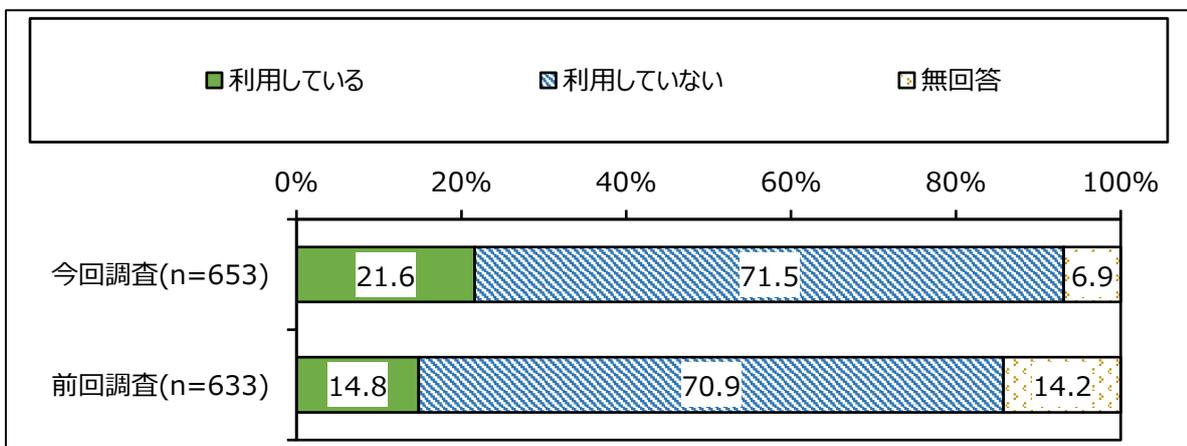
問 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください



施設等への入所・入居検討状況について、前回調査に比べて今回調査では「入所・入居を検討していない」が5.6ポイント、「入所・入居を検討している」が1.2ポイント増加している。

(8) 訪問診療の利用の有無

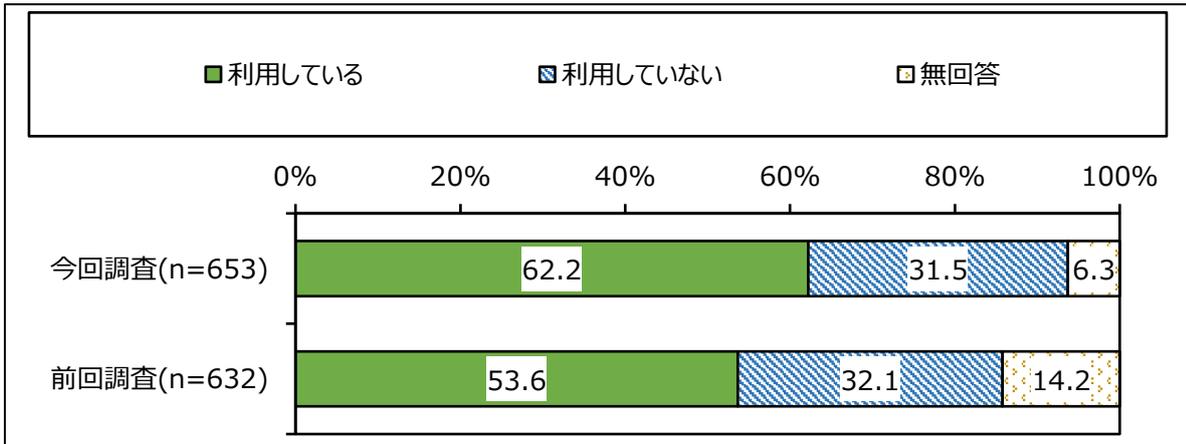
問 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか



訪問診療の利用の有無について、前回調査に比べて今回調査では「利用している」が6.8ポイント増加している。

(9) 介護保険サービスの利用

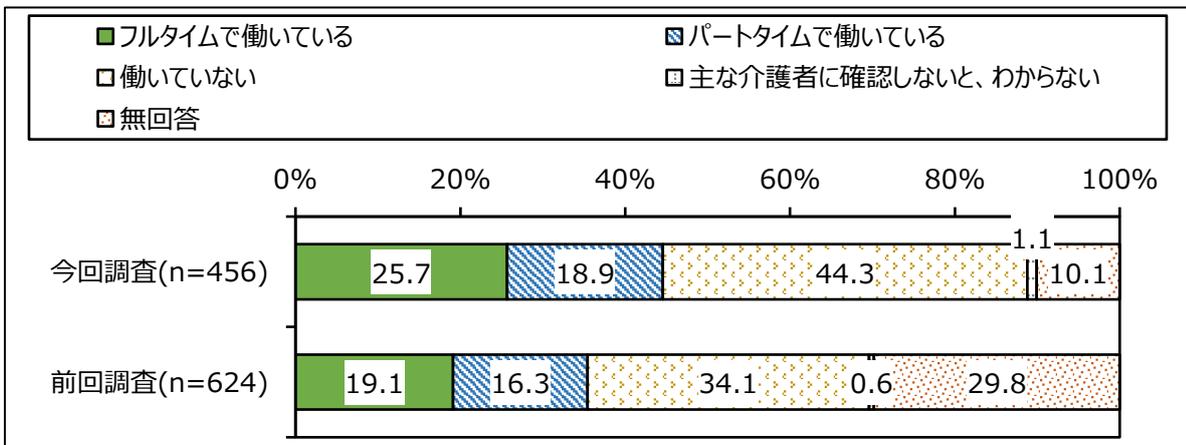
問 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか



介護保険サービスの利用について、前回調査に比べて今回調査では「利用している」が8.6ポイント増加している。

(10) 主な介護者の勤務形態

問 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

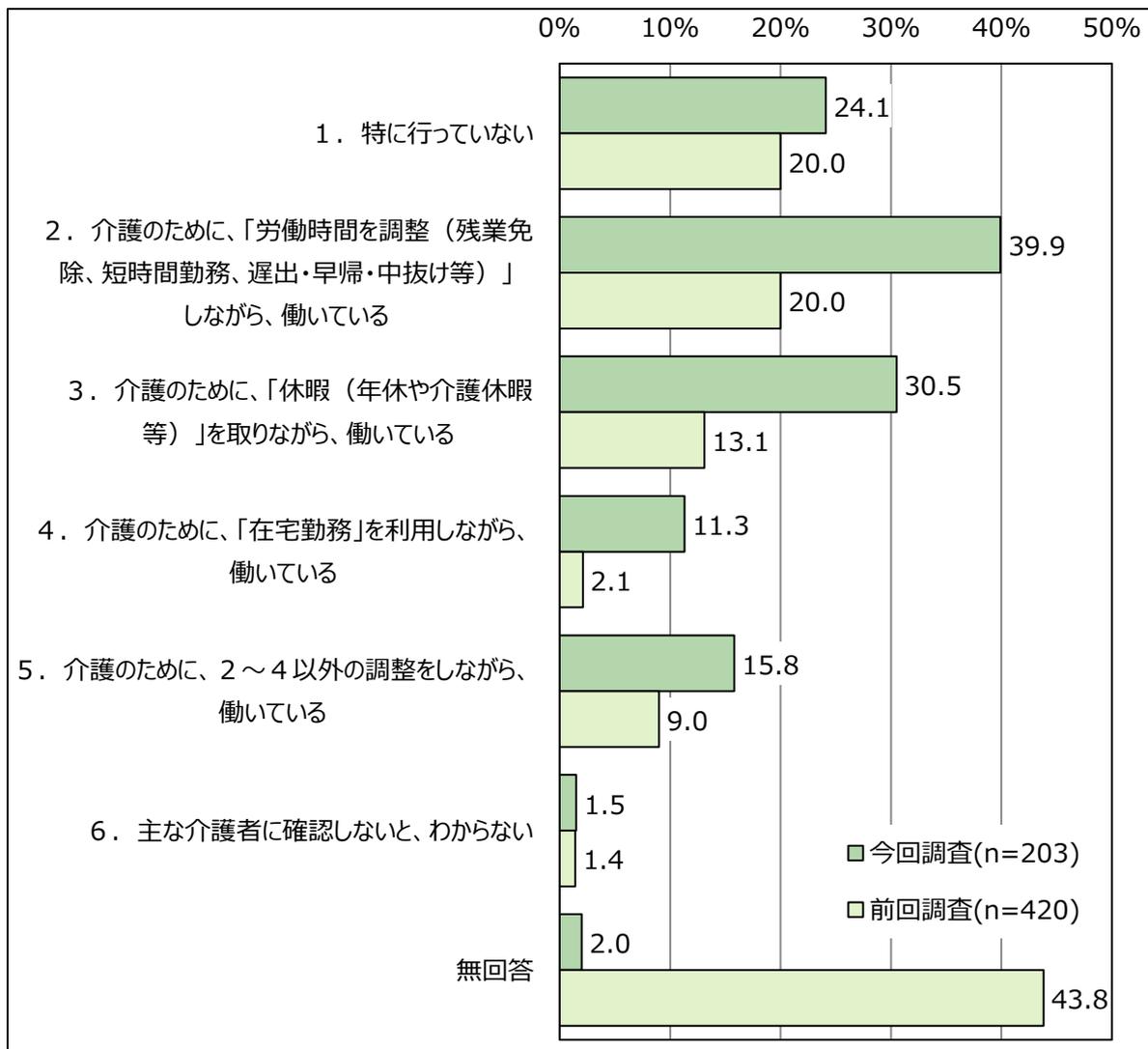


主な介護者の勤務形態について、前回調査に比べて今回調査では「フルタイムで働いている」が6.6ポイント、「パートタイムで働いている」が2.6ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(11) 介護のための働き方の調整

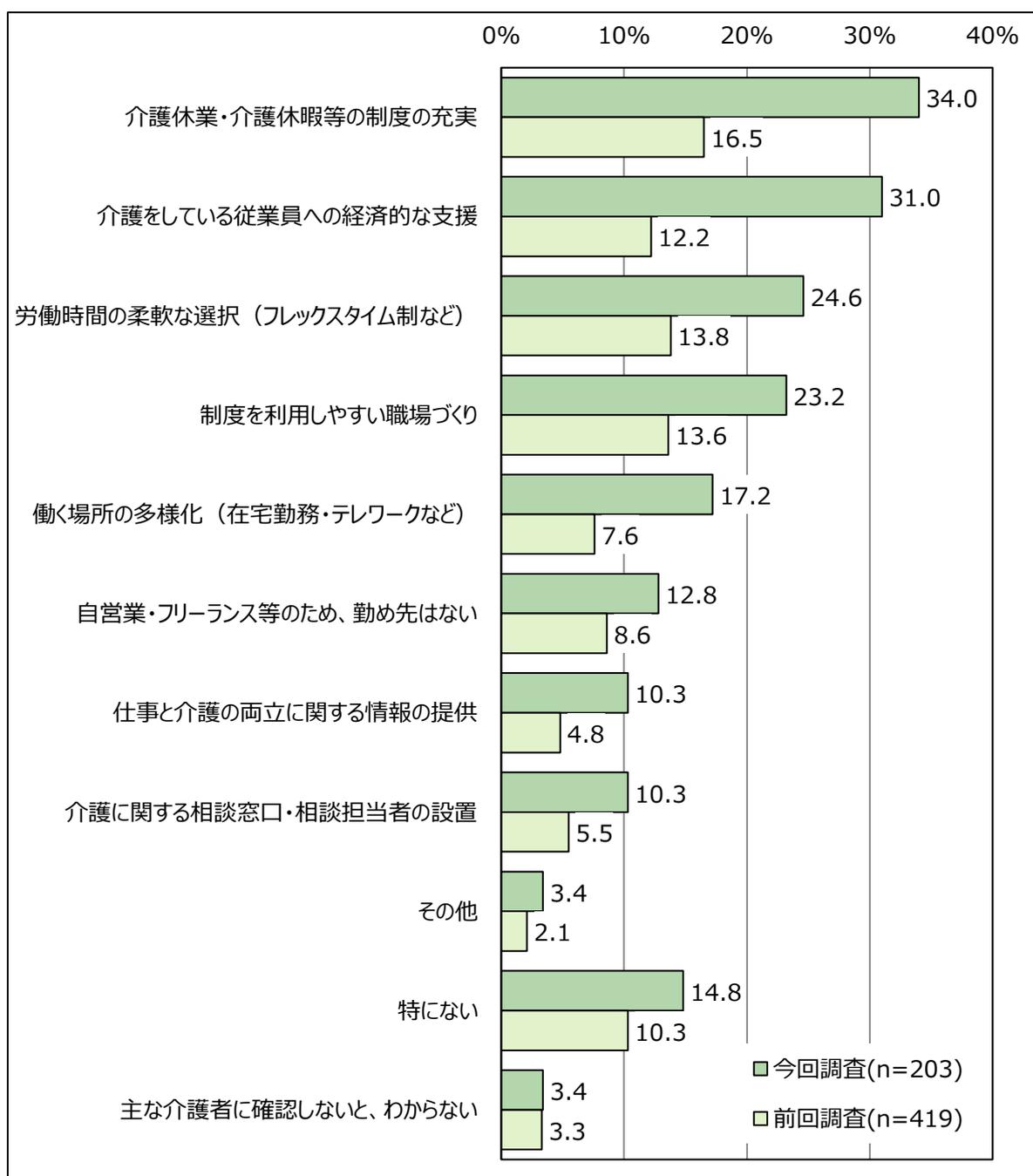
問 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



介護のための働き方の調整について、前回調査に比べて今回調査ではすべての項目が増加しており、特に「2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」では20ポイント程度増加している。

(12) 介護と仕事の両立のために効果的な支援

問 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

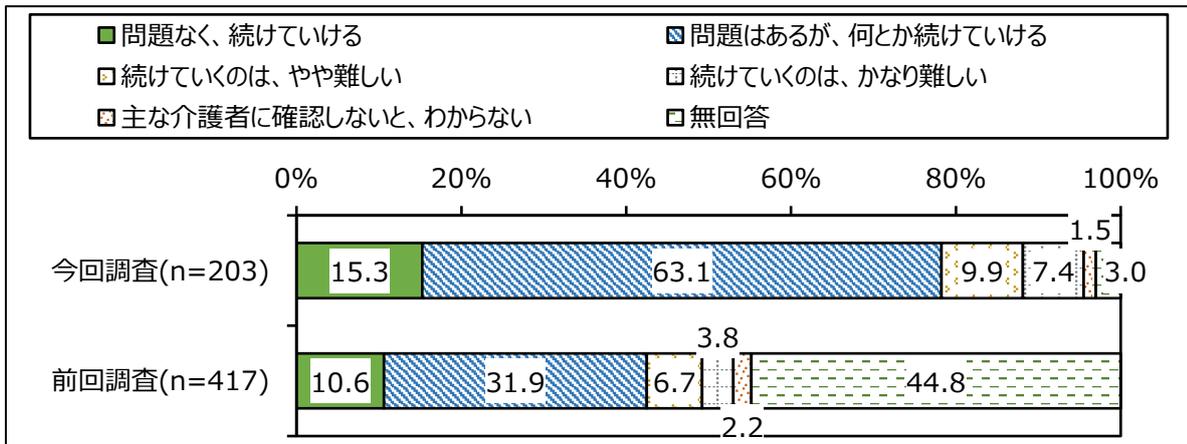


介護と仕事の両立のために効果的な支援について、前回調査、今回調査ともに「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多くなっており、さらに前回調査に比べて今回調査では17.5ポイント増加している。

Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

(13) 主な介護者の就労継続

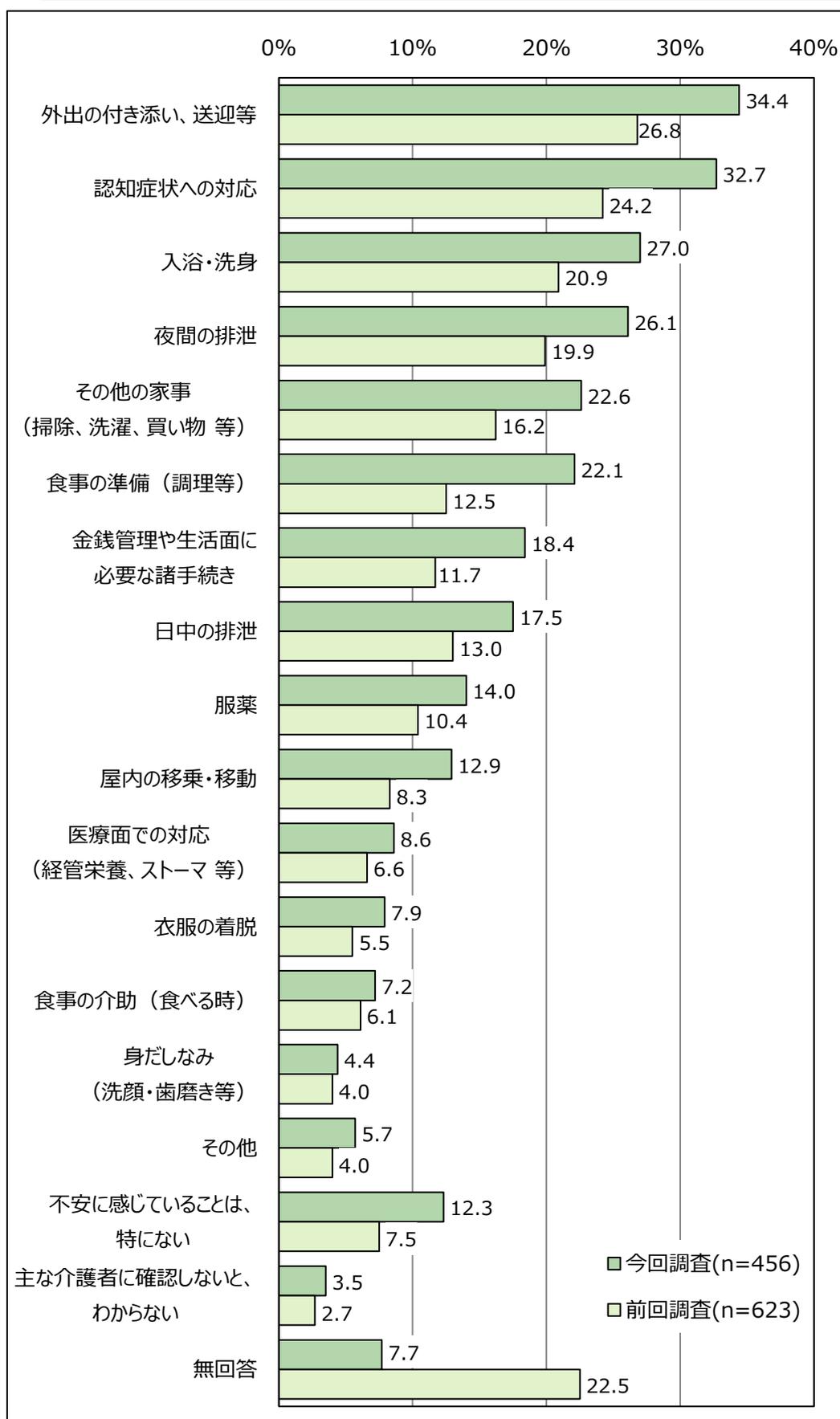
問 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか



主な介護者の就労継続について、前回調査に比べて今回調査では「問題なく、続けていける」が4.7ポイント増加している一方、「問題はあるが、何とか続けていける」が31.2ポイント、「続けていくのは、やや難しい」が3.2ポイント、「続けていくのは、かなり難しい」が3.6ポイント増加しており、就労継続に対して何か問題を抱えている介護者が多いことがうかがえます。

(14) 不安を感じる介護

問 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

主な介護者が不安に感じる介護について、前回調査、今回調査ともに「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっている。また、前回調査に比べて今回調査ではすべての項目が増加している。



IV 自由記述



戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

その他、戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

※右の数字は、左のテーマについての意見の数です。また、主な意見を抜粋し、掲載しています。

意見・要望等	件数
<p>福祉サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今は年金生活なので、福祉サービスを受ける時の金額がもう少し安くしてほしい。(東部・女性・75～79歳) ○公的サービスが必要になったときには、一つの窓口で全て対応してもらえるようになって欲しい。(中央・女性・65～69歳) ○要介護1の夫用に、戸田市より紙パンツの安価での配布を受けて居ります。別途、購入はしていますが、毎月大助かりと喜んでおります。ありがとうございます。(新曽・女性・75～79歳) ○福祉サービスとは、どういう内容なのか、果たして、自分に合うかどうか？今はまだ健康なのでその時にならないと分からない。(市立・女性・70～74歳) 	76件
<p>日常生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○短時間でも働ける仕事があると、頭も体も健康的に過ごせると思う。(自分は現在仕事をしているが、今後の為にそう思います。)(東部・男性・65～69歳) ○Peypayの利用等、戸田市で推奨しているが、高齢者には活用方法がなかなか難しい。全世代で還元できる方法も検討してほしい。(中央・女性・65～69歳) ○高齢になるによって通院する病院が増えてきて医療代が増えてくる、この件に対して検討して頂きたくお願い致します。(新曽・女性・80～84歳) ○高齢者は生活上の不安は各々有ると思いますが、私の様な民間賃貸住宅に暮らす者は、住宅費だけが思案です。もっと市営、県営等の公営住宅を増やして頂ければ助かるのですが。民間でも空家が増えている現在、家賃の補助等して頂ければ、安心して戸田市に住み続けたいところです。(中央・女性・75～79歳) 	88件
<p>地域生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戸田市人材シルバーセンターに最近入会しました。今後とも戸田市として、更に支援していただきたいと思えます。(たとえば、センターの建物、広さ、駐車場確保など)(中央・男性・65～69歳) ○高齢者向けのコンサート、講演などあったらいいかなと思う。(東部・女性・80～84歳) ○高齢者が無料でいつも運動できる場所を(施設)をもっと作ってほしい(中央・男性・70～74歳) ○シニア向けマンション、ケア付き高齢者住宅の普及。(新曽・男性・65～69歳) 	84件

IV 自由記述

意見・要望等	件数
<p>交通環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トコバス1日に2回ぐらい往復行き帰り同じ所を回ってもらいたい、行きはいいが帰りがないので不便です。(市立・女性・75～79歳) ○先月80才になりましたので、運転免許証返納するつもりでしたけれど、結局又更新してしまいました。市内の”トコバス”がもう少し便が良くなれば⇒本数を増やす等⇒返納したのですけれど…。(中央・女性・75～79歳) ○戸田市の道は、歩行者に不便な道が多い。水はけを考えたのか、道が平ではないため歩きにくいし、いずれシルバーカーとかつえを利用した場合、非常に歩きにくい。また、歩行者と自転車が交錯して危ない。一方通行にしたり、もう少し、万人が歩きやすい道を希望します。車の道ではなく人が歩ける道が欲しいです。駐輪場(駅)で平置きはできるのですが力がないため、斜め上には置けません。シルバー用の場所もお願いします。(東部・女性・70～74歳) ○講座、サークルに参加したいが、どこも遠く場所もわからない。たとえば、戸田駅から会場までの直行便があると嬉しいです。(バス)新曽のはずれだから徒歩は不便です。(新曽・女性・70～74歳) ○病院通いする時間帯のバスの回数が少なくて、大変、不便です。小型バスでも、良いので、30分に1回位はほしいです。(市立・女性・80～84歳) 	46件
<p>保険料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年金暮らしなので介護保険の支払いが大変です。(市立・男性・70～74歳) ○とても住み良い市であります。介護保険料もう少し安くなると良い。年金から引かれてしまうのでとてもかなしい、安くしてもらいたい。(中央・女性・75～79歳) ○ふるさと納税の様な介護保険料減税、免除などが出来るキャンペーンや制度があれば利用したい。(市立・女性・65～69歳) 	14件
<p>健康づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツクラブと連携し高齢者の体力強化を一部の経費負担で推進する。(新曽・男性・75～79歳) ○健康診断+健康相談の充実を願う、日常的に感じる体の変化を相談できる窓口や病院など。(新曽・男性・70～74歳) ○健康マージャンはボランティアの方がおしえてくれるので戸田市でもやってくれたらと思う時がある。(市立・女性・80～84歳) ○働くのも健康にいいし、運動するのも健康に良いのでぜひよろしく願います。(市立・男性・70～74歳) ○スポーツセンターやプールなど高齢者が無料で利用することが出来れば高齢者の健康増進が更に高まると思います(新曽・男性・65～69歳) 	14件

意見・要望等	件数
<p>調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勉強不足で申し訳ありませんが、他市町村ではどのようなサービスがあるのですか。提示してもらえれば、受たいサービスに○をつけるとともに、意見・要望も書きやすくなると思います。(東部・男性・70～74歳) ○本アンケートでは実際に要介護者を抱えていて、外出さえままならぬ人に対する質問がない。私と同じような立場の老人が沢山いると思うが、どうでしょう？(新曾・男性・75～79歳) ○問1の答えに「独身の子供と生活」にあてはまるものはありません。「二世帯」と限定するのではなく、その他でもなく、選択肢にないのはおかしい。65歳になったばかりのアンケートで正直記入にこまるものが多かった(新曾・男性・65～69歳) 	5件
<p>情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長年の仕事も退職し、何か趣味を見つけたいが、何をどこに探したら良いのかわからなく、だんだん外に出るきっかけが少なくなった。もし可能なら市の方からの、今現在行なわれている活動、教室等、広報紙が送られてくると(郵送)、良いと思う。(中央・女性・65～69歳) ○福祉サービスについてほとんど知らない状況ですので、何か、もっと身近にわかる方法があれば知りたいです。(東部・男性・80～84歳) ○自分の年齢と共に福祉サービスを受ける機会も出てくると思いますのでどんなサービスがあるのかを都度伝えて頂けるとありがたいです。(市のHP、広報戸田等で見れるのではと思いますが)(中央・男性・65～69歳) ○広報の充実を今後も続けて欲しい。(市立・男性・70～74歳) ○周知して頂くのが一番かと。コロナ禍になり、難しい所もありますが、少人数の集会やサークルのあと、元気体操の後などを利用して、まずは知って頂く事が第一歩かと。(中央・女性・70～74歳) 	22件
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在はサービスを利用していない為、現行がよく分からない。(東部・男性・65～69歳) ○戸田市は、高齢者に対するサービスを色々考えられてがんばっているように思えて、感謝しております。(中央・女性・80～84歳) ○包括支援センターの方が夫の介護について親切に相談に乗ってくれたのでとても助かりました。話を聞いてくださったのがとても気が楽になりました。ありがとうございました。(中央・女性・75～79歳) ○さまざまな計画を策定準備を進めていることに高齢者として大変嬉しく思います。安心した暮らしが実現されますようお願い申し上げます(新曾・女性・70～74歳) ○戸田市は何か他県より住みやすさがあり、市役所の人達も親切で何か温かい。戸田市のためなら何か恩返し出来るならしたいです！！好きです戸田。(東部・男性・75～79歳) 	155件 (特になし含む)

IV 自由記述

【在宅介護実態調査】

その他、戸田市の介護保険サービス等に関することでご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

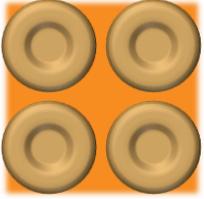
※右の数字は、左のテーマについての意見の数です。また、主な意見を抜粋し、掲載しています。

意見・要望等	件数
<p>福祉サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○契約書等代筆が必要になり、控え分はコピー可能にしていきたいです（東部・男性・90歳以上） ○介護保険外サービスの充実、認知症の方（家族介護者含む）へのサポート体制の強化を強く望みます。（中央・女性・75～79歳） ○病院に行くのが大変なので移送サービスの充実を希望します。（市立・男性・85～89歳） ○デイサービスを受けておりますが、医療面での助けをどう出来るかが相談できればと思う（市立・女性・75～79歳） ○移送サービスの充実を望みます。例、通院時タクシー無償チケット（月に2回必要）（東部・女性・90歳以上） ○視野障害で見えない部分があり、車にぶつかりそうになったり、人ごみは危ないため家族は不安です。病院から散歩することを進められていますが、何時間か散歩に付き添ってくれる介護はないでしょうか（新曾・男性・65～69歳） 	72件
<p>日常生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゴミ出しがかなり大変です。曜日を見ながらゴミを運び出すというのが難しく、家の中にたまっていってしまいます（東部・男性・85～89歳） ○配食（宅食）サービスも一部（適した割合の）補助を検討いただければ幸いです。（市立・女性・80～84歳） ○ここ半年で視力が下がり、字が読めなくなってきていて、書くことも大変で外出時は明るい所でないと足元がキケンです。一度ケアマネ訪問をしてもらえたらと思っています（中央・女性・65歳未満） ○介護者に対しての経済的支援の検討をお願いします。毎日数時間（身体介助を少ないが）介護に生活時間を使用している。ヘルパー派遣を依頼していない分の経済的支援が欲しいです（新曾・女性・90歳以上） 	69件
<p>地域生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護の基本的な対処の仕方を学ぶ場があるといい。（中央・女性・85～89歳） ○ゴミ出しが早朝（8：00～8：30くらい）なので介護者の勤務時間と重なる。川口市へ持ち帰り介護者の自宅からゴミ出しをしている状態です。ゴミ出しについてご一考ください（新曾・女性・65～69歳） ○もらっている年金で安心して入居できる老人ホームを作ってほしい。入居した場合、看取りをやってほしい（東部・女性・70～74歳） 	19件

意見・要望等	件数
<p>交通環境について</p> <p>○おかげさまで日常生活ができるようになり、介護保険のありがたさを知り本当に感謝しております。ただ市役所などを利用するにあたりバスを運転していただければと思います。(市立・女性・80～84歳)</p> <p>○通院する箇所や回数が増え、毎回送迎する(付き添い)ことが負担なので手軽に利用ができる介護タクシーや移動手段等をもっと増やしてほしい(その際の料金の負担も少なくしてほしいです)(中央・女性・75～79歳)</p> <p>○市、全体、トコバスの充実、又タクシー割引(市立・男性・90歳以上)</p>	9件
<p>保険料について</p> <p>○介護保険が年々上がる中で場合に寄っては介護認定の段階で回数ややってもらえることが相対的にも大事ですが(例えばこれは使えて、これは使えないとか人によっても違う)助かっている部分もありますが、何が必要なのかも考えてもらいたいと思う。現場を良く知ってください。それに仕組みも良く分かりません。(新曽・女性・90歳以上)</p>	2件
<p>調査について</p> <p>○老々介護で各人認知症のため同居以外の家族が対応することで在宅の生活が保たれている。本調査では主な介護者に該当しないので回答できなかったが、就労との両立には職場の理解だけでなく就労場所との距離や休み/休憩のとりやすさとの関連性も大きいと感じた。調査に答えられない介護者の意見が取りこぼれるとも思われた。(中央・女性・80～84歳)</p> <p>○本アンケートの「介護度」というのは介護されている人、ですか？それとも介護をしている人ですか？当方は介護している人、という概念で書きました。(東部・女性・85～89歳)</p>	3件
<p>情報提供について</p> <p>○戸田市の訪問介護の詳細を知りたいです。施設等への入所の仕方がわからない。(東部・女性90歳以上)</p> <p>○食事、歩行、おむつ替え、ベッドからの立ち上がり、移動、排泄等の介助容量をレクチャーするDVDの貸出。講座の開催。市役所で車いすの貸出が行われている事の情報発信は必要だと思います。(新曽・女性・80～84歳)</p> <p>○どんなことを戸田市で行っているのか。詳しく簡潔情報がほしい。(東部・女性・90歳以上)</p> <p>○配食サービスに興味がありますが業者がたくさんあるので、どこにしたらいいかわからないので口コミとかあるといいなと思います。(各会社ごと一覧表になっていると選びやすいかなと思います。大変ですが)(中央・女性・80～84歳)</p>	15件

IV 自由記述

意見・要望等	件数
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○包括支援センターの方が来てくださるのでいろいろお話出来てとても楽しいです。いつも待っています。(中央・女性・80～84歳) ○二度に及ぶ入院後、ケアマネジャーさんの熱心あふれる対応は感謝、現在訪問診療、リハビリ、入浴等でお世話になっており、週3～4日の訪問で身体の健康が回復しているので喜んでおります。(東部・男性・85～89歳) ○今健康なので心配していないが、急に体が悪くなった場合、戸田市の健康長寿課に電話すればよいのか。(新曽・女性・90歳以上) ○子育てと介護のバランスを戸田市(行政)は考えていただきたい。と思っています。(東部・男性・85～89歳) ○我が家には介護1の高齢者と疾病からくる身体障害者(1級)の2名が居る。主人が家事全般をやりながらフルタイムで仕事をしている状況で、とても主人の介助の労働は大変だと感じている。ヘルパーさんや入浴(デイサービス)、リハビリなど介入してもらっているが…それでも家族が居るといっただけで介護保険サービスは受けたいものがあるのに受けられないことが多い。その辺の改善策はどうなっているのか。本来なら受けたいものが受け入れられるという介護保険サービスなのでは?とってしまうことが多いです。話は少し違うかもしれませんが…我が家のような高齢者、障害者、家族が共に暮らせる住居などもあってもいいなあと思う(高齢者住宅のように)もっともっと介護、福祉、障害にやさしい町づくりをしてほしいです。(市立・女性・75～79歳) 	<p>57件 (特になし含む)</p>



V 資料編



●使用した調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査



第 9 期

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に〇をつけてください。選択肢のない項目は、記述にて回答してください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、令和4年12月27日(火)までに投函してください。

記入日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。〇をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)				
3. その他				

この調査票は、令和4年11月1日現在、戸田市在住の要介護認定を受けていない方を対象に送付しておりますので、お手元に到着した時の状況と異なる場合もありますことをご了承ください。回答時点で、要介護認定を受けている場合は、回答の必要はありません。

戸田市 健康福祉部 健康長寿課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、戸田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、戸田市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問1 あなたの家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください	
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子又は娘との2世帯
5. その他	
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	
1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】	
①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)	
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病 3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺炎等)	5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)	7. パーキンソン病 8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)	10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱 14. その他 ()
15. 不明	
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】	
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)	
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子 3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫 6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか		
1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	
3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small> 公営賃貸住宅	4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（一戸建て）	
5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家	
7. その他		

問2	からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか		
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか	
1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	
(6) 週に1回以上は外出していますか	
1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか	
1. はい	2. いいえ
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】	
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)	
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他()

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)		
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
①噛み合わせは良いですか		
1. はい		2. いいえ
②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか		
1. はい		2. いいえ
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか		
1. はい		2. いいえ
(8) どなたかと食事をとにもする機会はありますか		
1. 毎日ある		2. 週に何度かある
4. 年に何度かある		3. 月に何度かある 5. ほとんどない

問4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい		2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
1. はい		2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞を読んでいますか		
1. はい	2. いいえ	
(11) 本や雑誌を読んでいますか		
1. はい	2. いいえ	

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか	
1. 趣味あり	→ ()
2. 思いつかない	
(18) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり	→ ()
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ TODA元気体操やラジオ体操 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している			
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）として</u> 参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している			

問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない

<p>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)</p>		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他	
7. そのような人はいない		
<p>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。</p>		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
<p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。</p>		
1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
<p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)</p>		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人		
7. その他	8. いない	

問7 健康について	
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか	
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当の点数を選択してください)	
とても不幸	とても幸せ
0点	1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	
1. はい 2. いいえ	
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	
1. はい 2. いいえ	
(5) お酒は飲みますか	
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	
(6) タバコは吸っていますか	
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()

問8	認知症にかかる相談窓口の把握について
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1. はい	2. いいえ

問9	生きがいや楽しみを感じながら生きていくために、増えて欲しいと思うものはありますか (いくつでも)。
1. フルタイムで就労する機会	2. パートタイムで就労する機会
3. 自分のペースで働ける機会 (シルバー人材センター)	
4. 他人と交流できる場所	5. サークル活動をする機会

6. ボランティア活動をする機会	7. 学習する機会
8. 運動・スポーツができる場所	
9. その他（	）

問 10 就労について

(1) 収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）を探すときは、どのように探していますか（いくつでも）。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 公共職業安定所(ハローワーク) | 2. 新聞の求人広告・チラシ |
| 3. 求人雑誌・フリーペーパー | 4. 知人の紹介・縁故募集 |
| 5. 民間の求職サイト | |
| 6. その他（ | ） |
| 7. 収入のある仕事を探していない | |

(2) 収入のある仕事（シルバー人材センターを除く）を探すときに困っていることはありますか（いくつでも）。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 希望する条件がないこと | 2. 年齢や採用条件 |
| 3. 内定をもらえないこと | 4. 求人数が少ないこと |
| 5. 探し方がわからない | |
| 6. その他（ | ） |
| 7. 困っていることはない | 8. 収入のある仕事を探していない |

問 13 その他

その他、戸田市の高齢者福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 在宅介護実態調査



第 9 期

在宅介護実態調査 調査票

-
- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
 - 調査票記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、令和4年12月27日(火)までに投函してください。

記 入 日	令 和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（複数選択可）	
1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 担当のケアマネジャー等 5. その他	

この調査票は、令和4年 11 月 1 日現在、要支援又は要介護認定を受けている方で、在宅で生活をしている方を対象に送付しております。お手元に到着した時の状況と異なる場合もありますことをご了承ください。その場合は、回答の必要はありません。

戸田市 健康福祉部 健康長寿課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報及び戸田市で保有している要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）につきましては、戸田市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、戸田市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

問 1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他

問 2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）
（1つを選択）

1. ない → 問 8 へ

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない

3. 週に1～2日ある

4. 週に3～4日ある

5. ほぼ毎日ある

問 3 へ

問 3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者
4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

問 4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性 2. 女性

問 5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他
16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問 8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他
11. 利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他
11. 特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービス共に含みます。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、
ご回答ください（1つを選択）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、
ご回答ください（複数選択可）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他
15. なし
16. わからない

問 12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない → 問 14 もご回答ください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

P3 問2で「1. ない」を回答した場合は、問 20 へ進んでください。

問 15 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問 16 へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問 19 へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。

※自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 16 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 17 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 18 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 19 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 20 その他、戸田市の介護保険サービス等に関することでご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

高齢者等実態把握調査

調査結果報告書

発行：令和5年3月
編集：戸田市